



2020年5月

和泉書院

新刊のご案内



中古文学会会員の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度は書籍展示会場でお会いできず誠に残念ですが、
このような形で新刊のご案内をいたしたく存じます。
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ ご注文方法 ◆

- お電話・FAX・メール・小社HPよりご注文いただけます。
- 書籍はクロネコヤマト宅急便でお送りいたします。
- 郵便振替用紙を同梱いたします。
- お送り先のお名前、ご住所、お電話番号をお知らせください。
- 中古文学会会員である旨を必ずお知らせください。
- 本体価格3,000円以上の場合、送料はサービスいたします。
- 公費、私費の区別をお知らせください。
- 公費の場合、公文書の宛名、納品書・見積書・請求書の部数、日付の有無、をお知らせください。

TEL 06-6771-1467 / FAX 06-6771-1508

メールアドレス izumisyo@silver.ocn.ne.jp

HP アドレス <http://izumipb.co.jp>

営業、広報担当：廣橋まで

定価 本体 8,000 円+税
A5 上製・266 頁
2020 年 4 月上旬刊行
研究叢書 522

源氏物語に限らず、平安文学の本文研究に 関心がある研究者必携の書

二〇一四年十一月十五日、中古文学会関西西部会主催のシンポジウム「源氏物語 本文研究の可能性」をもとにした成果。
二〇〇八年に行われた「源氏物語千年記念シンポジウム」による『大島本源氏物語の再検討』に続いて、多様な観点から源氏物語の本文研究の可能性を探る意欲的な論文六編を収録。

源氏物語 本文研究の可能性

中古文学会関西西部会編

岡寫偉久子 加藤洋介 新美哲彦
上野英子 久保木秀夫 横井孝

緒言

「平瀬本源氏物語」巻末記事と「尾州家河内本源氏物語」

—付稿「平瀬本源氏物語」の書誌学的考察—

岡寫偉久子

河内本・別本から見た定家本源氏物語

加藤洋介

大島本『源氏物語』と東海大学蔵伝明融筆『源氏物語』の

比較から見えるもの

新美哲彦

明融本源氏物語を通して覗く室町期寄合書きの一実態

上野英子

『源氏物語』の巻別本研究の可能性—石水博物館蔵「早蕨」

丁子吹き装飾料紙一帖の紹介を兼ねて—

久保木秀夫

源氏物語鎌倉期本文の可能性

横井孝



岡寫偉久子 (おかじま いくこ) 天理大学附属天理図書館
稀書目録室長
加藤洋介 (かとう ようすけ) 関西大学教授
新美哲彦 (にいみ あきひこ) 早稲田大学教授
上野英子 (うえの えいこ) 実践女子大学教授
久保木秀夫 (くぼき ひでお) 日本大学教授
横井孝 (よこい たかし) 実践女子大学教授

書店番線印

『源氏物語 本文研究の可能性』
定価 本体 8,000 円+税
ISBN 978-4-7576-0955-6

冊

お名前・御住所・TEL

図書出版 和泉書院

〒543-0037

大阪市天王寺区上之宮町7-6

TEL 06-6771-1467

FAX 06-6771-1508

注文書

平安時代の漢詩の表現世界を追求する十四篇の論考を収めた著者二冊目の論文集。勅撰漢詩集の時代、菅原道真の漢詩の新解釈、「三蹟」と漢詩の世界、院政期漢詩と『白氏文集』、飲酒詩や笈の詩歌などに言及する。

日本文学—中古・和漢比較

定価 本体 8,500 円+税

A5 上製・304 頁

2019 年 9 月上旬刊行

研究叢書 514

本間洋一 著

王朝漢詩叢攷

【目次】

第1章 嵯峨帝と漢詩人達

嵯峨帝と文人賦詩／『凌雲新集』『文華秀麗集』『経国集』の詩人達 他

第2章 『菅家文章』をめぐる

菅原道真没後一一〇〇年に向けて

『菅家文章』『菅家後集』研究への期待／『菅家文章』の本文をめぐる 他

第3章 菅原道真の漢詩解釈臆説

交遊詩をめぐる

傷藤進士呈東閣諸執事詩をめぐる／謁河州藤員外刺史聊叙所懷敬以奉呈詩をめぐる 他

第4章 『菅家文章』断章

漢詩の本文と解釈をめぐる覚書

本文の誤字をめぐる／会安秀才餞舍兄防州詩をめぐる 他

第5章 宮廷文学と書—「三蹟」と詩人をめぐる劄記

書蹟を売る女／『屏風土代』の本文をめぐる 他

第6章 『屏風土代』を読む

大江朝綱の漢詩をめぐる

春日山居詩／尋春花詩／惜残春詩／林塘避暑詩／山中自述詩 他

第7章 『本朝無題詩』と白詩

『白氏文集』を常に握翫すべし／『無題詩』と白詩／故事享受への視点 他

本間洋一（ほんま・よういち）

早稲田大学教育学部卒業。中央大学大学院文学研究科博士後期課程中退。博士（文学）。同志社女子大学名誉教授。〈専攻〉日本文学・和漢比較文学・書道文化史・書表現〈主要編著書〉『本朝無題詩全注釈』注釈篇三冊、『類題古詩本文と索引』（以上、新典社）『文鳳抄』歌論歌学集成別巻二（三弥井書店）『凌雲集索引』『王朝漢文学表現論考』『本朝蒙求の基礎的研究』『類聚句題抄全注釈』『墨筆帖』『桑華蒙求の基礎的研究』（以上、和泉書院）他。

第8章 院政期漢詩と白詩をめぐる劄記

『江談抄』から／『中右記部類紙背漢詩』をめぐる／『上陽春異聞』 他

第9章 王朝漢詩の飲酒詠管見

語彙・故事をめぐる覚書として

上代の飲酒詠／勅撰漢詩集の時代の飲酒詠／島田忠臣から菅原道真へ 他

第10章 白居易の飲酒詩と平安朝漢詩

勸酒と禁酒／飲酒詠の表現と語彙をめぐる／飲酒詩の摘句をめぐる 他

第11章 漢詩とその背景—北東アジア史の一齣から—

嵯峨天皇から菅原道真へ／海外からのまなざし／聖世矜持／悲運の僧 他

第12章 王朝漢詩と海彼

東アジアの漢詩をめぐる臆説

崔致遠をめぐる／宋と本朝 他

第13章 笈（かけひ）の見える風景—漢詩と和歌と—

平安朝和歌の「かけひ」／禪林の漢詩詠 他

第14章 日本文学と中国古典漢詩をめぐる断章

近代の詩歌から／菅原道真の漢詩から／『登楼賦』をめぐる 他

索引（人名索引／書名・詩題索引）
あとがき

注文書	書店番線印	『王朝漢詩叢攷』	図書出版 和泉書院
	定価 本体 8,500 円+税	ISBN 978-4-7576-0915-0	〒543-0037
	お名前・御住所・TEL		大阪市天王寺区上之宮町7-6
			TEL 06-6771-1467
			FAX 06-6771-1508

古記録を歴史資料でも文学作品としてでもなく、言葉によって織りなされたテキストとして論じる

和泉書院

☆新刊のご案内☆

日本文学・日本史
—中古・中世

定価 本体 8,500 円+税
A5 上製・370 頁
2019 年 11 月刊行
研究叢書 516

中丸貴史著

『後二条師通記』論

—平安朝〈古記録〉というテキスト—

(なかまる たかふみ)
防衛大学校人文社会科学群人間文化
学科学准教授。博士(日本語日本文学)。
学習院大学大学院人文科学研究科日
本語日本文学専攻博士後期課程修了。
編著書『時範記逸文集成』(共編)。

◆本書は古記録を、その内部の論

理のみならず、他のテキストと
の関係のなかからとらえ、平安
朝の言説の一端を明らかにしよ
うという試みである。

◆関白藤原師通の『後二条師通記』

は、院政期初頭の摂関嫡流の日
記として重要なものである。こ
れをテキスト生成、東アジア古
典世界における日本漢文(学問
と漢籍引用)、論理(私日記の発
生、記憶と記録、語りと筆録)
の三側面から論じる。

◆「漢文」で書かれた「目次」の「記

録」の論理と構造を明らかにし、
時代の転換期を生きた記主師通
の言説に迫り、古記録の新たな
研究の視座を示す。

目次

序

第一部 『後二条師通記』生成論

第一章 現在

第二章 二つの本文—永保三年—応徳二年—
はじめに—古写本、永保三年—応徳元年—
応徳二年の重複記事—
二、本文A・Bの性格—三、本文B作成の
一般性—「中右記」から—四、本文Bが
作成されなくなった意味—その後の
『師通記』—五、おわりに

第三章 開かれたテキスト—応徳三年—寛治四年—

はじめに—第一、段階に入った『師通記』—
二、委追可入尋書—ペンディング状態に
された記事—三、次第為房時範記委尋可注之—
為房卿記『時範記』—江記『師記』との
関係—四、寛治二年秋冬の扉書の先
にあるテキストの可能性—五、おわりに

第四章 再び二つの本文—寛治五年—

はじめに—二、伝本の形態—三、本記と別記—
四、『師通記』における「別記」の用例—
五、別記作成の一般性—六、おわりに

第五章 病と播らくテキスト—

はじめに—二、彦根寺詣—三、心神不例—師通の病—
四、病と夢想—五、嘉保三年改め永長元年—
六、承徳三年、改め康和元年—七、おわりに

第六章 受容と現存—

はじめに—二、日記を秘蔵する—
三、その後の『師通記』—その受容—
四、受容状況と伝本状況の関係—五、おわりに

第二部 東アジア古典世界のなかの『後二条師通記』

第一章 師通の学習記録—

はじめに—「本朝世紀」師通薨伝—
二、永保三年—応徳元年—春秋左氏伝—
「礼記」文選—「論語」—三、応徳三年—
寛治四年—「漢書」後漢書—四、寛治五年—
寛治六年—「毛詩」後漢書—
五、寛治七年以降—後漢書—
史記—「白氏文集」—六、おわりに

第二章 日記叙述と漢籍—謝惠連「雪賦」をめぐる諸相—

はじめに—二、撰家の日記—三、本文Bの詩的表現—
四、謝惠連「雪賦」(文選)引用—五、寛治五年という年—
六、おわりに

第三章 師通の白詩受容—
はじめに—二、白詩語廻眸—
三、師通と「白氏文集」—
四、山寺詩と「廻眸」—
五、漢語「廻眸」和語「見わたせば」—
六、おわりに—再び『師通記』寛治四年十一月二十四日条—

第四章 寛治五年「曲水宴」関連記事における唱和記録—
はじめに—二、寛治五年三月十七日条別記—
三、寛治五年の曲水宴—
四、裏書に書かれた唱和—
五、おわりに—師通と俊房の唱和—

第五章 師通の漢籍(知)と匡房・通俊 声と文字との往還—

はじめに—二、『師通記』寛治六年七月二十日条における「
疎田奪牛」故事—三、『江記』寛治七年十月二日条における「
疎田奪牛」故事—
四、漢籍における「疎田奪牛」故事—
五、定文を書く—
声から文字へ—
六、匡房と通俊—
もの書く宰相—
たちの(知)的闘争—
七、おわりに

第三部 〈古記録〉の論理

第一章 私日記の発生と展開—

はじめに—二、国史と外記日記—
三、外記日記と私日記—
四、おわりに

第二章 記憶と記録—

中宮賢子の死、および「永長の大田栗」をめぐる—
はじめに—二、記憶—
忘却—
三、記憶の現在と書くこと—
四、日記記—
非日記記—
『師通記』二つの本文—
五、「目次」の方法—
嘉保三年六月の『師通記』「中右記」—
六、「記」の方法—
『洛陽田楽記』—
七、おわりに

第三章 語りと筆録—
記さざる人—
頼通の言説—
一、はじめに—
二、先例故実の引勘とその材料—
三、口伝とその構造—
『師通記』における頼通の言説—
四、日記の家としての撰関家の始発—
頼通と日記—
五、おわりに—
書かれた口伝を隠蔽する—

結—索引(人名・研究者名・書名・古記録言及引用箇所)

貴店番線印

『『後二条師通記』論—平安朝〈古記録〉というテキスト—』

定価 本体 8,500 円+税 I S B N 978-4-7576-0937-2

お名前・御住所・TEL

冊

図書出版 和泉書院

〒543-0037

大阪市天王寺区上之宮町7-6

TEL 06-6771-1467

FAX 06-6771-1508

注文書

日本文学—中古～中世
和歌

定価 本体 16,000 円+税
A5 上製・612 頁
2020 年 2 月刊行
研究叢書 518

佐藤明浩（さとう あきひろ）
一九六一年生。大阪大学文学部卒業、同大学院文学研究科
博士後期課程退学。
現在、都留文科大学文学部教授。
研究業績、「後葉和歌集の誹諧歌」（『詞林』一三）、「題の拡充
と題詠の深化—恋題を中心に院政期から新古今前後まで—」
（『論集（題）の和歌空間』笠間書院）、「長明文宇鑑」（校注、
共著、『日本古典偽書叢刊 第1巻』現代思潮社）、「源氏物語
の書かれた和歌」（小嶋菜温子・渡部泰明編『源氏物語と和歌』
青簡舎）他。

佐藤 明浩著

院政期和歌文学の 基層と周縁

I 部では、源俊賴、為忠家両度百首、久安百首などの和歌作品、藤原
俊成などの歌論・歌学の言説、藤原定家編『八代抄』などを取り上げ、
それぞれの詠歌、述説、また編纂の具体相、特徴を解明する。

II 部では、稲の品種名、官職名など、和歌に用いられるには比較的珍
しいことばについて検討し、それらがいかんにして和歌表現の構成要素に
なりえているのかを考察する。

III 部では、和歌が学ばれる場や和歌が作られる場によりおこされる「古
歌」のありようを観察して、往時の人たちの和歌のとらえ方を探り、また、
「本歌」についての考究をおして、往時の理解鑑賞のあり方を想定した
解釈を試み、当時の感覚、認識に近づいていく方途とする。

序章

I 部 和歌作品と歌学・歌論と

- 第一章 「はす」を詠む和歌
- 第二章 源俊賴の歌学知識と和歌実作
- 第三章 行尊の和歌表現—地名詠と擬人法と—
- 第四章 『為忠家両度百首』に関する考察
- 第五章 『久安百首』と歌学—詠歌の場としての定数歌—
- 第六章 『久安百首』部類本考
- 第七章 『久安百首』部類本と『千載和歌集』の配列構成
- 第八章 『御裳濯河歌合』の構成と俊成入道の判
- 第九章 藤原俊成の和歌史観と批評態度
- 第十章 「かはやしる」の論争をめぐる
- 第十一章 定家『八代抄』夏部の配列構成をめぐる

II 部 和歌のことば

- 第十二章 稲の名を詠む歌
- 第十三章 稲の名を詠む源俊賴の和歌
- 第十四章 藤原清輔の「ながひこ」詠をめぐる
- 第十五章 『和歌初学抄』物名「稲」の窓から
- 第十六章 歌語「ありそ」「あらいそ」考
- 第十七章 官職名を詠む和歌
- 第十八章 「かげなびく」考—大臣在任を表す歌ことば—

III 部 「古歌」「本歌」をめぐる

- 第十九章 「近頃の歌」との類似をめぐる—歌合判詞にみる認識—
- 第二十章 歌合判詞における「古歌なり」をめぐる
- 第二十一章 歌合に古歌を詠むこと
- 第二十二章 「古歌」の再生ということ
- 第二十三章 藤原家隆の先行歌撰取
- 第二十四章 「さののわたり」の遠景—本歌取りへの一視角—
- 第二十五章 『新古今和歌集』の「里はあれて」歌「玉の緒よ」歌考

初出一覧
索引（人名索引・和歌索引）
あとがき

注文書	書店番線印	『院政期和歌文学の基層と周縁』 定価 本体 16,000 円+税 ISBN 978-4-7576-0945-7	冊	図書出版 和泉書院 〒543-0037 大阪市天王寺区上之宮町7-6 TEL 06-6771-1467 FAX 06-6771-1508
		お名前・御住所・TEL		

日本文学—中古
和歌

定価 本体 18,000 円+税
B5 上製・600 頁
2020 年 2 月刊行
研究叢書 519

藏中さやか
黒田彰子 編
中村 文

奥義抄古鈔本集成

平安後期歌壇の権威藤原清輔が著した歌学書『奥義抄』は、平安期歌学を集大成した、六条藤家歌学の到達点を示す重要な著作。

完本たる慶應義塾図書館蔵本、上中下巻を具備する寛正三年（一四六二）写の大東急記念文庫蔵本、ならびに、残闕本ながら古態をのこす鎌倉・室町期書写本を含む全十一伝本の翻刻を収録。

諸伝本を簡便に対校しうる本書により、『奥義抄』本文系統の再検討はもとより、原態の復元を通して、平安後期歌界の実相や和歌をめぐる知の世界を考究する上でも意義深い資料を提供するものである。

※内容目次※

翻刻——全十一伝本

慶應義塾図書館蔵『奥義抄』

国立公文書館内閣文庫蔵『奥義抄』

京都女子大学図書館蔵『奥義抄』（吉澤文庫）

大東急記念文庫蔵『奥義抄』

国立歴史民俗博物館蔵『和歌伝』

宮内庁書陵部蔵『奥義抄』（梶井宮本）

冷泉家時雨亭文庫蔵『奥義抄 下巻余』

国立歴史民俗博物館蔵『奥義抄 卷上』

前田育徳会尊経閣文庫蔵『和歌問答』

天理大学附属天理図書館蔵『奥義抄下巻餘』

国立公文書館内閣文庫蔵『古今和歌灌頂部』

注／略解題／所載歌一覧／句索引

藏中さやか（くらなか さやか）
神戸女学院大学教授。博士（国文学）。著書に、『和歌文学大系 48『王朝歌合集』（共著、明治書院）他。

黒田彰子（くろだ あきこ）
佛教大学非常勤講師。博士（日本文学）。著書に、『俊成論のために』『仏教文学概説』（共著）（以上和泉書院）、『和歌童蒙抄注解』（青簡舎）他。

中村 文（なかむら あや）
日本女子大学非常勤講師。博士（文学）。著書に、『後白河院時代歌人伝の研究』（笠間書院）、『和歌文学大系 49『正治二年院初度百首』（共著、明治書院）他。

書店番線印

『奥義抄古鈔本集成』
定価 本体 18,000 円+税 ISBN 978-4-7576-0948-8

冊

お名前・御住所・TEL

図書出版 和泉書院

〒543-0037

大阪市天王寺区上之宮町7-6

TEL 06-6771-1467

FAX 06-6771-1508

注文書

『萬葉集註釈』が言及した全萬葉集歌と、その言語理論に沿って整理した被注語句の主要四本における所在位置を示す。

上代・中古・中世
和歌・歌論・歌学・日本語史・言語思想

小松靖彦編著

仙覚『萬葉集註釈』

被注萬葉集歌一覧・被注語句索引

定価 本体 8,500 円+税

B5 上製・284 頁

2020 年 1 月刊行

索引叢書 54

平安・中世の和歌と歌学の広汎な知識に基づく
和歌史・歌論史・歌学史上の成果

十三世紀の天台密教の学僧・仙覚は、『萬葉集』の研究に画期をもたらした。その独自の理念と方法を示す主著『萬葉集註釈』は、平安・中世の和歌と歌学の広汎な知識に基づく和歌史・歌論史・歌学史上の成果である。また、日本語に関する貴重な理論的研究書であり、インドの言語思想によって日本語の根源に迫ろうとした思想書でもある。しかし、近代の研究においては、難解な注釈書として顧みられることがほとんどなかった。

本書は、仙覚が『萬葉集註釈』において言及した萬葉集歌・題詞・前置漢文・漢文序・書簡文・左注などを可能な限り採取し、主要四本における所在位置を示す。また、一音に意味を認めると同時に、ことばの相互関係を重視する仙覚の解釈の方法に沿って被注語句一覧を実験的に作成し、それらを五十音順に配列して所在位置を示す。仙覚が『萬葉集』に見た〈言葉の宇宙〉に近づくための基本的情報を整えたのが本書である。

目次

はしがき

I 仙覚『萬葉集註釈』被注萬葉集歌一覧

(付 中世萬葉集古注釈書における萬葉集歌引用状況)

II 仙覚『萬葉集註釈』被注語句索引

□ 小松靖彦 (こまつ やすひこ)

1985 年 東京大学文学部卒業。1992 年、東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。

国文学研究資料館研究情報部、和光大学人文学部文学科、日本女子大学文学部日本文学科を経て、現在、青山学院大学文学部日本文学科教授。博士 (文学)。

専攻は日本上代文学 (萬葉集および萬葉学史)、書物学 (主に中国文化圏の卷子本)。

主要著書・編著

『萬葉学史の研究』(おうふう、2007 年、2008 年 (2 刷))

『万葉集と日本人』(角川選書、KADOKAWA、2014 年)

『萬葉写本学入門』(編著、上代文学研究法セミナー、笠間書院、2016 年) ほか。

注文書	書店番線印	『仙覚『萬葉集註釈』被注萬葉集歌一覧・被注語句索引』 定価 本体 8,500 円+税 ISBN 978-4-7576-0942-6	冊	図書出版 和泉書院
	お名前・御住所・TEL	〒543-0037 大阪市天王寺区上之宮町7-6 TEL 06-6771-1467 FAX 06-6771-1508		

日本語文法—
上代・中古・中世

定価 本体 13,000 円+税
A5 上製函入・504 頁
2019 年 3 月刊行
研究叢書 510

近藤要司著

古代語の疑問表現と 感動表現の研究

近藤要司 (こんどうようじ)

一九八〇年神戸大学大学院文化科学研究科博士課程単位取得退学

修士 (文学)

現在 神戸親和女子大学文学部教授

専攻 日本語文法・日本語文法史

(主要論文)

『万葉集』の「ムカ」について 高山善行・青木博史・福田嘉一郎

編『日本語文法史研究1』(分担執筆)

『中古における疑問係助詞ヤの脱疑問化について』神戸親和女子大

学総合文化学科『言語文化研究』第一二号 他

まえがき

第一部 疑問係助詞とその表現

序章 疑問係助詞力と疑問係助詞ヤについて

第一章 係助詞力とその表現

上代における助詞力(モ)について

『万葉集』の力とカモの比較

『万葉集』の助詞力と助動詞ラムについて

文末カモの詠嘆用法について

『万葉集』の「ムカ」について

『万葉集』の「ニカアラム」について

『源氏物語』の助詞力の不定語下接用法について

『源氏物語』の助詞力の文末用法について

『今昔物語集』の文末カモの用法について

第二章 係助詞ヤとその表現

上代から中古にかけての疑問表現形式の変遷

『万葉集』のヤとヤモの比較

『源氏物語』の助詞ヤについて

『源氏物語』の「ニヤ」について

中古における疑問係助詞ヤの脱疑問化について

助詞ヤの文中用法の変遷

詠嘆のコトダロウをめぐる

第二部 感動喚体句の諸相

序章 古代語における感動喚体句の諸相について

第一章 上代の感動喚体句について

『万葉集』の無助詞喚体句について

『万葉集』のハモについて

第二章 中古の感動喚体句について

『源氏物語』の助詞カナについて

『源氏物語』の助詞ヨについて

「をかしの御髪や」型の感動喚体句について

あとがき

事項索引

書店番線印

『古代語の疑問表現と感動表現の研究』
定価 本体 13,000 円+税 I S B N 978-4-7576-0901-3

お名前・御住所・TEL

冊

図書出版 和泉書院

〒543-0037

大阪市天王寺区上之宮町7-6

TEL 06-6771-1467

FAX 06-6771-1508

「菅原道真」こそ『竹取物語』の作者

日本文学—中古
日本史—古代

四六並製・本文 240 頁
口絵カラー 24 頁
定価 本体 2,600 円 + 税
2019 年 6 月刊行



美しい『竹取物語』奈良絵(2種)——全図カラー掲載

かぐや姫と菅原道真

私の「竹取物語」論

糸井通浩 著

口絵カラー『竹取物語』中川文庫本・三冊完本

「京都新聞」に37回にわたり好評連載

かぐや姫と菅原道真

- 1 「ものがたり」の誕生 初めて確立したものの「語り」
 - 2 作者未詳の意味 説話と違う特定作者の「表現行為」
 - 3 道真作者説の可能性 主題・モチーフの関係から
 - 4 成立時期 八七五—八九〇年を中心にその後
 - 5 物語の時代と舞台 今は昔、大和に帝がおられたころ
 - 6 「竹取の翁」の名前 「讃岐のみやつこ」道真が重要な意味もつ
 - 7 讃岐守の時代 都を離れ「文学」に力注ぐ道真
 - 8 竹と忌部氏と讃岐 平安初期、氏族間の対立関係が
 - 9 竹林への思い 風雪に耐える竹に我が心託す
 - 10 命名の由来 既存のことは二つを合わせ
 - 11 二人の「かぐや姫」 違いにこそ語りたい主題が
 - 12 羽衣伝説の話型 一つは中臣氏ゆかりの始祖伝説
 - 13 丹後の羽衣伝説 「竹取と同じ」地名起源譚
 - 14 菅原氏の系譜 「殖産進言した野見宿禰を遠祖に
 - 15 土師氏と丹波(丹後) 巨大古墳築造にかかわる?
 - 16 土師氏と間人皇后 「間人」は、地名を称える枕詞
 - 17 大和王権と古代丹後 畿内以外で皇統と婚姻、丹後が初
 - 18 古代伝承の語り部 菅原系土師氏、皇統伝承管理か
 - 19 丹後の三大「前方後円墳」 築造は大和の設計規格に類似
 - 20 勘解由曹局 「文学工房」的な環境の中で
 - 21 「類聚国史」の編纂 百科事典の類、大変な作業
 - 22 月と物思い 『白氏文集』と深いかわり
 - 23 八月十五夜の宴 「家忌」で廃止後も、特別な思い
 - 24 月と姫娥伝承 月への昇天のヒントに
 - 25 外宮の神と丹後 羽衣伝説の神、伊勢へ迎える
- 〔探求ノート〕
- 『竹取物語』の時代背景
- 「享受の精神構造」を振り起こす—
- 1 表現素材の系譜論・機能論 「竹取物語」を中心にして
 - 2 『竹取物語』の月と姫娥伝説
 - 3 伏見稲荷の神々と丹後の神々
〔参考〕丹後の式内社と祭神
 - 4 羽衣伝説と「真名井」の道
〔参考〕羽衣天女
 - 5 地名「間人」について 『はし』という語を中心に
〔参考〕丹後半島、西から東へ
 - 6 『竹取物語』作者圏と菅原道真
〔参考〕竹野媛と丹波の五女
〔参考〕丹波(丹後)の語り部

都と鄙(丹後・讃岐)と伊勢をめぐる
『竹取物語』の作品世界

……菅原道真作者説を構想する上で幸いなことに、筆者はそれなりの環境に生活空間を得ていた……。この「都(京・大和)―丹後―讃岐」、の三角形、さらに「丹後―伊勢(神宮)」を加えた四角形の繋がりを形成する媒体こそ、『竹取物語』という作品世界であり、「菅原道真」という平安前期の貴族であった。(「あながき」より)

糸井通浩(いとみちひろ)

一九三八年京都嵯峨の生まれ。小・中・高時代、丹後(現京丹後市)で育つ。京都大学文学部卒。日本語学・古典文学専攻。愛媛大学助教授を経て、京都教育大学・龍谷大学名誉教授。この間、表現学会代表理事、京丹後市史編纂委員など歴任。主な共編著『日本語表現学を学ぶ人のために』『京都学を楽しむ』他多数。

図書出版 和泉書院

〒543-0037

大阪市天王寺区上之宮町7-6

TEL 06-6771-1467

FAX 06-6771-1508

『かぐや姫と菅原道真—私の「竹取物語」論』

定価 本体 2,600 円 + 税 ISBN978-4-7576-0908-2

冊

お名前・御住所・TEL

貴店番線印

注文書

定価 本体 2,600 円+税
四六上製・240 頁
口絵カラー
2019 年 6 月刊行

過去の文芸の享受によって、新たな創作活動が営まれ、
創造的表現行為を通じて、始原の心性が蘇生し継承される、
その相互作用を文学研究の重要な課題として追求する。
「常世の国」「ワタツミの宮」「龍宮」などの異境、その
水の異界から訪れる「童子」と美麗な「女」あるいは
「姫」「ワニ」「龍」「雷」。これらに対する古代・中世の
人々の「畏れ」「敬い」「頼り」「忌み」「憚り」「嫌い」「卑
しみ」「懐かしみ」「懂れる」心のはたらきを読み解き、
表現を得る仕組みを解き明かす。

森 正人 著

龍蛇と菩薩 伝承文学論

前書き——本書の主旨

第一章 龍蛇と菩薩——救済と守護——

- 一 はじめに／二 龍蛇とは何か／三 三毒の象徴としての龍蛇／四 水辺の龍蛇の死骸の上に建つ寺院／五 壺池に顕現する龍蛇と菩薩

第二章 東アジアの龍蛇伝承

- 一 はじめに／二 鷲鷹と龍蛇との闘争／三 龍宮の宝蔵／四 龍鳴の感応／五 龍蛇の聴聞／六 むすび

第三章 龍蛇と仏法

1 水の童子——道場法師とその末裔——

- 一 はじめに／二 雷の子と分身の誕生／三 童子としての雷神／四 童子・剣・蛇体・雷 五 忌避される童子たち

2 能「道成寺」遡源

- 一 はじめに／二 道成寺説話の展開／三

鐘巻の芸能／四 鐘人の原型／五 両義的な龍蛇

第四章 龍宮伝承

1 東アジアの龍宮訪問譚

- 一 はじめに／二 俵藤太伝承とその先蹤／三 龍蛇報恩と始祖伝承／四 東アジアの基盤的伝承／五 付・ワタツミとワニをめぐる古代的映像

2 龍宮乙姫考——御伽草子『浦島』とその基盤——

- 一 はじめに／二 娑羯羅龍王の乙姫／三 葦島の姫神／四 八幡の姉妹神／五 放生報恩と空船／六 乙姫の原像／七 原像と変容

第五章 龍蛇と観音

1 観音像の背後に立つもの

- 一 はじめに／二 観音の応化／三 先住の神々と観音菩薩／四 亡親としての観音

森 正人（もり まさと）

一九四八年生。熊本大学名誉教授。
尚綱大学・尚綱大学短期大学部前学長。
主要著書：『今昔物語集の生成』（和泉書院）、
『今昔物語集 五』（岩波書店）、『古代説話
集の生成』（笠間書院）ほか。



龍蛇と菩薩
伝承文学論
森 正人

古代・中世人の思い描いていた世界、
感じ取っていた存在は、
科学と合理的思考の前に無残に色あせ、
力なく萎えてしまったのか

歌、物語、絵巻、あるいは絵巻、物語の所存に込められて長く継承されてきた心とその働きを、現代を生きるわれわれの課題として問い直す。

和泉書院

2 龍蛇・観音・母性——説話の変奏と創作——

- 一 はじめに／二 観音霊場と水／三 龍に乗る菩薩／四 実母の亡魂／五 みごもる蛇

第六章 檜垣の姫の歌と物語——伝承の水脈——

- 一 はじめに／二 能「檜垣」の姫の原像／三 「みづはくむ」遡源／四 檜垣の姫の詠歌の本意

第七章 講義「水の文学誌」——実践の記録——

- 一 はじめに——問題の所在／二 授業中の小レポート／三 「水の文学誌」における道成寺物語／四 小レポートの紹介配布と追加の教材／五 残された課題

後書き

初出に関する覚書

索引

注文書	書店番線印	『龍蛇と菩薩 伝承文学論』 定価 本体 2,600 円+税 ISBN 978-4-7576-0911-2	冊	図書出版 和泉書院 〒543-0037 大阪市天王寺区上之宮町7-6 TEL 06-6771-1467 FAX 06-6771-1508
		お名前・御住所・TEL		

2020年5月25日、最新第7巻刊行！



山口仲美著作集

全8巻



未開の研究分野に挑戦し続けた
日本語学者 山口仲美の軌跡！
古典の文体・コミュニケーション研究、
オノマトペの歴史研究では、独壇場！



各巻紹介

第8巻	第7巻	第6巻	第5巻	第4巻	第3巻	第2巻	第1巻
現代語の諸相 2 言葉の探検 コミュニケーション実話	現代語の諸相 1 若者言葉・ネーミング テレビの言葉ほか	オノマトペの歴史 2 ちんちん千鳥のなく声は 犬は「びよ」と鳴っていた	オノマトペの歴史 1 その種々相と史的推移 「おべんちやら」などの語史	日本語の歴史・古典 通史・個別史・日本語の古典	言葉から迫る平安文学 3 説話・今昔物語集	言葉から迫る平安文学 2 仮名作品	言葉から迫る平安文学 1 源氏物語
二〇二〇年九月 刊行予定	A5判 八三〇頁 五八〇〇円 (2020.5)	A5判 六一六頁 五八〇〇円 (2019.12)	A5判 七二二頁 五八〇〇円 (2019.10)	A5判 六三三頁 五八〇〇円 (2019.5)	A5判 五四八頁 五八〇〇円 (2018.12)	A5判 六一四頁 五八〇〇円 (2018.10)	A5判 六一四頁 五八〇〇円 (2018.10)

A5判・上製カバー装
各巻平均六五〇頁
各巻 本体五、八〇〇円＋税
揃価 本体四六、四〇〇円＋税・分売可

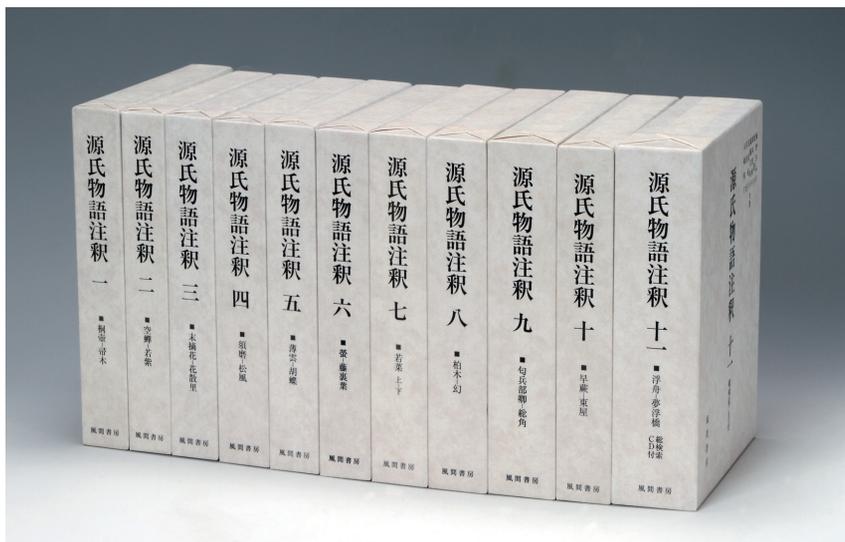
二〇二〇年九月 全巻完結予定！

風間書房

源氏物語注釈 全十一巻

全巻完結
好評発売中！

最新の研究成果に基づき源氏物語を読解。当時の言語事実による実証的な本文研究・校異・注釈を提示。源氏物語注釈総検索CDを付し、ここに全巻完結！



一	山崎良幸・和田明美 共著 桐壺 帚木 山崎良幸・和田明美 共著 空蟬 夕顔 若紫	A5判 四二四頁 一四〇〇〇円 (1999.7)
二	山崎良幸・和田明美・梅野きみ子 共著 末摘花 紅葉賀 花宴 葵 賢木 花散里	A5判 四九六頁 一四〇〇〇円 (2002.12)
三	山崎良幸・和田明美・梅野きみ子 共著 須磨 明石 滯標 蓬生 関屋 絵合 松風	A5判 四七六頁 一四〇〇〇円 (2003.12)
四	山崎良幸・和田明美・梅野きみ子・熊谷由美子・山崎和子 共著 薄雲 朝顔 少女 玉鬘 初音 胡蝶	A5判 四四八頁 一四〇〇〇円 (2004.12)
五	山崎良幸・和田明美・梅野きみ子・熊谷由美子・山崎和子・堀尾香代子 共著 螢 常夏 篝火 野分行 幸 藤袴 真木柱 梅枝 藤裏葉	A5判 四七四頁 一四〇〇〇円 (2006.3)
六	梅野きみ子・乾 澄子・嘉藤久美子・山崎和子 共著 若菜上 若菜下	A5判 五五八頁 一四〇〇〇円 (2009.5)
七	梅野きみ子・乾 澄子・嘉藤久美子・田尻紀子・宮田 光・山崎和子 共著 柏木 横笛 鈴虫 夕霧 御法 幻	A5判 四七四頁 一四〇〇〇円 (2010.12)
八	梅野きみ子・嘉藤久美子・宮田 光・山崎和子 共著 匂兵部卿 紅梅 竹河 橋姫 椎本 総角	A5判 七〇六頁 一四〇〇〇円 (2012.10)
九	梅野きみ子・岡本美和子・嘉藤久美子・佐藤厚子 共著 早蕨 宿木 東屋	A5判 五二八頁 一四〇〇〇円 (2014.10)
十	梅野きみ子・乾 澄子・岡本美和子・嘉藤久美子・田尻紀子・宮田 光・山崎和子 共著 浮舟 蜻蛉 手習 夢浮橋 (総検索CD付)	A5判 九一六頁 二〇〇〇〇円 (2018.5)
十一		

A5判・上製函入

一巻〜十巻 各巻 本体一四、〇〇〇円＋税
 十一巻 (総検索CD付) 本体二〇、〇〇〇円＋税
 揃価 本体一六〇、〇〇〇円＋税・分売可

◎11巻 総検索CDについて◎

『源氏物語注釈』総検索CDは、『源氏物語注釈』全11巻に含まれる文字列を検索可能にする索引機能を提供しております。検索した語句が『源氏物語注釈』のどの巻・どの箇所にあるかを把握することができます。総検索CDには、検索・表示を実行するアプリケーションの例としてサクラエディタを収録。
 動作環境：Windows7、Windows8.1、Windows10
 Microsoftのサポートが正式に終了しているVersionのWindows OSでの動作は保障しておりません。
 Windows以外の環境での使用については、CD内の説明書をご覧ください。



平安文学の謎解き

—物語・日記・和歌—

後藤祥子 著

A5判 268頁 3500円

ISBN 978-4-7599-2293-6 (2019.10)

長年にわたり平安文学および和歌史の周辺において、独自の視点から問題を提起し続けた著者による珠玉の論考を集成。二条后物語、蜻蛉日記、公任卿集などの論を収録。



漱石がいた熊本

村田由美 著

四六判 346頁 2300円

ISBN 978-4-7599-2283-7 (2019.5)

漱石没後100年・生誕150年を記念して西日本新聞に連載された「漱石がいた熊本」を再構成。熊本での暮らし、家族など、4年3カ月の滞在の軌跡を精緻にたどる。



名古屋市立大学人間文化研究叢書 6

アジアの中の日本文化

—ことば・説話・芸能—

名古屋市立大学日本文化研究会 編

四六判 312頁 2500円

ISBN 978-4-7599-2299-8 (2019.12)

文化を伝える日本語ということば、信仰や言い伝えなどが元となっている説話、そしてことばや所作・体験を総合した芸能などの観点から日本文化を考える。



ポピュラーカルチャーの詩学

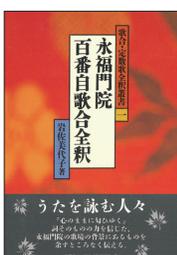
—日本語の文字に秘められたマルチモダリティ—

松田結貴 著

A5判 218頁 2500円

ISBN 978-4-7599-2285-1 (2019.5)

独創的な表現で規範や既存の表現を変える力があるマンガやJ-POP等のポピュラーカルチャーを対象に、日本語の文字が表出するマルチモーダルな意味表現を検討する。



歌合・定数歌全積叢書 (既刊20冊) 歌合・定数歌全積叢書刊行会 編

- ①永福門院百番自歌合全積 6000円／②重家朝臣家歌合全積 6000円／③俊頼述懐百首全積 8000円／④和泉式部百首全積 8000円／⑤⑥堀河院百首全積 上・下 各15000円／⑦住吉社歌合全積 6000円／⑧文集百首全積 16000円／⑨為忠家初度百首全積 16000円／⑩最勝四天王院障子和歌全積 16000円／⑪恵慶百首全積 9500円／⑫慈門難波百首全積 8000円／⑬広田社歌合全積 6000円／⑭寂然法門百首全積 6000円／⑮為忠家後度百首全積 17000円／⑯土御門院句題和歌全積 9000円／⑰鏝也月百首・閑居百首全積 9000円／⑱順百首全積 9500円／⑲新宮撰歌合全積 6000円／⑳好忠百首全積 9500円

以降継続企画中



私家集全積叢書 (既刊40冊)

私家集全積叢書刊行会 編

- ①赤染衛門集全積 18000円／②源道濟集全積 6500円／③小野篁集全積 4800円／④源重之集・子の僧の集・重之女集全積 12500円／⑤基俊集全積 8500円／⑥定頼集全積 12000円／⑦公任集全積 8000円／⑧清原元輔集全積 14000円／⑨檜垣姫集全積 4800円／⑩源兼澄集全積 8000円／⑪本院侍従集全積 8000円／⑫相模集全積 18000円／⑬殷富門院大輔集全積 9500円／⑭為頼集全積 9500円／⑮遍昭集全積 15000円／⑯伊勢集全積 16000円／⑰成尋阿闍梨母集全積 14000円／⑱前長門守時朝入京田舎打聞集全積 9500円／⑲千頼集全積 6000円／⑳貫之集全積 17000円／㉑橘為仲朝臣集全積 13000円／㉒藤原仲文集全積 6000円／㉓沙弥蓮瑠集全積 17000円／㉔深養父集・小馬命婦集全積 9500円／㉕四条宮下野集全積 9000円／㉖匡衡集全積 6000円／㉗光厳院御集全積 6800円／㉘式子内親王集全積 18000円／㉙隆信集全積 15000円／㉚經衡集全積 9500円／㉛小野宮殿実頼集・九条殿師輔集全積 11000円／㉜惟成弁集全積 7000円／㉝家持集全積 9500円／㉞人麿集全積 12000円／㉟公忠集全積 7500円／㊱千里集全積 8000円／㊲大斎院前の御集全積 14000円／㊳御堂関白集全積 6000円／㊴紫式部集全積 11000円／㊵民部卿典侍集・土御門院女房全積 12000円

以降継続企画中

2020年度中古文学会春季大会

【書籍注文書】

書名	冊数	種別	公費書類		
			見積書	納品書	請求書
		公費・私費	見積書	納品書	請求書
		公費・私費	見積書	納品書	請求書
		公費・私費	見積書	納品書	請求書
		公費・私費	見積書	納品書	請求書
		公費・私費	見積書	納品書	請求書

公費書類の宛名：

公費書類の日付：

お名前：



〒

ご住所：

- ◆ご注文は、メール (pub@kazamashobo.co.jp) または FAX にて承ります。
FAX をご使用の際は、本用紙をお使いください。
メールでのご注文の場合は、件名または本文に「2020年度中古文学会春季大会」の旨お書きください。
- ◆学会員限定で2020年7月末までの特価期間、全品2割引で販売いたします。
- ◆本チラシに掲載されていない書目については、2019年版図書目録および弊社ホームページをご覧ください。こちらも2割引で販売いたします。
- ◆送料は弊社で負担いたします。
- ◆お支払い方法については、振替用紙を同封いたします。

風間書房

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
電話 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757 振替 00110-5-1853
<https://www.kazamashobo.co.jp> E-mail pub@kazamashobo.co.jp

2020 年春・特別販売のご案内

中古文学会会員各位

このたび、日頃よりお世話になっております中古文学会会員様限定にて、大会時の展示販売と同様に、全点 **2 割引** の特価でご注文を承ります。
(学会誌「風土記研究」のみ定価販売です)

[期間] 2020 年 7 月 31 日までご注文分まで。

[送料] 5 月 31 日までにご注文いただいた分はご注文金額にかかわらず **無料**。
6 月 1 日以降は、ご注文合計額 2,000 円未満 (割引前の本体価格) のときに、
送料 300 円を申し受けます (2,000 円以上は無料)。

書目の詳細は、次頁のファクス用注文書からご確認いただけます。

(各書目をクリックすると、花鳥社ウェブサイトの詳細ページに移動します)

[ご注文とお支払いについて]

◎花鳥社へ直接ご注文ください。

メール info@kachosha.com

ファクス 03-3792-2323

電話 03-6303-2505

担当 相川 (あいかわ)

◎ご注文の際は、下記をお知らせ下さい。

1. お名前 (「中古文学会会員」と添えてください)
2. お届け先
3. 書籍名と冊数

研究費等、公費でご注文の場合は、以下の 4~6 もお知らせください。

4. 書類のお宛名
5. 見積書、納品書、請求書の必要通数 (ご指定がなければ各 1 通で手配します)
6. 日付の要、不要 (ご指定がなければ起票日を記入します)

◎本に郵便払込用紙を同封の上、お届けいたします (払込手数料はお客様ご負担)。

原則として、ご注文から 3 営業日以内に発送いたします。



〒153-0064 東京都目黒区下目黒 4-11-18-410

電話 03-6303-2505

ファクス 03-3792-2323

ウェブサイト <https://kachosha.com/>

ISBN	書名	刊行年月	著者名	本体価	2割引 (税込み)	冊数
978-4-909832-15-3	はじめて読む 源氏物語	2020年1月	藤原克己監修/今井上編	1,800	1,584	
978-4-909832-17-7	新訳更級日記	2020年3月	島内景二	1,800	1,584	
978-4-909832-08-5	和歌の黄昏 短歌の夜明け	2019年9月	島内景二	2,800	2,464	
978-4-909832-00-9	庭園思想と平安文学 寝殿造から	2018年12月	倉田実	8,500	7,480	
978-4-909832-18-4	文の成立と主語・述語	2020年2月	竹林一志	2,800	2,464	
978-4-909832-03-0	訓読と漢語の歴史	2019年2月	福島直恭	2,400	2,112	
978-4-909832-05-4	女性の文章と近代 書きことばから見たジェンダー	2019年10月	出雲朝子	3,500	3,080	
978-4-909832-31-3	「上代のことばと文字」入門 上代文学研究法セミナー	2020年1月	瀬間正之 編	1,800	1,584	
978-4-909832-07-8	古代日本文学が物語る婚姻・出生伝承	2020年3月	青柳まや	9,500	8,360	
978-4-909832-13-9	古事記私解Ⅰ	2020年1月	多田一臣	3,800	3,344	
978-4-909832-14-6	古事記私解Ⅱ	2020年1月	多田一臣	3,800	3,344	
978-4-909832-02-3	倭建命物語論 古事記の抒情表現	2019年2月	小野諒巳	6,000	5,280	
978-4-909832-09-2	先代旧事本紀論 史書・神道書の成立と受容	2019年8月	工藤浩編	8,000	7,040	
978-4-909832-91-7	風土記研究 第41号 *割引無	2019年3月	風土記研究会編	4,000		
978-4-909832-92-4	風土記研究 第42号 *割引無	2020年3月	風土記研究会編	4,000		
978-4-909832-06-1	闘乱の日本古代史 つくられた偉人たち	2019年9月	松尾光	2,200	1,936	
978-4-909832-21-4	武者の世が始まる 軍記物語講座1	2020年1月	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-22-1	無常の鐘声 平家物語 軍記物語講座2	2020年6月予定	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-23-8	平和の世は来るか 太平記 軍記物語講座3	2019年10月	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-24-5	乱世を語りつぐ 軍記物語講座4	2020年5月予定	松尾葦江編	7,000	6,160	
978-4-909832-01-6	馬琴と演劇	2019年2月	大屋多詠子	16,000	14,080	
978-4-909832-10-8	純文学という思想	2019年10月	小林敦子	4,500	3,960	
978-4-909832-04-7	〈宮澤賢治〉という現象	2019年5月	村山龍	5,800	5,104	
978-4-909832-11-5	「言論統制」の近代を問いなおす	2019年9月	金・尾崎・十重田編	3,200	2,816	
978-4-909832-12-2	映しと移ろい 文化伝播の器と蝕変の真相	2019年9月	稲賀繁美編	12,800	11,264	

本申込用紙で2020年7月31日までにご注文の場合、20%割引で承ります。

お名前

お届け先 (ご自宅 ・ 勤務先) 〒

電話番号

【公費の場合は、下記もご記入ください】

◎書類のお宛名

◎書類枚数 納品 通 ・ 見積 通 ・ 請求 通 ◎日付 無 / 有

株式会社 花鳥社

〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-11-18-410

電話03-6303-2505 FAX03-3792-2323

ウェブサイト <https://kachosha.com> メール info@kachosha.com

はじめて読む源氏物語

藤原克己 監修 / 今井上 編

光源氏の人生をわかりやすく
見通せる『源氏物語』入門。

選り抜きの名場面や重要な一節を取り上げて鑑賞しながら、
物語の大きな流れと読みどころをわかりやすく解説。
恋と冒険、出会いと別れ、親睦と裏切り、誤解やすれ違い、夢や予言や陰謀まで、
多くの話題が複雑に絡み合う物語を味わうための道案内。

「目次」

監修者のことば／凡例

- 1 桐壺巻―物語のはじまり
ダイジエスト1 帚木三帖
- 2 若紫巻―紫の上と藤壺
ダイジエスト2 末摘花巻
- 3 紅葉賀・花宴巻―光源氏 青春の恋
- 4 葵・賢木巻―波乱の予感
ダイジエスト3 花散里巻
- 5 須磨・明石―流離と復活
ダイジエスト4 湊標・蓬生・関屋巻
- 6 絵合・松風巻―新たな宮廷秩序

- 7 薄雲・朝顔巻―藤壺退場
- 8 少女巻―物語の転換点
ダイジエスト5 玉鬘十帖
- 9 梅枝・藤裏葉巻―栄華の完成
- 10 若菜巻―老年の光源氏
- 11 柏木・横笛巻―不義の連鎖
ダイジエスト6 鈴虫・夕霧巻
- 12 御法・幻巻―紫の上と光源氏の退場

「コラム」たのしい『源氏絵』の世界
主要人物紹介／あとがき／執筆者紹介



本体価格 1,800 円(税別)

ISBN978-4-909832-15-3 C0095

A5判・並製カバー装・216頁・2020年1月刊

『更級日記』の魅力存分に引き出した新訳の誕生！

新訳更級日記

島内景二著

古典の奥の奥までわかる。

踏み込んだ意識が一行の背後に潜む、凝縮された更級世界にわれわれを導く。

「目次」はじめに

I 東海道紀行……憧れは西へ（十三歳）

物語の待つ都へ／取り残された薬師仏／雨の日の旅立ち／水底の門／くるとの浜／月光哀歌／東国に下り住んだ皇女様／隅田川を渡る／地名のおかしみ／夢幻のクレバス／駿河の国に入る／神々が集う富士の山／浜名の橋／三河の国の旅／恐るべき満ち潮と、足柄幻影／晴れやらぬ雪の逗留／来迎の神秘

II 広大な屋敷で紡がれる夢……物語愛つる少女（十三歳から十七歳）

物語への飢渴感と、焼け石に水／継母との別れ／相次いだ春の計報／『源氏物語』を読む夢を叶える／十四歳の夏秋天照御神／猫に生まれ変わった姫君／『長恨歌』と七夕／死を思う姉と、荻の葉情歌／自宅の火災と、そして猫の死／狭い家に移る／飛び去りし姉／死の波紋を描く物語／悲しみの連珠／吉野を思う

III 東山での日々……淡い恋の記憶（十八歳から二十四歳）

父親の不遇を、恋人と悲しむ／東山に移る／山の井の雫／物語の女たちを憶つ／時鳥を独り占め／東山の秋／心の友は、どこに／東山から戻る／東山再訪／露の哀れ／継母への抗議／物語への永遠なる憧れ

IV 父、遠くへ去りぬ……寄せては返す夢のさざ波（二十五歳から二十八歳）

「常陸の介」になった父／秋の別れ／太秦で父の無事を祈る／散乱たり、荻の葉。そして、夢もまた／子忍びの森／清水寺で見た夢／長谷寺の鏡の夢／天照御神／修学院の尼

V 祐子内親王家への宮仕え……文化サロンの萌芽（二十九歳から三十二歳）

父、帰る／西山の山荘／宮仕への誘い／初めての出仕／師走の里下がり／前世の夢／御仏名

著者が担当する、NHKラジオ第2『古典講読 王朝日記の世界 更級日記』絶賛放送中！



本体価格 1,800 円(税別)

ISBN978-4-909832-17-7 C1095

四六判・並製カバー装・424頁・2020年3月刊

VI 結婚と貴公子……世俗的な夫と、物語的な男（三十三歳から三十七歳）

結婚／物語への疑い／内侍所で天照御神を拝む／冬の女房生活日記・その一／冬の女房生活日記・その二／冬の女房生活日記・その三／

宮廷の風雅、殿上人との季節の語り／時雨の夜のなごり

VII 物語の旅……宗教的な旅の思い出（三十八歳から四十九歳）

家刀自の自由を、石山詣／都の華やきを後に、初瀬詣／宇治川の網代／鞍馬の春秋／石山寺、再訪／初瀬、再訪／家庭生活の満足と、期待／越前に下った女友達／西山で孤独を思う／太秦に籠もる／同僚の女房たちとの友情／和泉の国への舟旅

VIII 姨捨山の月……物語を求め続けて、今（五十歳から五十二歳）

夫、信濃の国司となる／夫と息子の旅立ち、不吉な人魂／夫の死／夢は、みんな壊れた／阿弥陀仏の夢／更級の姨捨山／孤独を生きる／移り行く刻と、人生の悲哀／藤原定家の奥書・その一／藤原定家の奥書・その二

解説

和歌の黄昏 短歌の夜明け

島内景二著

歌は、21世紀でも「平和」を
作りだすことができるか。

「『古今和歌集』から日本文化が始まる」という新常識のもと、
千四百年の歴史を誇る和歌・短歌の変遷を丁寧にもとく。
「令和」の時代を迎えた現代が直面する、
文化的な難問と向かい合うための戦略を問う。

【目次】

序章 早わかり「和歌・短歌史」

●Ⅰ 和歌の黄昏

- 1 和歌は、異文化統合のシステムだった
- 2 皆殺しの短歌と、「四海兄弟」の和歌
- 3 中島広足と神風思想
- 4 三島由紀夫は、和歌文化を護ろうとした
- 5 蓮田善明の「反近代」、そして「反アンソング」
- 6 「もののははれ」という暴力装置
- 7 赤穂浪士たちの仇敵は、源氏文化だった
- 8 本居宣長の「大和心」と「大和魂」
- 9 明治天皇と「大和心」
- 10 近藤芳樹と『源氏物語』
- 11 橘守部による和歌の大衆化
- 12 香川景樹と「原・もののははれ」
- 13 江戸の文人大名と『源氏物語』

●Ⅱ 短歌の夜明け

- 14 現代短歌は、いつから平面化したのか
- 15 短歌の物語性と批評性の母胎は、漢語である
- 16 正岡子規と『源氏物語』
- 17 正岡子規の「歴史」詠
- 18 短歌と新体詩の距離
- 19 大和田建樹の新体詩の戦略
- 20 落合直文は、なぜ「折衷派」なのか
- 21 樋口一葉は旧派歌人だった
- 22 森鷗外の和歌と小説
- 23 翻訳詩の功罪……上田敏の『海潮音』
- 24 在原業平になりたかった男……与謝野鉄幹
- 25 「西下り」した女業平……与謝野晶子
- 26 佐佐木信綱と古典文学

- 27 佐佐木信綱の『新月』
- 28 『まひる野』と、窪田空穂の「神」
- 29 若山牧水のあくがれた「城」と「国」
- 30 若山牧水と『伊勢物語』
- 31 若山牧水と古典和歌
- 32 原阿佐緒の『涙痕』を読む
- 33 北原白秋と『小倉百人一首』
- 34 北原白秋『桐の花』と、「もののははれ」
- 35 「もののははれ」と革命……石川啄木
- 36 斎藤茂吉『赤光』と「もののははれ」
- 37 島木赤彦『切火』と、近代文語
- 38 伊藤左千夫と日露戦争
- 終章 「もののははれ」と日本、そして世界
おわりに……「令和」の祈り



本体価格 2,800 円(税別)

ISBN978-4-909832-08-5 C1092

A5判・並製カバー装・376頁・2019年9月刊

庭園思想と平安文学

寝殿造から

倉田 実 著

寝殿造の「庭」を
新たな視点で捉えなおす。

『源氏物語』『枕草子』『うつほ物語』『伊勢集』『和泉式部集』ほか、
王朝文学作品に描かれた様々な「庭」。貴族は庭に何を求めていたのか、
史実と虚構から考察。庭園史や考古学の知見も得て作品中の庭を捉え、
平安文学を読み解く。



本体価格 8,500 円(税別)

ISBN978-4-909832-00-9 C3095

A5判・上製カバー装・376頁・2018年12月刊

「目次」

凡例

序 平安時代の庭

I 神仙庭園から浄土庭園へ

第1章 『源氏物語』の神仙庭園―「胡蝶」巻の六条院―

第2章 『狭衣物語』の浄土寺院と浄土庭園
―道長の法成寺と頼通の平等院の影―

II 実在した寝殿造の庭

第3章 藤原敦忠「音羽山荘」の庭
―『伊勢集』の遣水の滝を詠む和歌―

第4章 藤原頼通創建「高陽院」の池庭

第5章 再建「高陽院」について

III 平安朝女性文学と前栽

第6章 歌人の庭―『伊勢集』から―

第7章 家の女の庭―『蜻蛉日記』から―

第8章 女の家庭―『和泉式部集』『和泉式部続集』から―

第9章 宮廷の庭―『枕草子』から―

IV 物語文学の庭

第10章 音楽の庭―『うつほ物語』仲忠の三条京極邸―

第11章 春秋優劣論の庭―『源氏物語』の六条院―

第12章 紅梅の庭―『源氏物語』の二条院と紫上の最期―

初出一覧／引用図版出典／あとがき

歴史人名索引／歴史文献書名索引／庭園・建築関係事項索引

中古文学会会員様限定特別サイト開設のお知らせ!!

新型コロナウイルス感染拡大によりご不便を強いられている皆様も多いと思います。漢字情報システムは応援いたしたく中古文学会会員様限定で下記の商品を表示価格より2割引にて御提供いたします。御検討いただけますと幸いです。2020年5月11日 漢字情報システム 代表取締役 木村敏和

彫龍古籍全文検索叢書シリーズ

(出版社 有限会社凱希メディアサービス)CD-ROM/DVD-ROM 版

全点テキスト化、全文検索、コピーペースト、印刷可能。

(全商品 Windows XP/Vista/7/8/8.1/10*32bit 版 OS,64bit 版 OS 及び MacOS10.4 Leopard 以後とも対応、全文検索、コピー、印刷可能) ※価格は全て税込金額です。



お問合せ、お申込みに関しまして

電話 047-701-5772 kanjijoho@kzh.biglobe.ne.jp にお気軽にお申し付けください。

お問合せの際は御氏名の記載は不要でございますので御安心ください。お申込みの際は下記の情報をご教示いただけると幸いです。

【1】御名前、【2】商品送付先住所、【3】電話番号(携帯可)、【4】御希望商品名 【5】公費私費の区分 【6】必要書類および書類の宛名をご記入の上、送信お願い申し上げます。

私費の場合は商品とともに郵便振込用紙(振込手数料弊社負担)を送付させていただきますので商品到着後の御支払となります。

ご不明な点は、TEL 047-701-5772 担当 木村 にお気軽にお申し付けください。

お申込み例

- 【1】 木村亜紀子
 - 【2】 〒272-0822 千葉県市川市宮久保 3-12-3 漢字情報システム大学文学部史学科
 - 【3】 047-701-5772 ※携帯電話番号も可
 - 【4】 シリーズ (16) : 宋會要輯稿*Mac 版ご希望の場合は「Mac 版」とご指定ください。
 - 【5】 公費
 - 【6】 請求書、納品書、見積書各一通 日付必要
- 宛「漢字情報システム大学文学部木村亜紀子」

発売中のシリーズ叢書タイトル

シリーズ (1) : 全唐文 (繁体字版)	26,400 円 (税込)
シリーズ (2) : 全上古三代秦漢三國六朝文 (繁体字版)	24,200 円 (税込)
シリーズ (3) : 先秦漢魏晉南北朝詩／文選 (繁体字版)	26,400 円 (税込)
シリーズ (4) : 十三經 (白文) ／十三經注疏 (繁体字版)	35,200 円 (税込)
シリーズ (5) : 全唐詩 (繁体字版)	19,800 円 (税込)
シリーズ (6) : 唐代四大類書 (繁体字版) (藝文類聚、初学記、北堂書鈔、白孔六帖、六帖補)	37,400 円 (税込)
シリーズ (7) : 全宋詞/全元曲 (繁体字版)	20,900 円 (税込)
シリーズ (8) : 佩文韻府/韻府拾遺 (繁体字版)	141,900 円 (税込)
シリーズ (9) : 唐宋史料筆記叢刊 (繁体字版)	20,900 円 (税込)
シリーズ (10) : 郝敬撰一九部經解 (繁体字函文版)	20,900 円 (税込)
シリーズ (11) : 清実録 (繁体字版)	103,400 円 (税込)
シリーズ (12) : 明実録 (繁体字版)	79,200 円 (税込)
シリーズ (13) : 元明史料筆記叢刊 (繁体字版)	20,900 円 (税込)
シリーズ (14) : 清代史料筆記叢刊 (繁体字版)	20,900 円 (税込)
シリーズ (15) : 正統道藏 (繁体字版) (洞真部、洞玄部、洞神部、太玄部、太平部、 太清部、正一部、續道藏)	251,900 円 (税込)
シリーズ (16) : 宋會要輯稿 (繁体字版) ※唐會要も収録しております。	41,800 円 (税込)

シリーズ (17) : 歴代賦彙 (繁体字版)	24,200 円 (税込)
シリーズ (18) : 宋代三大類書 (繁体字版) (冊府元龜、太平御覽、太平廣記)	41,800 円 (税込)
シリーズ (19) : 歴代會要 (繁体字版) (1)春秋會要、(2)西漢會要、(3)東漢會要、(4)三国會要、(5)南朝宋會要 (6)南朝齊會要、(7)南朝梁會要、(8)南朝陳會要、(9)五代會要、(10)明會要	82,500 円 (税込)
シリーズ (20) : 永樂大典(繁体字版)	157,300 円 (税込)
シリーズ (21) : 歴代詩話(繁体字版)	41,800 円 (税込)
シリーズ (22) : 道藏輯要(繁体字版) 『道藏輯要』は清康熙年間に長州進士である彭定求が編纂したもので、明代に出版された『正統道藏』以降の最も重要な道教経典叢書である。近代道教経典選集として最大のものだと言われているし、明清朝の道教研究に不可欠の重要典籍でもあります。『道藏輯要』は『正統道藏』に収録されていない文献を多く収集しており、その数は100種以上あります。使っている版文は賀龍驤氏が1906年に四川成都の二仙庵から出版されている『重刊道藏輯要』で、各種の道書二百九十七種を包括しているとするものである。	103,400 円 (税込)
シリーズ (23) : 明清會典(繁体字版) (1) 大明會典、(2)明會典、(3)欽定大清會典、(4)大清會典則例、(5) 大清會典圖	82,500 円 (税込)
シリーズ (24) : 歴代詩文総集 : 漢代至宋代篇(繁体字版)	207,920 円 (税込)
シリーズ (25) : 歴代詩文総集 : 金元明篇(繁体字版)	207,920 円 (税込)
シリーズ (26) : 金石史料新編(第一輯)(繁体字版)	157,300 円 (税込)
シリーズ (27) : 駢字類編(繁体字版)	51,700 円 (税込)
シリーズ (28) : 歴代詩文総集 : 清代篇 (繁体字版)	207,920 円 (税込)
シリーズ (29) : 皇朝經世文篇(上)	41,800 円 (税込)

シリーズ (30) : 二十五史(新校標点本) 史記、漢書、後漢書、三国志、晋書、宋書、南齊書、梁書、陳書、魏書、北齊書、周書、隋書、南史、北史、旧唐書、新唐書、旧五代史、新五代史、宋史、遼史、金史、元史、明史、清史稿	72,600 円 (税込)
シリーズ (31) : 續四部叢刊(四部備要)363種、一万八百六十四卷、一億二千三百万字 1920-1936 上海中華書局據文瀾文津閣本校刊本	330,000 円 (税込)
シリーズ (32) : 金石史料新編(第二輯)(繁体字版)	115,500 円 (税込)
シリーズ (33) : 清代五朝會典(繁体字版) (康熙朝、雍正朝、乾隆朝、嘉慶朝、光緒朝)	198,000 円 (税込)
シリーズ (34) : 《歷代詩文別集(漢代至明代篇)》 775 種	165,000 円 (税込)
シリーズ (35) : 《歷代詩文別集(清代上篇)》 568 種	121,000 円 (税込)
シリーズ (36) : 《歷代詩文別集(清代下至民国篇)》 568 種	121,000 円 (税込)
シリーズ (37) : 《歷代詩文評類》 140 種	60,500 円 (税込)

今回出版された《歷代詩文別集》は、主に續修四庫全書、四庫全書存目、禁毀四庫全書及び四庫未収書の中に収録されております別集類からデジタル化したものです。

重複を避けるため、四庫全書、四部叢刊及び四部備要に収録されている別集類は今回の《歷代詩文別集》に収録されておりません。

今回の《歷代詩文別集》には合計 1912 種文献が収録されており、《歷代詩文別集(漢代至明代篇)》 776 種、《歷代詩文別集(清代上篇)》 568 種、《歷代詩文別集(清代下至民国篇)》 568 種の 3 文献に分かれております。

シリーズ (38) : 《中國歷代石刻史料彙編》	57,200 円 (税込)
--------------------------	------------------

シリーズ (39) : 《中國歷代填詞・詩餘》	60,500 円 (税込)
-------------------------	------------------

シリーズ (40) : 《中國歷代戲曲(上)》	60,500 円 (税込)
シリーズ (41) : 1919 年版四部叢刊電子版 初編 324 種、続編 76 種、三編 71 種 合計 471 種	330,000 円 (税込)
シリーズ (42) : 《古今圖書集成》	165,000 円 (税込)
シリーズ (43) : 大英図書館蔵敦煌文献(上)	104,500 円 (税込)
シリーズ (44) : 法國國家圖書館蔵敦煌文献(上)	104,500 円 (税込)
シリーズ (45) : 《元雜劇選(上)》	55,000 円 (税込)
シリーズ (46) : 《清代起居注冊-同治編》	38,500 円 (税込)
シリーズ (47) : 《聯話叢編》(繁体字版)	26,400 円 (税込)
シリーズ (48) : 《懷徳堂文庫》	38,500 円 (税込)
シリーズ (49) : 《古本戲曲叢刊初集》	60,500 円 (税込)
シリーズ (50) : 《古本小説集成第一輯》	60,500 円 (税込)
シリーズ (51) : 《清代朱卷上集会試卷》	64,900 円 (税込)
シリーズ (52) : 《清代朱卷中集郷試卷》	104,500 円 (税込)
シリーズ (53) : 《清代朱卷下集五頁卷》	60,500 円 (税込)
シリーズ (54) : 《古本小説集成第二輯》	60,500 円 (税込)
シリーズ (55) : 《皇朝經世文編 (中)》 邵之棠輯《皇朝經世文統編》、何良棟編《皇朝經世文四編》 甘韓編《皇朝經世文編續集》、求實齋主人輯《皇朝經世文編五集》	41,800 円 (税込)

彫龍日本漢文古籍検索叢書シリーズ

(出版社 有限会社凱希メディアサービス)CD-ROM/DVD-ROM 版

全点テキスト画面化、全文検索、コピーペースト、印刷可能。

(全商品 Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 * 32bit 版 OS,64bit 版 OS 及び
MacOS10.4 Leopard 版以後ともに対応、全文検索、コピー、印刷可能)※価格は全て
税込金額です。



お問合せ、お申込みに関しまして

電話 047-701-5772 kanjijoho@kzh.biglobe.ne.jp にお気軽にお申し付けください。

お問合せの際は御氏名の記載は不要でございますので御安心ください。お申込みの際は下記の情報をご教示いただくと幸いです。

【1】御名前、【2】商品送付先住所、【3】電話番号(携帯可)、【4】御希望商品名【5】公費私費の区分【6】必要書類および書類の宛名をご記入の上、送信お願い申し上げます。

私費の場合は商品とともに郵便振込用紙(振込手数料弊社負担)を送付させていただきますので商品到着後の御支払となります。

ご不明な点は、TEL 047-701-5772 担当 木村 にお気軽にお申し付けください。

お申込み例

【1】木村亜紀子

【2】〒272-0822 千葉県市川市宮久保 3-12-3 漢字情報システム大学文学部日本文学科

【3】047-701-5772 (携帯電話番号も可)

【4】シリーズ7 国史大系 ※Mac版をご希望の場合はMac版とご指定ください。

【5】公費

【6】請求書、納品書、見積書各一通 日付必要

宛「漢字情報システム大学文学部木村亜紀子」

シリーズ1 六国史 58,300円

(日本書紀、続日本紀、日本後紀、続日本後紀、日本文徳天皇実録、日本三大実録)
*慶長15年版本

シリーズ2 本朝文粹註釋 47,300円

*大正11年京都内外出版柿村重松註本

シリーズ3 日本漢詩第一輯 (江戸 I) 39作品 55,000円

シリーズ4 日本漢詩第二輯 (江戸 II) 39作品 55,000円

シリーズ5 日本漢詩第三輯 (江戸後期、明治初期) 38作品 55,000円

シリーズ6 日本漢詩第四輯 (明治後期、大正) 41作品 55,000円

日本漢詩4タイトルは名古屋大学教授加藤国安先生監修です。

シリーズ7 國史大系 70,400円

黒板勝美校訂経済雑誌社版

シリーズ8 頼山陽全書 69,300円

(頼山陽全傳、頼山陽全集、頼山陽文集、頼山陽詩集、頼山陽日記)

シリーズ9 倭名類聚鈔附新撰字鏡 38,500円

*二十卷慶安版本

シリーズ10 國史大系續 70,400円

黒板勝美校訂経済雑誌社版

シリーズ11 日本漢詩紀行篇第一輯 55,000円

シリーズ12 日本漢詩紀行篇第二輯 55,000円

シリーズ13 日本漢詩《秋田漢詩文》(図文字版) 27,500円

石川三佐男先生(秋田大学名誉教授・文学博士)監修

シリーズ14 日本漢詩《明治詩文》(図文字版) 55,000円

監修:東洋大学名誉教授 吉田公平先生、名古屋大学教授 加藤国安先生

シリーズ 15 古事類苑電子検索版 30 部セット 330,000 円

著者: [明治]神宮司庁版本[1914 年古事類苑出版事務所編]

分売 (各 16,500 円) も行っております。分売商品に関しては認証不要でございます。

古事類苑収録明細

天部、歳時部、地部、神祇部、帝王部、官位部、封禄部、政治部、法律部、泉貨部、称量部、外交部、兵事部、武技部、方技部、宗教部、文学部、礼式部、楽舞部、人部、姓名部、産業部、服飾部、飲食部、居処部、器用部、遊戯部、動物部、植物部、金石部

シリーズ 16 日本漢詩《大正詩文》(図文字版) 55,000 円

監修: 東洋大学名誉教授 吉田公平先生、名古屋大学教授 加藤國安先生

シリーズ 17 日本漢詩《昭和詩文》(図文字版) 55,000 円

監修: 東洋大学名誉教授 吉田公平先生、名古屋大学教授 加藤國安先生

シリーズ 18 日本漢詩《東華》(図文字版) 110,000 円

監修: 東洋大学名誉教授 吉田公平先生、名古屋大学教授 加藤國安先生

汲古書院／中古文学会学会員限定特価販売のご案内

お申込み期限：2020年7月31日

お届け価格：全品20%引

お申込み方法：本FAX注文書・Eメールにて直接小社までお申し込み下さい。

お届け方法：受注後2～5日以内に宅急便にてお届け致します。時間指定も可能です。

送料・振込手数料：購入総額一万円以上は送料・振込手数料サービス。

未滿は送料実費370円～700円と振込手数料が必要です。

お支払い方法：同封の郵便振替用紙または銀行振込により現品到着後1ヶ月以内にお支払いください。

※公費でのご注文は、手続き終了後で構いません。

メール：kyuko@fancy.ocn.ne.jp 電話：03-3265-9764 FAX：03-3222-1845

汲古書院営業部行

お申込み日： 年 月 日

書名	著者	刊行年	本体価格	学会価格	注文部数
律令国家と言語文化	土佐秀里	2020年2月	21,000	18,480	
高山寺経蔵の形成と伝承	総合調査団	2020年3月	25,000	22,000	
静嘉堂文庫蔵『懐風藻箋註』本文と研究	土佐朋子	2018年2月	10,500	9,240	
古事記と東アジアの神秘思想	王小林	2018年12月	9,000	7,920	
万葉集と東アジア世界 上	川勝守	2020年3月	6,000	5,280	
日本文化研究における歴史と文学	柳沢昌紀	2020年3月	4,000	3,520	
『毛詩』の文獻學的研究	藪敏裕	2020年2月	13,000	11,440	
六朝書翰文の研究	福井佳夫	2020年3月	15,000	13,200	
白樂天研究—詩語と修辭—	埋田重夫	2020年3月	13,000	11,440	
全譯三國志⑥「蜀書」	渡邊義浩	2019年11月	12,000	10,560	
全譯三國志①～⑤・⑦～⑨	渡邊義浩			各20%引	
訳注 荆楚歳時記	中村裕一	2019年12月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事①〔春〕	中村裕一	2009年1月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事②〔夏〕	中村裕一	2009年10月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事③〔秋〕	中村裕一	2010年10月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事④〔冬〕	中村裕一	2010年8月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事⑤〔補遺・索引〕	中村裕一	2018年12月	12,000	10,560	

* その他、ご希望書籍がございましたらお知らせ下さい。

お名前

〒

TEL

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入ください。）

日付：要・不要

書類の宛名：

見積書 通・納品書 通・請求書 通

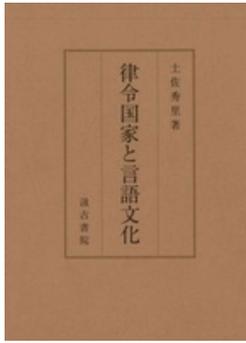
律令国家形成期の言説を読み解き、政治・文化の双方向から時代の精神を明らかにする！

律令国家と言語文化

土佐秀里 著

A5判上製・906頁・本体価格21,000円

ISBN978-4-7629-3645-6 C3091 2020年2月刊



【主要目次】

序章 律令国家と言語文化

「言語の自立性」と歴史記述の可能性／氏族制と律令制／律令的思考

第一章 文字の思考

文字の倒錯 『古事記』序文／断片と縫合 『古事記』上巻／書物のフエティシズム／漢字と倭歌／歌の記載と価値／東歌と仮名表記

第二章 「感情」の発見 斉明朝・天智朝

天皇挽歌の生成／言語呪術の臨界 天智挽歌群／天智朝の詩宴と倭歌 額田王「春秋競憐判歌」／天智朝の祭祀と倭歌 額田王「三輪山歌」／紫草のほへる妹 「蒲生野遊獵歌」／「近江天皇を思ふ歌」存疑／額田王の「位置」／〈恋愛〉の発見

第三章 「神話」と儀礼の創出／解体 天武朝・持統朝天」と「国」と「海」 舒明天皇「望国歌」／儀礼言語の形成と持統朝／「戦後文学」としての柿本人麻呂／人麻呂登場／神話と儀礼の解体 柿本人麻呂「石中死人歌」／人麻呂挽歌の〈語り〉と視点／「無常の雲」と「神仙の雲」 弓削皇子「遊吉野歌」

第四章 「大宝律令」前後 文武朝・元明朝

大和高市麻呂の復権／文武朝の行幸と「上林」／文武天皇の述懐詩と詠物詩／文武天皇「御製歌」存疑／大宝元年の長意吉麻呂／遣唐使山上憶良の日本回帰／孤独な女帝の肖像 元明天皇とその御製

第五章 律令官人の夢想と現実 元正朝・聖武朝

不比等から旅人へ／夜の従駕者 山部赤人「吉野讃歌」／天平元年の班田と万葉集／藤原麻呂贈歌三首の〈神話〉／饗宴と無常 大伴坂上郎女「宴親族歌」／高橋虫麻呂の女性幻想／東国幻想 「詠勝鹿真間娘子」

「詠上総末珠名娘子」／家持と童女

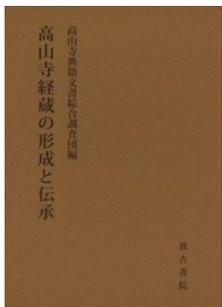
◎高山寺典籍文書綜合調査団五十周年記念出版！

高山寺経蔵の形成と伝承

高山寺典籍文書綜合調査団 編

B5判・536頁・本体価格25,000円

ISBN978-4-7629-3646-3 C3015 2020年3月刊



【主要目次】

序文—小川義章師覚書類の概要と翻刻—歴代住職関連記調査団五十周年記念出版に寄せて—

緒言 高山寺典籍文書綜合調査団代表 石塚晴通

第一部 論考篇

コデイコロジーより見たる高山寺本…… 石塚晴通

高山寺蔵空海撰述書の古写本・古刊本について 月本雅幸

玄法寺儀軌における敬語待遇表現の諸相

—院政期の東大寺点加資料二種—…… 松本光隆

『雑筆集』所収の教化の文体…… 山本真吾

高山寺の古辞書音義…… 池田証寿

江戸時代における高山寺の諸相

—僧侶の事績を中心に—…… 徳永良次

中世初期旧仏教寺院における文字生活

—明恵上人とその周辺を例として—…… 矢田 勉

高山寺蔵『打聞集』について

—仮名表記自立語の検討を中心に—…… 磯貝淳一

『脩華嚴奥旨妄盡還源觀』の刊行

—印刷方法と訓読方針の関係について— 白井 純

第二部 資料篇

高山寺蔵論語集解（清原本・中原本）解題・影印

…… 石塚晴通・小助川貞次

高山寺蔵『法華経義疏第一』解題・影印

…… 古田恵美子

高山寺蔵「観智記」鎌倉時代中期写本

題並びに翻字本文…… 土井光祐・金水 敏

高山寺本『受法用心集』解題・翻刻…… 末木文美士

金剛般若経依天親菩薩論贊略釈秦本義記 解題・影印

…… 池田証寿

小川義章師覚書類の概要と翻刻

—歴代住職関連記事を中心に— 大槻 信・山中延之

あとがき…… 池田証寿

高山寺典籍文書綜合調査団名簿

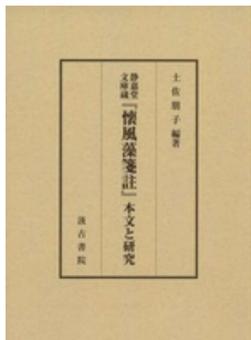
現存最古の懷風藻注釈書を影印・翻刻し、初公刊——その特徴と成立の背景を明らかにする！

静嘉堂文庫蔵『懷風藻箋註』本文と研究

土佐朋子 編著

A5判・404頁・本体価格10,500円

ISBN978-4-7629-3637-1 C3095 2018年2月刊



【主要目次】

まえがき／凡 例

本文篇

解題 書誌と伝来／作者と成立／構成と形式

／本文の性質／注釈の特徴と意義

影印（＊利用の便から、詩・詩序・伝記に対し、

影印・翻刻共通の番号を上部欄外に付した。）

翻刻

研究篇

第一章 『懷風藻箋註』と鈴木真年

―新資料『真香雜記』の「今井舎人」―

第二章 今井舎人と鈴木真年

―鈴木真年伝の新資料―

第三章 鈴木真年の知的環境

第四章 書誌と伝来

第五章 『懷風藻箋註』と群書類従本『懷風藻』

第六章 『懷風藻箋註』本文の性格

第七章 『懷風藻箋註』引用典籍一覧および考証

第八章 『懷風藻』版本書入二種

―河村秀根・慈本書入本の紹介と翻刻―

第九章 狩谷掖斎書入『懷風藻』

―川瀬一馬「狩谷掖斎著

『懷風藻校注』―修正―

初出一覧／あとがき／

索引（人名・神名索引／書名・文献名索引）

（平成29年度日本学術振興会助成図書）

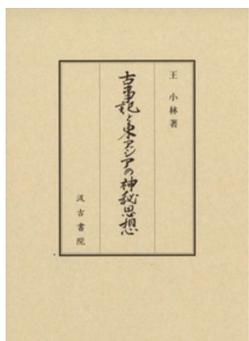
『古事記』を古代東アジアの文化交流というコンテキストの中で考察する

古事記と東アジアの神秘思想

王 小林 著

A5判・356頁・本体価格9,000円

ISBN978-4-7629-6620-0 C3090 2018年12月刊



【主要目次】

まえがき／凡例

第一章 『古事記』と緯書

『古事記』成書の謎／反正記の小さな糸口／

神々の風貌／各種文献に見る異常な歯／『日

本書紀』の天皇描写／古代中国の異常風貌／

反正記の表現と緯書／「貫珠」が意味するも

の／『古事記』における異常風貌説の機能／

記紀における緯書の受容（神武東征伝承と緯

書）／「ながびと」考―建内宿禰伝承と讖緯

思想／『懷風藻』の場合

第二章 『古事記』と朝鮮史料

反正記と尼師今伝説／朝鮮史料・渡来説話と

緯書／脱解王伝承が語るもの／骨品と緯書／

『三国史記』に見る井戸と龍／『三国遺事』に

見る龍／井戸と王権・符命／井戸、池、川、

海と崑崙の水界

第三章 『古事記』と神仙思想

瑞井と変若水・醴泉と天つ水／上代文献に見

る井戸／孤立した仙境／「登岐士玖能迦玖能

木実」伝承の意味／洞天・地脈・水界を持た

ぬ日本の龍／龍との関係を絶たれる反正天皇

／龍と「天つ日嗣」の天下／龍と革命の思

想／異常風貌説の変容―「長人」から土蜘蛛・

酒呑童子へ／古代東アジアにおける神秘思想

のあり方

第四章 『古事記』と『帝王世紀』

『古事記』は歴史書か／『古事記』の核心は何

か／「帝紀」とは何か／反正記と『帝王世紀』

の接点 五 『帝王世紀』の歴史叙述／『帝

王世紀』の内容構成と『古事記』／『帝王世

紀』の源流―葉書・牒／『帝王世紀』の達

成／『帝王世紀』の生成論と緯書／「有聖徳」

の継承、発揚と緯書／『古事記』の生成論と

緯書／『古事記』の文章表現と『帝王世紀』

／『上宮聖徳法王帝説』の場合／太安万侶が

果たした使命

参考文献／あとがき／人名索引

万葉歌人はいかなる環境において歌を詠んだのか—万葉集の「漢字表記」や「漢字のよみ」を東アジアの国際的環境との関連で見直す！

万葉集と東アジア世界 上

川勝 守 著

A5判・532頁・本体価格6,000円

ISBN978-4-7629-6653-8 C3321 2020年3月刊

【内容目次】

はじめに／凡 例

第一章 日本古代国家の成立と東アジア世界

―万葉集巻一について―

第二章 飛鳥藤原期の政治変動と土婚及び葬送儀

礼―万葉集巻二の相聞・挽歌について―

第三章 律令文武官人の任務と作歌活動

―万葉集巻三の雑歌・譬喩歌・挽歌について―

―

第四章 日本型相聞歌と律令文武官人の作歌活動

―万葉集巻四の相聞歌について―

第五章 遠の朝廷大宰府・九州官人の作歌と東アジア世界

―

第六章 奈良京朝廷官人の公務と作歌

第七章 万葉集における宮廷歌の古典とその分類

その一

第八章 万葉集における宮廷歌の古典とその分類

その二

第九章 万葉集における宮廷歌の古典とその分類

その三

『万葉集と東アジア世界』上巻のあとがき

万葉集読み方用例索引

（「万葉集特別漢字用語索引」

「万葉仮名、二字以上語句索引」

「短漢文語句索引」

索引（「件名事項索引」

「件名・動物索引」「件名・植物索引」

「人名索引」「地名索引」ほか）

日本文化研究における歴史と文学

——双方の視点による再検討—— 中京大学文化科学叢書21

柳沢昌紀 編著

A5判並製カバー・224頁・本体価格4,000円

ISBN978-4-7629-3648-7 C3091 2020年3月刊

【内容目次】

第一部 合戦を記す

甫庵『信長記』寛永元年版における片仮名

活字本版下利用の実態

―巻第一を例として―……………柳沢昌紀

天正三年武田勝頼岡崎攻落作戦

―神官家記「嶋呂家根元慶図記」の検討―

……………村岡幹生

第二部 合戦と文事

『東国紀行』にみる戦国時代の交通・宿泊

事情……………山田邦明

細川藤孝と三条西実枝（実澄）

―連歌作品に見る戦国の合戦と古今伝受―

……………鶴崎裕雄

関ヶ原の戦と古今伝受

―勅命による開城をめぐる―小高道子

第三部 絵巻をめぐる

説話集と絵巻の鑑賞方法……………藤本孝一

―朗読から読書へ……………

岩佐又兵衛の芸能観……………

―浄瑠璃愛好者としての側面―深谷 大

第四部 歴史と文学の間

鳥丸光栄の関歴と和歌活動……………中川 豊

歴史における「日常」の発見……………

―大河ドラマ・時代劇・司馬文学と戦後

歴史学―……………小川和也

『近代浅野忠臣詩歌尽』解題・翻刻……………飯野朋美

あとがき……………

執筆者紹介……………



日本文化研究における歴史と文学



万葉集と東アジア世界

最新の『詩経』学のあり様を提示する！

『毛詩』の文獻學的研究

藪 敏裕 著

A5判・464頁・本体価格13,000円

ISBN978-4-7629-6658-3 C3010 2020年2月刊

【内容目次】

第一章 『毛序』について

『毛序』成立考―古文學との比較を中心として―
『詩』の原義と『郭店楚墓竹簡』
茲衣篇―『毛序』の都人士篇解釋を中心
に―
『上博簡一』「孔子詩論」から見た
『毛詩』齊風の詩意―東方未明篇と猗
嗟篇を中心として―
『清華簡一』金縢
篇所見の周公の事績と颯風『毛序』
『毛序』研究の現状について―鈴木説・猪
口説批判―
『毛序』研究の近況と課題

第二章 『毛傳』について

「王事靡盬」解釋から見た『毛傳』の訓
詁態度／『詩経』施丘篇解釋から見た
『毛傳』の訓詁態度／『詩経』征役詩解釋
から見た『毛傳』の訓詁態度／『詩経』
解釋史序説―關雎篇の經學的解釋とその
評價をめぐる―

第三章 『毛詩』について

三家詩と『毛詩』―關雎篇を中心として
／『上博簡一』「孔子詩論」所引の詩解
釈―周頌・清廟之什・清廟篇を中心とし
て―
『上博簡一』「孔子詩論」の甘棠
篇解釋から見る詩の成立／『上博簡一』
から見た『毛詩』に見える「緝熙」の解
釋／『清華簡一』旨卞（著）夜篇に見え
る「誦」と「訶」の解釋

第四章 『詩経』に關わるその他の諸問題

『鹽鐵論』詩說研究／『詩経』周頌・清廟
之什に見える祖靈祭祀について／『詩経』
に見える祖靈―周頌・清廟之什の祖靈祭
祀を中心に―
天作篇と我將篇理解から
見る荀子詩説の『詩経』解釋史上の意義

虚実を見極め真意を読み解く一分かりやすい解説と流麗な訳文でつづる文学としての書翰文研究

六朝書翰文の研究

福井佳夫 著

A5判・608頁・本体価格15,000円

ISBN978-4-7629-6651-4 C3098 2020年3月刊

【内容目次】

第一章 作家の簡潔な注釈たりうるか

―書翰文の概観―

第二章 友と清宴をたのしもう

―曹丕「与呉質書」を中心に―

第三章 書翰の名手はわしじや

―庾璩の書翰文―

第四章 二流の書翰で失敬

―王羲之の書翰と尺牘―

第五章 書翰は文学であります

―鮑照「登大雷岸与妹書」を中心に―

第六章 裏をよまねばならぬぞ

―劉孝儀の「北使還与永豊侯書」―

第七章 皇太子が便利です

―蕭統蕭綱兄弟の書翰文―

第八章 構成は三段できめよう

―美文書翰の書式―

第九章 これが書翰のお手本じゃ

―「十二月啓」訳注―

第十章 書翰は気どつてかこう

―王褒「与周弘讓書」を中心に―

第十一章 母さまにお会いしたい

―宇文護母子の書翰文―

第十二章 臣にならぬか―招隱書翰―

索引





『白居易研究—閑適の思想』の続編、言語表現と修辭技法について考察した初の論考なる！

白樂天研究 ——詩語と修辭——

埋田重夫 著

A5判・528頁・本体価格13,000円

ISBN978-4-7629-6656-9 C3398 2020年3月刊

【内容目次】
口繪・はしがき・凡例

【序論】白居易「新樂府五十首」の修辭技法

【本論I】詩語の諸相
第一章 白居易「新豐折臂翁」詩について

第二章 老人の描寫が意味するもの

第三章 一日の時間表現を中心にして

第四章 白居易詩における俗語用法に關連させて

第五章 白居易詩にみられる「誰家」をめ

第六章 白居易詠花詩論考

第七章 白居易「病中哭金鑾子」詩考

第八章 白居易「念金鑾子二首」が意味するもの

第九章 「理」と「知」の用法を中心にして

第十章 白居易「效陶潛體詩十六首」の修辭技法

第十一章 白居易の數字表現について

第十二章 再び白居易の數字表現について

第十三章 白居易詩における連鎖表現

第十四章 白居易と韓愈の聯句詩について

第十五章 白居易における五絶と七律の對立性をめぐって

第十六章 白居易の五言絶句について

第十七章 白居易七言律詩考

第十八章 白居易「長恨歌」の修辭技法

対偶と連鎖の物語

あとがき・論文初出一覽・

『那波道圓本白氏文集』引用作品編目索引

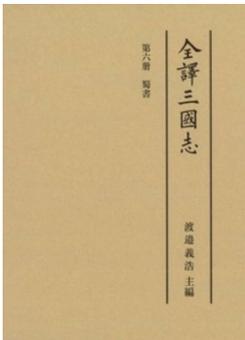
『全譯後漢書』につづく、正史『三国志』の完全現代語訳！

全譯三国志 本卷八冊・別卷一

渡邊義浩 主編

〔第一回配本〕 第六冊 蜀書

B5判・660頁・本体価格12,000円 ISBN978-4-7629-6646-0 C3322 2019年11月刊



【全九冊 内容目次】

第一冊 魏書(一)

解題／上三国志注表／武帝紀第一／文帝紀第二

第二冊 魏書(二)

／明帝紀第三／三少帝紀第四

第三冊 魏書(三)

／后妃傳第五／董二袁劉傳第六／呂布張邈臧洪傳

第四冊 魏書(四)

／劉司馬梁張溫賈傳第十五／任蘇杜鄭倉傳第十六

第五冊 魏書(五)

／張樂于張徐傳第十七／二李臧文呂許典二龐閻

第六冊 蜀書

／第二十八／王衛二劉傳第二十一／桓二陳徐衛盧傳

第七冊 蜀書

／第二十二／和常楊杜趙裴傳第二十三

第八冊 吳書(一)

／劉二牧傳第一／先主傳第二／後主傳第三／二主

第九冊 吳書(二)

／孫破虜討逆傳第一／吳主傳第二／三嗣主傳第三

第十冊 吳書(三)

／劉繇太史慈士燮傳第四／妃嬪傳第五／宗室傳

／第六／張顧諸葛步傳第七／張嚴程闞薛傳第八／

／周瑜魯肅呂蒙傳第九／程黃韓蔣周陳董甘凌徐潘

／傳第十

別卷 三国志研究備要

二孫漢陽傳第十九／王樓賀章華傳第二十

現行本『荆楚歳時記』は杜公瞻の編著書であった！千数百年の時を経て新事実が明らかに

訳注 荆楚歳時記

中村裕一 著

A5判・520頁・本体価格12,000円

ISBN978-4-7629-6639-2 C3022 2019年12月刊

『荆楚歳時記』は荆楚地方の年中行事に加えて、六世紀の華北の年中行事が記載されており、七世紀の中国の歳時風俗を大観するのに好都合であったからである。古代日本も隋唐から「令」を受け入れ、「令」に基礎を置く当時における近代国家の形成に努めていた。「令」には皇帝支配とそれに関連する年中行事があり、唐国の学習と「令制」に基づく天皇支配制に附随する年中行事を確立するために、『荆楚歳時記』を教本の一として必要としたのである。

【本書の構成】

- 『荆楚歳時記』の記事は、陳繼儒（1558～1639）の「宝顔堂秘笈広集」本に従う。
- 『荆楚歳時記』の記事は約五〇条から構成され、このうちで一記事を二記事に分割した記事もある。
- 最初に『荆楚歳時記』の原文を示し、次に読み下し文を示し、次に注記を掲げる。
- 各記事は、読み下し文と語彙の注解からなり、記事の内容や成立する背景を述べる箇所はない。それゆえに、「附節」の項を加え、記事の背景を理解しやすいように配慮した。既刊の『中国古代の年中行事』の当該箇所と併読してもらえれば、各行事の由来や後世の展開がよく理解できると考えた。

待望の総合索引なる——全五冊完結！

中国古代の年中行事 全五冊

中村裕一 著

A5判・平均850頁・本体価格各12,000円

ISBN978-4-7629-2856-7～2859-8、6621-7 C3022

【『中国古代の年中行事』第五冊〔補遺〕収録 総合索引 凡例】

- (1) 本索引は『中国古代の年中行事』春冊・夏冊・秋冊・冬冊および補遺冊（本冊）の総合索引である。
- (2) 「春冊」を①、「夏冊」を②、「秋冊」を③、「冬冊」を④、「補遺冊」を⑤として、冊数を示した。
- (3) 項目の配列は漢字単位の五十音順とした。
- (4) 複数のよみ方が想定される項目は、それぞれのよみを該当するところに配した。
- (5) 「補遺冊」食忌の項目は、例えば「猪肉と魚」の場合は、「魚と猪肉」でも検索できるように按配した。

【本書の特色・意義】

- ◎ 隋唐公文書研究の第一人者による詳細な史料考証から、中国古代の年中行事を具体的に説明。中国史料…『玉燭宝典』『荆楚歳時記』『藝文類聚』ほか
- ◎ 日本史料…『入唐求法巡礼行記』『行歴抄』『年中行事秘抄』『令義解』『医心方』など
- ◎ 人名や難読漢字にはルビを振り、引用漢文には口語訳を添えた。コンピューターを駆使した語彙集成果。
- ◎ 王朝の交替をもたらす社会構造の変化や、文字を持たない古代民衆の風俗や生活の実体が明らかに。
- ◎ 中国古代の年中行事の解明は、日本の古代国家制度・年中行事研究に貴重な史料を提供する。

クレス出版

【特価期間】 2020年7月末

【特価】 全品2割引

【送料】 当社負担

【お支払方法】 振込用紙を送ります

ご注文方法・お問い合わせ

E-mail: info@kress-jp.com

TEL 03-3808-1821

FAX 03-3808-1822

【担当】 柴田・丸山

上代から近世までの女性文学について研究書を中心に時代ごとに収録する。

日本女性文学研究叢書 古典篇 全7巻

日本女子大学文学部日本文学科 編・解説

A5判/上製函入 全7巻揃定価 114,000円(税別)ISBN978-4-87733-715-5

第1巻 総論 定価 20,000円(税別)ISBN978-4-87733-708-7

日本文学史(下野遠光著 敬業社 明治26年) 日本女流文学評論(今井邦子編 越後屋書房 昭和18年)

遊女の文学(井淵柳影著 辰文館 大正2年)

第2巻 上代 定価 14,000円(税別)ISBN978-4-87733-709-4

額田鏡王考(和泉屋吉兵衛 天保13年) 萬葉女流歌人歌集(橋田東聲著 紅玉堂書店 大正14年) 萬葉に現れたる

女流歌人とその歌(関みさを著 博文館 昭和17年) 上代日本と女性(石門寺博著 文松堂出版 昭和19年)

第3巻 中古(一) 定価 16,000円(税別)ISBN978-4-87733-710-0

小野小町(前田善子著 三省堂 昭和18年) 王朝文学の代表的女性(真鍋広濟著 湯川弘文社 昭和16年)

第4巻 中古(二) 定価 18,000円(税別)ISBN978-4-87733-711-7

枕草子「研究篇」(塩田良平著 日本評論社 昭和14年) 清少納言とその文学(関みさを著 萬里閣 昭和15年) 更

級日記錯簡考 訂正再販(玉井幸助著 育英書院 大正15年)

第5巻 中世 定価 17,000円(税別)ISBN978-4-87733-712-4

阿仏尼(富士川游著 厚徳書院 昭和12年) 建礼門院右京大夫・太皇太后宮小侍従(富倉徳次郎著 三省堂 昭和17

年) 永福門院(佐々木治綱著 生活社 昭和18年) 十六夜日記「解題」(谷山茂著 河原書店 昭和24年)

第6巻 近世(一) 定価 15,000円(税別)ISBN978-4-87733-713-1

俳流の女神(小林豊次郎著 文学同志会 明治36年) 梅の春考・北州考(忍頂寺務著 春陽堂 昭和5年)

玉瀾女史と其父(島田筑波著 政教社 大正4年) 紅蘭未亡人の書簡(忍頂寺務著 上方郷土研究会 昭和15年) 関

秀俳家全集(勝峰晋風 聚英閣 大正11)

第7巻 近世(二) 定価 14,000円(税別)ISBN978-4-87733-714-8

徳川時代の女流散文家(萩原蘿月著 全国高等女学校長協会 昭和13年) 徳川時代の女流歌人(森敬三著 全国高等

女学校長協会 昭和13年) 県門三才女集評釈(藤川忠治著 改造社 昭和7年) 太田垣蓮月集評釈(水町京子著 改

造社 昭和7年) 野村望東尼集評釈(三宅龍子著 改造社 昭和7年) 高島式部全歌集(築瀬一雄著 私家版 昭和

33年) 雑誌『短冊』より(森本謙郎ほか著 文行堂 大正13年~昭和3年)

物語史を展望し、個々の物語の研究を足元から固める基礎となる文献を明治から昭和30年代までに刊行された中から精選。個々の物語を扱ったものと、物語を広く扱ったものとに分けて刊行する。

物語文学研究叢書 全26巻

神野藤昭夫 監修

A5判／上製函入

第1回配本 全13巻揃定価 115,000円(税別)ISBN4-87733-066-6 平成11年4月刊

第2回配本 全13巻揃定価 110,000円(税別)ISBN4-87733-066-6 平成11年9月刊

第1巻 竹取物語の研究 本文篇 新井信之著 図書出版 昭和19年

第2巻 竹取物語の研究 校異篇・解説篇 中田剛直著 塙書房 昭和40年

第3巻 新修竹取物語 沢瀉久孝監修 小島憲之編 白楊社 昭和28年 新修竹取物語別記 塚原鉄雄著 白楊社 昭和31年

第4巻 宇津保物語研究 富沢美穂子著、関みさお補訂 至文堂 昭和13年

第5巻 うつほ物語秘琴抄 石川徹著 川瀬書店 昭和25年

第6巻 改定宇津保物語俊蔭巻考注 田中初夫著 私家版 昭和41年

第7巻 狭衣物語 全訳王朝文学叢書 吉沢義則著 王朝文学叢書刊行会 大正13年

第8巻 浜松中納言物語 新註国文学叢書 宮下清計著 大日本雄弁会講談社 昭和26年

第9巻 校註夜半の寝覚 藤田徳太郎・増淵恒吉編著 中興館 昭和8年

第10巻 住吉物語通釈 筥崎博道著 公論社 明治36年 註解新訳住吉物語 藤井乙男・有川武彦著 東京成象堂 昭和3年

第11巻 校註篁物語 宮田和一郎著 昭和11年 校註海人刈藻 宮田和一郎著 養徳社 昭和23年 古典文学「海人刈藻」 宮田和一郎著 天理時報社 昭和19年

第12巻 大鏡成立論論攷 梅原隆章著 顕真如苑 昭和27年

第13巻 栄華物語詳解補註 岩野祐吉著 私家版著 昭和29～昭和31年

第14巻 古代小説史 長谷川福平著 富山房 明治36年

第15巻 物語の様式 森岡恒夫著 弘文堂書房 昭和16年

第16巻 物語文学 日本文学大系 池田亀鑑著 河出書房 昭和13年 物語文学 日本文学教養講座 池田亀鑑著 至文堂 昭和26年

第17巻 物語文学概説 南波浩著 ミネルヴァ書房 昭和29年 物語文学 南波浩著 三一書房 昭和33年

第18巻 物語文学攷 平安時代 宮田和一郎著 文進堂 昭和18年

第19巻 平安時代 前期(上) 日本文学史 西下経一著 三省堂 昭和17年

第20巻 日本小説史論 藤田徳太郎著 至文堂 昭和14年

第21巻 王朝文学の歴史と精神 藤田徳太郎著 楽浪書院 昭和16年

第22巻 平安朝文芸の精神 窪田空穂著 西郊書房 昭和21年

第23巻 中古日本文学の研究 堀部正二著 教育図書 昭和18年

第24巻 説話文学と絵巻 益田勝実著 三一書房 昭和35年

第25巻 日本文学論考 清水泰著 初音書房 昭和35年

第26巻 室町時代小説論 野村八良著 巖松堂書店 昭和13年

日記文学研究叢書 全 15 巻

津本信博 編・解説

A5 判／上製函入

第 1 回配本 全 8 巻 揃定価 92,000 円(税別)ISBN4-87733-348-7 平成 18 年 11 月刊

第 2 回配本 全 7 巻 揃定価 85,000 円(税別)ISBN978-4-87733-350-8 平成 19 年 3 月

第 1 巻 土佐日記

第 9 巻 更級日記一

第 2 巻 蜻蛉日記

第 10 巻 更級日記二

第 3 巻 和泉式部日記

第 11 巻 更級日記三

第 4 巻 紫式部日記一

第 12 巻 成尋母日記

第 5 巻 紫式部日記二

第 13 巻 王朝三日記ほか

第 6 巻 紫式部日記三

第 14 巻 十六夜日記

第 7 巻 紫式部日記四

第 15 巻 総論

第 8 巻 紫式部日記五

明治から昭和 30 年代はじめまでに刊行された、日記文学研究の基本的、かつ研究史上逸することのできない文献を集成する。

源氏物語研究叢書 全 17 巻

日向一雅 監修・解題

A5 判／上製函入

第 1 回配本 全 8 巻 揃定価 88,000 円(税別)ISBN4-87733-032-1 平成 9 年 5 月刊

第 2 回配本 全 9 巻 揃定価 87,000 円(税別)ISBN4-87733-033-X 平成 9 年 10 月刊

明治から昭和 20 年代までを中心として、源氏物語の主要な研究書を網羅。近代における研究史を顧みることで、細分化し多様化した研究を統合する。

西行研究資料集成 全 10 巻

西澤美仁 監修・解説

A5 判／上製函入

揃定価 94,000 円(税別)ISBN4-87733-159-X 平成 14 年 10 月刊

生活体験のにじみ出た述懐歌を残した歌僧・西行についての、近代における伝記、和歌の代表的研究書と、貴重書「増補 山家集抄」を復刻する。

福井久蔵和歌連歌著作選 全 6 巻

廣木一人 編・解説

A5 判／上製函入

揃定価 84,000 円(税別)ISBN978-4-87733-574-8 平成 23 年 1 月刊

名著「大日本歌書綜覧 上・中・下」「連歌の史的研究 前編・後編」「連歌文学の研究」を復刻。

古典ライブラリー刊行物のご案内

Academic Journal of Japanese Literature

日本文学研究ジャーナル

[季刊：3・6・9・12月]



気鋭の日本文学研究者責任編集による、新時代の季刊誌
毎号テーマを設け、論考7,8編と巻頭エッセイ・連載を掲載

- 創刊号 中古・中世の和歌 (渡部泰明・佐々木孝浩 編)
第2号 中世の日記 ―文学・歴史からのアプローチ― (田淵句美子・谷 知子 編)
第3号 源氏物語の和歌と言説分析 (土方洋一・陣野英則 編)
第4号 近世の和歌と漢詩 (鈴木健一・池澤一郎 編)
第5号 万葉集はどう読まれてきたか (田中大士・乾 善彦 編)
第6号 歴史物語の表現世界 (加藤静子・福長 進 編)
第7号 近世後期小説の作者・読者・出版 (飯倉洋一・田中則雄 編)
第8号 連歌・俳諧 一座の文芸へのアプローチ (廣木一人・玉城 司 編)
第9号 近代の文学 ―創造の契機、創作の端緒― (宗像和重・安藤 宏 編)
第10号 中世説話の環境・時代と思潮 (荒木 浩・小林直樹 編)
第11号 軍記物語研究の現在 (佐伯真一・櫻井陽子・小秋元 段 編)
第12号 平安・鎌倉の歌合 (中村 文・安井重雄 編)
第13号 記憶と忘却 (山田洋嗣・竹村信治 編)

― 以下予定 ―

- 第14号 奈良・平安の漢詩文 (河野貴美子・高松寿夫 編)
第15号 枕草子 ―歴史と作品― (赤間恵都子・山本淳子 編)
第16号 御子左家 ―俊成・定家・為家― (兼築信行・小林一彦 編)
第17号 源氏物語を読む (高木和子・鈴木宏子 編)
第18号 蕉門と蕉風 (佐藤勝明・中森康之 編)

(以降続刊)

A5判
120頁～

雑誌のご注文・年間購読は、弊社に直接お申込みください。※創刊号からお申込みいただけます (在庫限り)

「日本文学研究ジャーナル」ISSN 2432-7387

◇各号 本体1,600円＋税 (送料150円) ◇年間購読料 (4冊分) 6,000円 (税・送料込)

お申込みは、①お名前 ②送付先 ③電話番号 ④勤務先 ⑤メールアドレス

⑥号数、もしくは開始年月号を明記の上、FAXまたはE-mailでお申込みください。

研究費・公費の場合はその旨、お書き添えください。

年間購読が
大変お得です

株式会社 古典ライブラリー

FAX: 050-3737-2221 E-mail: kotenlibrary@gmail.com 〒261-0013 千葉市美浜区打瀬 2-14-11-412

新刊案内

2019年6月～2020年5月
刊行書



Shinmensha

株式会社 新典社

学会員限定 新刊特別割引販売ご注文について

特別割引販売期間	2020年7月末日まで
割引価格	全品表示価格より2割引
送料	発送は日本国内のみ、送料は全国一律で650円(税抜)
お支払い方法	書籍発送時に郵便局の払込取扱票を同封いたします。 また、書類に銀行の振込先も記載いたしますので、 ご都合のよろしい方法でお支払い下さい。 振り込み手数料は、ご負担下さい。

ご注文方法

お問い合わせ

ホームページ：お問い合わせ→学会会員様注文用

メール：info@shintensha.co.jp

FAX：03-3233-8053

郵送：101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11

メール：info@shintensha.co.jp

FAX：03-3233-8053

郵送：101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11

ご注文時の注意点 ※必ずご確認ください

- ・書名・部数・所属学会名、公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- ・公費注文の場合、書類の宛名、書類の必要枚数、日付の有無、代表者印の有無、送料の記載方法（書籍代に含めた方がよいか）をお知らせ下さい。
- ・送付先（郵便番号・住所・電話・氏名）をお知らせ下さい。
- ・既刊書籍のご注文も特別割引にて承ります。新典社ホームページで書籍情報の確認、図書目録の閲覧・ダウンロードが可能ですので、ご確認の上、お問い合わせ下さい。

新典社 WEB サイト <https://shintensha.co.jp/>

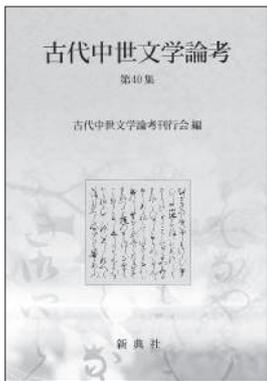


古代中世文学論考 第39集 古代中世文学論考刊行会 編
「兎道のみやこ」考 土佐秀里／藤花礼讚 坏美奈子／『枕草子』「大進生昌が家に」章段における「于定国がこと」 佐藤有貴／『源氏物語』における例外的「きよら／きよげ」の一考察 深田弥生／架蔵『源氏物語』帚木卷断簡について 仁平道明／『中納言俊忠卿集』の構想 穴井潤／中世文学における「蘇迷盧」と「孝」 趙秀全

ISBN978-4-7879-3539-7 A5判上製 288頁 6100円



書籍詳細はこちら



古代中世文学論考 第40集 古代中世文学論考刊行会 編
『日本書紀』における思邦歌の位置づけ 小野諒巳／『源氏物語』真木柱巻の「見はつ」 篁尾知佳／皇女たちの懊悩と後悔の貴公子 前川暁／加賀文庫蔵写本『方丈記流水抄』考 岡山高博／センチュリー文化財団蔵（斯道文庫寄託）本からみる『平治物語絵巻』「六波羅合戦巻」の展開 滝澤みか／自己表象としての雁 草野勝／諏訪市博物館蔵『諏訪講之式』解題・翻刻・影印 間枝遼太郎／松井幸隆編『三玉和歌集類題』の撰集資料の調査報告 三村晃功／『天正二十年聚楽第行幸記』解題・翻刻 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3540-3 A5判上製 320頁 6400円



書籍詳細はこちら



伊勢物語 色好みの享受史 瀬尾博之 著
第一部 『伊勢物語』注釈史における主人公像 『伊勢物語愚見抄』から宗祇・三条西家流注釈書へ／『伊勢物語』注釈史における〈憐愍する業平〉の変遷／『伊勢物語集注』について／堂上の『伊勢物語』解釈／『勢語臆断』における業平像／『伊勢物語古意』における業平像／『伊勢物語新釈』の注釈態度／『伊勢物語』注釈史における人物像／第二部 『伊勢物語』と物語の私家集 物語の私家集とは何か／『元良親王集』についての一考察／『一条摂政御集』の物語性／『敦忠集』の物語性／『伊勢物語』の人物像と物語の私家集
新典社研究叢書330 ISBN978-4-7879-4330-9 A5判上製 352頁 10000円



書籍詳細はこちら



王朝物語の表現生成 — 源氏物語と周辺の文学 末澤明子 著
I 物語と和歌 和歌の解釈／引歌攷1・2／幻巻の哀傷と述懐／他／II 物語に於ける見ること・聞くこと 物語の主人公／物語に於ける「声」の問題／『狭衣物語』の「声」／他／III 品々の狭間の物語 明石君をめぐる用語について／「なかなか」に関する異同と明石君／大堰山荘の強飯／『源氏物語』に於ける「うるはし」と梗概書／他／IV 『源氏物語』の飾りと隔て 『源氏物語』の中の屏風をめぐる／水辺の追憶／『源氏物語』のガラス／他
新典社研究叢書315 ISBN978-4-7879-4315-6 A5判上製 480頁 14000円



書籍詳細はこちら



源氏物語と周辺文芸の研究 山上義実 著
第一章 『源氏物語』の主題と構想 『源氏物語』の構想に関する考察／『源氏物語』の世界／王朝時代における愛のかたち／第二章 『源氏物語』に関する諸論 式部卿宮に関する試論／朱雀院の人物像／夕霧の物語に関する試論／夕霧の巻の本文解釈をめぐる／幻の巻における光源氏像をめぐる／他／第三章 周辺文芸に関する諸論 『伊勢物語』における女性たち／『和泉式部日記』における仏教／『和泉式部日記』における自然／他
新典社研究叢書317 ISBN978-4-7879-4317-0 A5判上製 400頁 11600円



書籍詳細はこちら



『源氏物語』の光と影

西田禎元 著

第一編 主題と構想 愛と求道の物語／罪と出家／相聞譚の主人公たち／挽歌の主人公たち／第二編 詠歌の構造 「紫上系」物語の詠歌／「玉鬘系」物語の詠歌／物語第二部の詠歌／「宇治十帖」物語の詠歌／第三編 素材と典拠 主人公たちの物語と中国の故事～男性編・女性編～／『白氏文集』「新樂府」をめぐる／第四編 享受と影響 『無名草子』の『源氏物語』論／『伊勢源氏十二番女合』考／上田秋成の「秋山記」／与謝野晶子の「源氏物語礼讃」歌

新典社研究叢書324 ISBN978-4-7879-4324-8 A5判上製 496頁 14800円

書籍詳細はこちら



源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ 源氏物語を読む会 編

I ことば・表現との交響／II 物語史との交響／III 和歌・漢詩文との交響／IV 神話・歴史との交響／V 文化・思想との交響

(執筆者: 室城秀之・松山典正・松本美耶・竹田由花子・武藤那賀子・富澤萌未・池田大輔・露谷雄輝・伊勢光・毛利香奈子・八島由香・張培華・草場英智・布村浩一・佐藤信一・三村友希・笹生美貴子・池間里代子・館入靖枝・本橋裕美・中村成里・桜井宏徳・小笠原愛子・青木慎一・阿部好臣)

新典社研究叢書325 ISBN978-4-7879-4325-5 A5判上製 736頁 21400円

書籍詳細はこちら



『源氏物語』庭と邸宅 —— 想定配置図私案 ——

加藤伸江 著

第一編 六条院の庭の想定 明石の御方の町に池はあったか／春の町と秋の町の池の差異／秋の町の滝についての考察／他／第二編 六条院の邸宅の想定 儀式における六条院の入口／六条院の馬場殿の規模／妻戸の間と隅の間の相違／若宮誕生後六日目の移動／他／第三編 周辺地(須磨・宇治)の想定 茅屋は源氏の造営か／他／付説 六条院に影響を与えた河原院の池とは／他

新典社研究叢書329 ISBN978-4-7879-4329-3 A5判上製 352頁 10200円

書籍詳細はこちら



和泉式部の方法試論

久保木寿子 著

I 和泉式部歌集論 和泉式部の詠歌方法／和泉式部和歌の表現／II 『和泉式部日記』論 『和泉式部日記』と和歌／追懐の方法／III 初期定数歌論 和泉式部の詠歌環境／初期定数歌の成立と展開／男性百首から女性百首へ／初期定数歌の歌ことば

*和泉式部の情感豊かな歌が同時に示す、客観表現への志向。そこから和泉式部の詠作における方法意識を見出し、再評価を図る。

新典社研究叢書319 ISBN978-4-7879-4319-4 A5判上製 616頁 18000円

書籍詳細はこちら



『夜の寝覚』から読む物語文学史

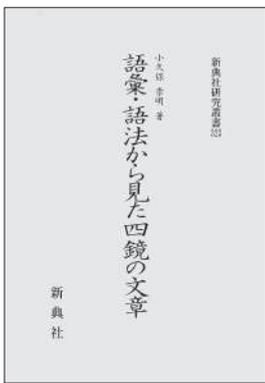
伊勢光 著

第一章 『夜の寝覚』を読む ヒロイン「中の君」という呼称／対の君論(上・下)／『夜の寝覚』の構造／第二章 『夜の寝覚』に影響を与えた物語 『住吉物語』「継母」による騙し／『落窪物語』あこきの役割／『うつほ物語』朱雀帝の葛藤／『源氏物語』「尚侍」であるということ／第三章 『夜の寝覚』が影響を与えた物語 『とりかへばや物語』苦悩する四の君／『松浦宮物語』華陽公主論／『いはでしのぶ』昔をしのぶ一品宮／『石清水物語』伊予守、木幡姫論

新典社研究叢書318 ISBN978-4-7879-4318-7 A5判上製 400頁 11600円

書籍詳細はこちら





語彙・語法から見た四鏡の文章 小久保崇明 著

第一章 四鏡の文章 人称代名詞（自称・対称）／係助詞「なむ」をめぐって／引き歌の手法／「すべらぎ」考／第二章 『増鏡』の注釈「なにがし」考／「まる」考／「たてまつる」考／第三章 『水鏡』の語法 「つけたまらん」考／付章 専修寺本『水鏡』声点・傍訓総索引／蓬左本『水鏡』傍訓総索引／筆者既発表『大鏡』『水鏡』などの語彙・語法の目次／他

新典社研究叢書323 ISBN978-4-7879-4323-1 A5判上製 304頁 8700円



書籍詳細はこちら



水鏡の成立と構造 勝倉壽一 著

水鏡における成立の問題／第一章 水鏡の成立と扶桑略記 水鏡「廿八代継体天皇」の問題／水鏡の皇陵名／水鏡の帝紀の記事／水鏡の歴代名／第二章 天皇紀の解釈 水鏡「二代綏靖天皇」の問題／水鏡「十一代垂仁天皇」の解釈／水鏡「十八代履中天皇」の問題／水鏡「廿一代安康天皇」の解釈／水鏡「冊八代廢帝」の解釈／第三章 水鏡と変乱 水鏡の乙巳の変解釈／水鏡の壬申の乱解釈／水鏡の承和の変解釈／第四章 水鏡における評価の問題

新典社研究叢書316 ISBN978-4-7879-4316-3 A5判上製 352頁 10100円



書籍詳細はこちら



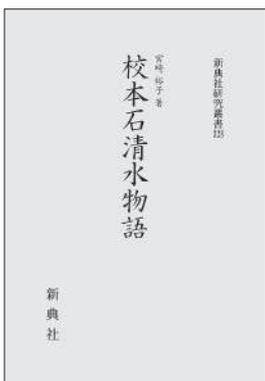
民間説話と『宇治拾遺物語』 廣田收 著

序章 文献説話の話型と表現の歴史性／第一章 『風土記』の在地神話と昔話、そして中世説話／第二章 昔話の話型と語り／第三章 昔話と説話分析／第四章 『宇治拾遺物語』孤立話考／第五章 『今昔物語集』との同一説話考／結章 文学史としての『宇治拾遺物語』

*宇治拾遺物語は、既存の民間伝承を元に、いかにして独自の新しい「説話」を作り上げたか。話型の比較などを通じて明らかにする。
新典社研究叢書321 ISBN978-4-7879-4321-7 A5判上製 592頁 17200円



書籍詳細はこちら



校本石清水物語 宮崎裕子 著

はしがき／第一章 伝本研究（『石清水物語』の伝本／底本及び校合本の選定／書誌）／第二章 校本／あとがき

*擬古物語、或いは中世王朝物語と呼ばれる作り物語の一つ、石清水物語。四系統に分類される諸伝本の中から、主要な一二本を選定し、第一系統に属する静嘉堂文庫蔵本を底本として、全系統を対象に校合する。

新典社研究叢書328 ISBN978-4-7879-4328-6 A5判上製 688頁 20500円



書籍詳細はこちら



徒然草 人物考証の新研究 上島眞智子 著

第一章 卜部兼好と周縁の人々 207番「これとしの朝臣」と永嘉門院瑞子／第二章 『兼好法師集』65・66番歌と「従二位公世卿状」について／第三章 『徒然草』の元号の暗示と宮廷社会への視線／第四章 関東の記憶——北条時頼と四条家／第五章 個性的な人物描写と絵入版本に描かれた兼好／第六章 『徒然草』の成立論 第一部中絶と第二部再執筆の要因について／第七章 『兼好法師集』の考察

新典社研究叢書326 ISBN978-4-7879-4326-2 A5判上製 320頁 9300円



書籍詳細はこちら



神仏習合の手法 —— 中世神話から近世神話へ ——

吉田唯 著

第一部 両部神道における愛染明王 東大寺大仏殿内の「両界堂」と伊勢神宮の「両宮」について／『愛染王紹隆記』に記される同体思想について／他／第二部 真宗における神の享受 『諸神本懐集』におけるアマテラス像について／四十八巻本『法然上人行状絵図』における重源の役割について／他／第三部 ホツマ文献における習合思想 ホツマ文献の注釈書における法然と親鸞の神祇記述について／ホツマ文献にみる「都鳥」について

新典社研究叢書322 ISBN978-4-7879-4322-4 A5判上製 416頁 12100円

書籍詳細はこちら

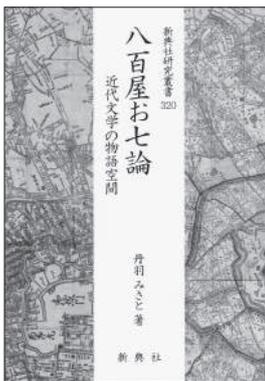


金時習『金鰲新話』と日本 —— 和刻本と受容 邊恩田 著

第一篇 日本に伝わった『金鰲新話』 金時習と『金鰲新話』／朝鮮刊本『金鰲新話』の旧所蔵者・曲直瀬正琳と蔵書印／第二篇 『金鰲新話』の和刻本 和刻本『金鰲新話』の諸本／和刻本『金鰲新話』版本の特質と成立年代／江戸時代の「書籍目録」に見る和刻本『金鰲新話』／第三篇 『金鰲新話』と日本 紀州藩石橋生庵の『家乗』と朝鮮文学『金鰲新話』／石橋生庵の『家乗』と朝鮮『剪燈新話句解』考

新典社研究叢書327 ISBN978-4-7879-4327-9 A5判上製 272頁 8200円

書籍詳細はこちら



八百屋お七論 近代文学の物語空間 丹羽みさと 著

序章 八百屋お七諸作品概説／第一章 山崎紫紅「お七」論—場面設定と作劇観—／第二章 岡本綺堂「お七」論—観客の視点—／第三章 真山青果「八百屋お七」論 前編—西鶴「匂い」の発見—／第四章 真山青果「八百屋お七」論 後編—近世資料受容の変遷—／第五章 太宰治「哀蚊」「音について」論—仮託と音響効果—／第六章 江戸川乱歩「押絵と旅する男」論—断片受容と嗜好の重層化—／終章 浸透する八百屋お七／付録 『天和笑委集』の諸本研究

新典社研究叢書320 ISBN978-4-7879-4320-0 A5判上製 264頁 7700円

書籍詳細はこちら



大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人 辰巳正明 著

I 大伴旅人と大宰府文学——解題／II 名門大伴氏の出自と旅人の経歴／III 大伴旅人の作品を読む／IV 大伴旅人の漢詩／V 大伴旅人とその周辺／VI 大伴旅人の死／VII 附1「烏梅」の歴史／VIII 附2 古代日本元号の根拠一覧（参考資料）

*新元号の典拠、梅花の宴の主宰者である大伴旅人の全作品と関連する人物の作品を読み解き、「令和」を生んだ万葉びとの文学に迫る。

ISBN978-4-7879-7864-6 A5判並製 256頁 2400円

書籍詳細はこちら



元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇

玉城司・竹下義人・木下優 著

表紙解説——鬼貫の「烏帽子付」／上嶋鬼貫略歴——俳人としての生涯と俳句／注釈／凡例／付録（鬼貫周辺の人物・鬼貫句集と伊丹俳書の解題・鬼貫年譜・参考文献）／初句索引／語彙索引

*元禄俳諧の名家たちを現代語訳・語釈するシリーズ、第五篇は上嶋鬼貫。特徴的な長い前書きも含めてすべて注釈。

ISBN978-4-7879-0647-2 A5判並製 496頁 4500円

書籍詳細はこちら





はじめて学ぶ仏教 インド・中国編 有働智英 著

古代のインド文化／釈尊の生涯（Ⅰ 釈迦族について／Ⅱ 誕生と幼少期／Ⅲ 家庭と出家／Ⅳ 成道／Ⅴ 各国への布教／Ⅵ 信者と弟子たち／Ⅶ 最後の旅路）／仏典成立と教団の拡散／部派仏教の成立／舎利信仰と仏像の成立／大乘仏教Ⅰ・Ⅱ／中国仏教Ⅰ・Ⅱ

*インドでの仏教誕生から中国への伝播発展の様子を、僧侶でもある著者が日本の古典・豊富なイラストと共に説く斬新な仏教入門書。

ISBN978-4-7879-7863-9 A5判並製 256頁 1800円

書籍詳細はこちら



入門 平安文学の読み方 保科恵 著

第一講 まずは疑ってみること—古典文学を読むために—/第二講 昔の暦の話—『古今集』はくだらぬ集—/第三講 月と干支の話—平安時代のカレンダー—/第四講 地名の話—平安文学のふるさと—/第五講 本文の話—本当にそう読めるのか—/補講 古典だけに留まらないこと—本文をしっかりと読む—

*一つの注釈書だけを頼りにせず疑問を持つ・句読点や濁点を見直す…等。具体的な本文や例題で古典を自らの力で読むためのガイド。

新典社選書96 ISBN978-4-7879-6846-3 B6判並製 208頁 1500円

書籍詳細はこちら



『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋

— 朝顔の姫君と夕顔の女君 — 小澤洋子 著

第一章 平安京における条坊図 一条大路北と五条の辺り/第二章 朝顔の姫君と光源氏/第三章 夕顔の女君と光源氏/第四章 結び

*源氏物語に登場する女性の中でも対照的な呼称と境遇を持つ姫君、朝顔・夕顔について、作者は植物的特性も踏まえて、どのように描き、物語を構成したのか、本文に即しつつ明らかにする。

新典社選書93 ISBN978-4-7879-6843-2 B6判並製 240頁 1700円

書籍詳細はこちら



続・能のうた — 能楽師が読み解く遊楽の物語 —

鈴木啓吾 著

第1章「翁」/第2章「神」（龍田・竹生島・難波・三輪）/第3章「男」（清経・巴・通盛・頼政）/第4章「女」（井筒・采女・千手・羽衣・藤・身延・吉野静）/第5章「狂」（安宅・梅枝・小塩・鉢木・藤戸・放下僧）/第6章「鬼」（熊坂・善界・融・雷電）/第7章「番外」（鈴木三郎重家）

*能の作者が発想を得た和歌や漢詩をやさしく、ときに大胆に能楽師が解説！待望の第二弾は翁、復曲能・鈴木三郎重家を含む全27曲。

新典社選書95 ISBN978-4-7879-6845-6 B6判並製 336頁 2700円

書籍詳細はこちら



文体再見 半沢幹一 著

第1章 文体規定/第2章 文即人也/第3章 役割文体/第4章 文体諸相/第5章 文学文体/第6章 文体模倣/第7章 文体教本

*「文は人なり」という。この「文」は文体のことであるが、文体とはいったい何か。じつは、専門的にも明確に規定されていないのである。その謎を解く一書。

新典社選書94 ISBN978-4-7879-6844-9 B6判並製 272頁 2000円

書籍詳細はこちら





「令和」から読む万葉集

辰巳正明 著

I 「梅花の歌」の漢文序とその典拠／II 「梅花の歌三十二首」を読む／III なぜ、「梅花」だったのか？／IV 旅人と大宰府の文学／V 元号と東アジア文化

*改元は、もとは時代の状況を変える国家的な気分転換だった？ 「令和」の典拠となった万葉集の梅花の宴と主催者大伴旅人、元号の歴史をたどることで、新元号の背景と、改元の意義を明らかにする。

新典社新書78 ISBN978-4-7879-6178-5 新書判並製 128頁 800円

書籍詳細はこちら



平家物語とその周辺 —— 女性たちの物語 —— 濱中修 著

横笛伝承考—法華寺・天野別所—／浄瑠璃姫—矢作宿の神話—／巴の神話学—『源平盛衰記』を中心に—／千手前と重衡／建礼門院妙音菩薩考

*源平の争乱を扱う物語の中で、波乱に満ちた生涯が語られる五人の女性たち。その物語を追うことで、関わりある武将の知られざる一面や中世の人々が女性に抱いていた宗教的幻想をも明らかにする。

新典社新書79 ISBN978-4-7879-6179-2 新書判並製 160頁 1000円

書籍詳細はこちら



新うたの神話学

福寛美 著

月光／私とワルツを／残酷な天使のテーゼ／魂のルフラン／異邦人—シルクロードのテーマ—／天界／さくら／夏の終わり／ワダツミの木／君ヲ想フ／月のしずく／泪月—oboro—／ナライブサン／ロストレター〈K氏へ〉
*名曲・ヒット曲の中には、論理的ではないが、聞く者の印象に残るフレーズがしばしば含まれる。歌詞を神話学的に読み解くことにより、歌が持つ日本の神話的イメージの一端を明らかにする。

ISBN978-4-7879-7926-1 新書判並製 128頁 1100円

書籍詳細はこちら



親と子の人間関係 —— 幼児より青少年まで —— 中田雅敏 著

第一章 幼児期から感性の育成を／第二章 親子の関係性の大切さ／第三章 責任感と自分で考える力／第四章 周囲の働きかけと社会性／第五章 続く「いじめ」はどうすればなくせるのか

*人間が成長していく過程にあって、親子関係は極めて重要な要素である。望ましい親子関係の作り方や、起こりうる「いじめ」への対処法など、家庭内で親は子にどう向き合うべきかを考える一書。

ISBN978-4-7879-7925-4 新書判並製 176頁 1000円

書籍詳細はこちら



注文書籍情報記入欄

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

注文者情報記入欄

私費・公費

書類の宛名【公費】

請求書 枚 見積書 枚 納品書 枚

日付の有無

有・無

代表者印の有無

有・無

送料の記載方法

書籍代に含む・書籍代に含めない

所属学会名

送付先郵便番号

送付先住所

送付先電話番号

送付先受取人名

備考

新たなる平安文学研究

藤原克己監修・高木和子著

重厚な平安文学研究の蓄積を次世代に継承するために、新たな研究の視野を拓く論文集。

《執筆者》 藤原克己・廖榮発・宋晗・田中智子・山口一樹・北原圭一郎・井内健太・林裕子・Antonin Ferré・高木和子

定価：本体 2,800円 + 税
ISBN978-4-909181-21-3



後拾遺和歌集攷

武田早苗著

「後拾遺よりこなたさまのうた」と俊成に新風と評された後拾遺和歌集を、主に和歌の配列という面から考察を試みる。

定価：本体 9,000円 + 税
ISBN978-4-909181-13-8



2017年パリ・シンポジウム

源氏物語を書きかえる 翻訳・注釈・翻案

寺田澄江・加藤昌嘉・畑中千晶・緑川真知子編

『源氏物語』というテキストに向き合い、その言葉の連続の中から意味が生起していく過程を、異言語を媒介として迫っていく。

定価：本体 6,000円 + 税
ISBN978-4-909181-11-4

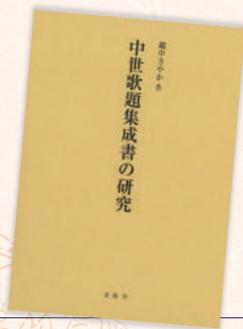


中世歌題集成書の研究

藏中さやか著

中世から近世に編まれた歌題集成書を体系づける論考と、未刊資料の翻刻とを収載。今後の和歌文学及び関係領域の研究に資することを目指す。

定価：本体 9,800円 + 税
ISBN978-4-909181-24-4

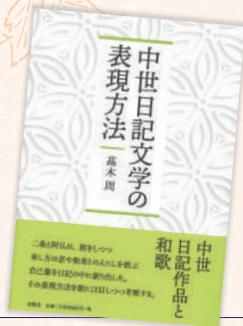


中世日記文学の表現方法

高木周著

深草院二条と阿仏尼は、旅の中で来し方の恋や他者とのえにしを偲ぶ自己像を日記の中に創り出した。その表現方法を、歌に注目しつつ考察する。

定価：本体 9,000円 + 税
ISBN978-4-909181-22-0



撰関期女房と文学

諸井彩子著

「女房」と呼ばれる働く女性たちはどのような人生を送ったのか。官職や呼称の調査をふまえ、後宮サロンの営みを考察。第14回第二次関根賞受賞。

定価：本体 11,000円 + 税
ISBN978-4-909181-06-0

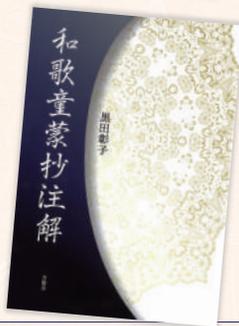


和歌童蒙抄注解

黒田彰子著

平安末期に藤原範兼が著した歌学書「和歌童蒙抄」に、成立当時の歌学資料の実態を踏まえた詳密な注釈を行う。

定価：本体 19,000円 + 税
ISBN978-4-909181-14-5



歌人源頼政とその周辺

中村文編

新たな和歌世界を模索し続けた武家歌人頼政。15名の執筆者が縦横に論じる頼政をめぐる紙上シンポジウム。

《執筆者》 永井晋・櫻井陽子・北條暁子・家永香織・藏中さやか・久保木秀夫・渡邊裕美子・日下力・芦田耕一・穴井潤・野本瑠美・中村文・小林賢太・安井重雄・兼築行

定価：本体 11,000円 + 税
ISBN978-4-909181-16-9



賀茂真淵の研究

高野奈未著

近世和歌史および古典注釈史において真淵の果たした意義を解明。第10回日本古典文学学術賞受賞。

定価：本体 9,000円 + 税
ISBN978-4-903996-91-2



初期狩野派絵巻の研究

土谷真紀著

中世と近世の狭間で、絵巻という物語を運ぶメディアが如何なる変容を遂げたか。狩野派による「絵巻」という画面形式への挑戦を多角的に分析し、物語絵画の包括的な理解を促す。

定価：本体 12,000円 + 税
ISBN978-4-909181-15-2



ご注文について

- ご注文者のお名前、お送り先（ご住所・お電話）を明記してください。
- ご注文に際し、公費・私費扱いの別をお知らせください。公費の場合、文書の宛名、日付の有無、見積書・納品書・請求書の枚数をお知らせください。
- 販売価格は、2割引（本体価格×0.8+消費税）です。
- 送料は実費をお預かりします。
- ご注文＆お問合せ | 電話：03-5213-4881 FAX：03-5213-4889 | e-mail：info@seikansha.co.jp

新注和歌文学叢書

【編集委員】浅田 徹・久保木哲夫・竹下 豊・谷 知子

本シリーズでは、私家集・私撰集・歌合・定数歌等を対象に、
現在における和歌文学研究の粋を集め、
正確な本文とそれぞれの作品に即した注釈の提供を目指します。

近刊

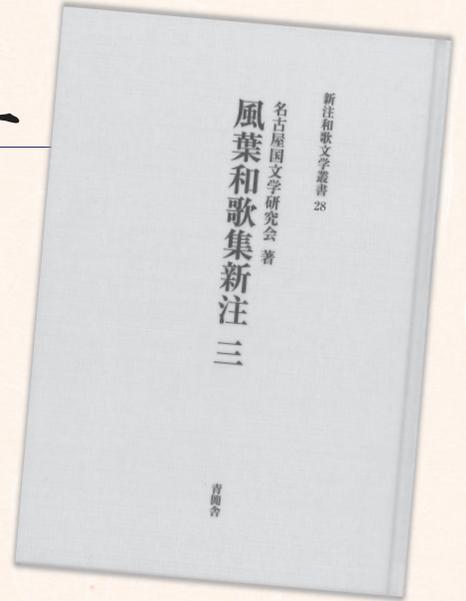
28 風葉和歌集新注 三

名古屋国文学研究会

本書は、物語歌集である『風葉和歌集』に
全釈を施したものである。全五巻よりなる。

第一巻には仮名序及び巻一～巻三、
第二巻には巻四～巻八、
第三巻には巻九～巻十二を掲載する。

予価 15,000円 + 税



既刊

(価格は税別)

- | | | | |
|----------|---------------------|----------------------|-------------------------|
| 1 | 清輔集新注 | 芦田耕一 | 13,000円 |
| 2 | 紫式部集新注 | 田中新一 | 8,000円 |
| 3 | 秋思歌 秋夢集新注 | 岩佐美代子 | 6,800円 |
| 4 | 海人手子良集 本院侍従集 義孝集新注 | 片桐洋一他 | 13,000円 |
| 5 | 藤原為家勅撰集詠 詠歌一躰新注 | 岩佐美代子 | 15,000円 |
| 6 | 出羽弁集新注 | 久保木哲夫 | 6,800円 |
| 7・8 | 続詞花和歌集新注 上・下 | 鈴木徳男 | 各 15,000円 |
| 9 | 四条宮主殿集新注 | 久保木寿子 | 8,000円 |
| 10・13・21 | 頼政集新注 上・中・下 | 頼政集輪読会 | 16,000円 12,000円 11,000円 |
| 11 | 御裳濯河歌合 宮河歌合新注 | 平田英夫 | 7,000円 |
| 12 | 土御門院御百首 土御門院女房日記新注 | 山崎桂子 | 10,000円 |
| 14 | 瓊玉和歌集新注 | 中川博夫 | 21,000円 |
| 15 | 賀茂保憲女集新注 | 渦巻恵 | 12,000円 |
| 16 | 京極派揺籃期和歌新注 | 岩佐美代子 | 8,000円 |
| 17 | 重之女集 重之子僧集新注 | 渦巻恵 武田早苗 | 9,000円 |
| 18 | 忠通家歌合新注 | 鳥井千佳子 | 17,000円 |
| 19 | 範永集新注 | 久保木哲夫 加藤静子他 | 13,000円 |
| 20・23 | 風葉和歌集新注 一・二 | 名古屋国文学研究会 | 15,000円 18,000円 (続刊) |
| 22 | 発心和歌集 極楽願往生和歌新注 | 岡崎真紀子 | 9,000円 |
| 24 | 伝行成筆和泉式部続集切 針切相模集新注 | 久保木哲夫 | 8,000円 |
| 25・26 | 竹風和歌抄新注 上・下 | 中川博夫 | 17,000円 15,000円 |
| 27 | 宇多院の歌合新注 | 三木麻子・奥野陽子・岸本理恵・恵阪友紀子 | 9,000円 |

《刊行書目一覽》



書名	著者名	本体価格	書名	著者名	本体価格
語り継ぐ日本の文化	黒柳孝夫・和田明美 編	1,900 円	土御門院御百首新注(新注12)	山崎桂子	10,000 円
蕉風付合論	梅原章太郎	12,000 円	言葉と他者 小林秀雄試論	権田和士	3,000 円
清輔集新注(新注和歌文学叢書1)	芦田耕一	13,000 円	西行歌私註	松村雄二	3,600 円
紫式部集新注(新注和歌文学叢書2)	田中新一	8,000 円	語り継ぐ古代の文字文化	犬飼隆・和田明美 編	1,900 円
女から詠む歌 源氏物語の贈答歌	高木和子	1,800 円	源氏物語 注釈史の世界	日向一雅 編	9,000 円
仲間と読む源氏物語ゼミナール	高田祐彦 土方洋一	2,000 円	中世絵画のマトリックスII	佐野みどり他 編	6,800 円
源氏作例秘訣 源氏物語享受歌集成	「源氏物語と和歌」研究会	9,500 円	日本霊異記の仏教思想	小林真由美	5,000 円
秋思歌 秋夢集新注(新注3)	岩佐美代子	6,800 円	古筆資料の発掘と研究	池田和臣	20,000 円
源氏物語と平安京 考古・建築・儀礼	日向一雅 編	2,800 円	藤原兼輔	山下道代	2,800 円
源氏物語と漢詩の世界 『白氏文集』を中心に	日向一雅 編	2,800 円	頼政集新注 中(新注13)	頼政集輪読会	12,000 円
源氏物語と和歌	小嶋菜温子・渡部泰明 編	11,000 円	瓊玉和歌集新注(新注14)	中川博夫	21,000 円
みみらくの島	山下道代	2,800 円	漱石「文学」の黎明	神田祥子	3,800 円
涙の文化学	今関敏子 編	3,600 円	斎宮女御集と源氏物語	西丸妙子	13,000 円
源氏物語と仏教 仏典・故事・儀礼	日向一雅 編	2,800 円	万葉人の声 うたうCD付	犬飼隆・和田明美 編	1,800 円
近世類題集の研究	三村晃功	23,000 円	源氏物語を彩るひとびと	米田明美・中葉芳子	1,000 円
源氏物語の透明さと不透明さ	寺田澄江他 編	3,800 円	賀茂保憲女集新注(新注15)	渦巻恵	12,000 円
中世和歌史論	村尾誠一	12,000 円	京極派播磨期和歌新注(新注16)	岩佐美代子	12,000 円
中古中世散佚歌集研究	久保木秀夫	14,000 円	源氏物語とポエジー	寺田澄江他 編	12,000 円
海人手子良集新注(新注4)	片桐洋一他	13,000 円	重之女集重之子僧集新注(新注17)	渦巻恵 武田早苗	9,000 円
藤原為家勅撰集詠新注(新注5)	岩佐美代子	15,000 円	忠通家歌合新注(新注18)	鳥井千佳子	17,000 円
失われた書を求めて	田中登	2,300 円	範永集新注(新注19)	久保木哲夫・加藤静子他	13,000 円
出羽弁集新注(新注6)	久保木哲夫	6,800 円	新古今前夜の和歌表現研究	大野順子	12,000 円
物語のレッスン	土方洋一	2,000 円	賀茂真淵の研究	高野奈未	9,000 円
中世絵画のマトリックス	佐野みどり他 編	5,800 円	研究室は今日も上天気	土方洋一	2,300 円
歌枕新考	山下道代	2,800 円	風葉和歌集新注 一(新注20)	名古屋国文学研究会	15,000 円
当世下手談義	鈴木雅子・村上もと	17,000 円	頼政集新注 下(新注21)	頼政集輪読会	11,000 円
書架解体 王朝和歌から中世和歌へ	井上宗雄	5,000 円	金槐和歌集論定家所伝本と実朝	今関敏子	9000 円
谷崎潤一郎 型と表現	佐藤淳一	3,800 円	後撰和歌集前後	杉谷寿郎	24,000 円
続詞花和歌集新注上(新注7)	鈴木徳男	15,000 円	源氏物語と和歌の論 異端へのまなざし	久富木原玲	17,000 円
続詞花和歌集新注下(新注8)	鈴木徳男	15,000 円	発心和歌集 極楽願往生和歌新注(新注22)	岡崎真紀子	9,000 円
源氏物語と音楽 文学・歴史・音楽の接点	日向一雅 編	2,800 円	道と越境の歴史文化	和田明美 編	1,800 円
季節は書と共に 短冊の楽しみ	田中登	1,900 円	私が出会った人と本	田中登	1,500 円
国文学古筆の考察	佐佐木忠慧	7,000 円	惟規集評釈	池田和臣 徳武陽子	3,800 円
夜の寝覚論	宮下雅恵	5,600 円	夏目漱石の文学的現場 意識と思考の焦点	藤澤るり	9,000 円
四条宮主殿集新注(新注9)	久保木寿子	8,000 円	風葉和歌集新注 二(新注23)	名古屋国文学研究会	18,000 円
会津八一と吉野秀雄	伊丹末雄	3,200 円	撰関期女房と文学	諸井彩子	11,000 円
源氏物語の平安京	加納重文	2,500 円	かへり見すれば	久保木哲夫	2,000 円
頼政集新注 上(新注10)	頼政集輪読会	16,000 円	伝行成筆和泉式部続集切新注(新注24)	久保木哲夫	2,600 円
源氏物語受容の諸相	宮川葉子	14,000 円	源氏物語を書きかえる 翻訳・注釈・翻案	寺田澄江他 編	2,600 円
続 季節は書と共に 短冊の楽しみ	田中登	1,900 円	家の文化学	今関敏子 編	5,800 円
柳澤家の古典学(下)	宮川葉子	26,000 円	後拾遺和歌集攷	武田早苗	2,600 円
源氏物語と唐代伝奇	日向一雅 編	2,800 円	和歌童蒙抄注解	黒田彰子	5,800 円
源氏物語の礎	日向一雅 編	8,000 円	初期狩野派絵巻の研究	土谷真紀	2,600 円
御裳濯河歌合宮河歌合新注(新注11)	平田英夫	7,000 円	歌人源頼政とその周辺	中村文 編	5,800 円
「古典を勉強する意味ってあるんですか？」	土方洋一 編	1,800 円	谷崎潤一郎論 近代小説の条件	中村ともえ	6,000 円
語り継ぐ日本の歴史と文学	久曾神昇 編	1,900 円	竹風和歌集新注上(新注25)	中川博夫	17,000 円
幸田露伴の文学空間	出口智之	3,800 円	竹風和歌集新注下(新注26)	中川博夫	15,000 円
転換期の和歌表現	家永香織	13,000 円	宇多院の歌合新注(新注27)	三木麻子他 編	9,000 円
あきのの帖 良寛禅師萬葉摘録	池田和臣・萬羽啓吾	9,000 円	新たな平安文学研究	藤原克己監修 高木和子編	2,800 円
続々 季節は書と共に 短冊の楽しみ	田中登	1,900 円	中世日記文学の表現方法	高木周	9,000 円
物語の言語 時代を超えて	寺田澄江他 編	5,000 円	中世歌題集成書の研究	藏中さやか	9,800 円
実朝の歌 金槐和歌集訳注	今関敏子	3,000 円			
源氏物語のことばと人物	中川正美	9,000 円			

塙 書 房

<http://rr2.hanawashobo.co.jp/>

113-0033 東京都文京区本郷 6-8-16

中古文学会 2020.05 学会員限定 特価販売カタログ

特価期間 2020.7 月末

価格 **全品 2 割引**

対象書籍 カタログに掲載以外の書籍も割引となります。

小社ホームページをご覧ください。

送料 本体価格合計 10,000 円以上はサービス

本体価格合計 10,000 円未満は 550 円

お支払い方法 郵便局の払い込み用紙を同封します。

ご注文方法 メール hanawashobo@mbb.nifty.ne.jp

電話 03-3812-5821

FAX 03-3811-0617

お問い合わせメール hanawashobo@mbb.nifty.ne.jp

電話 03-3812-5821

FAX 03-3811-0617

■注意

ご注文の際には、

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、書類の宛名・日付の有無・必要書類の枚数をお知らせください。
- 3 送付先を明記してください。
- 4 ページの最後に FAX 注文書をお付けしています。ご利用ください。
メールに添付して下さっても構いません。



創業1946年

国語・国文学／歴史・民俗／哲学・思想書出版 塙書房＊新刊のご案内

自：2019年1月1日

至：2020年5月15日

2020年5月12日 現在

書名／副題／編著者名／現職(刊行時)／シリーズ名・通巻／発売年月

主な内容／本体価格／判型・製本・頁数／ISBNコード



萬葉集研究 第38集

芳賀紀雄監修／鉄野昌弘・奥村和美編

2019年1月発売

【収載論文】ことばを移す、ことばに写す…奥村悦三／『古事記』序文の形式・構造・論理…矢嶋 泉／万葉集「なへに」の表現性—人麻呂「泣血哀慟歌」に触れて—…大浦誠士／古代の暦日表記と『万葉集』…西澤一光／「御食つ国」の再検討と荷札木簡…館野和己／桂様切(梅尾類切)万葉集の再検討…田中大士／少国民の萬葉集—戦争下の児童書における『萬葉集』の受容(戦争と萬葉集)—…小松(小川)靖彦／序歌の方法—否定を含む表現をめぐって—…平福英子

12,000円 A5・上製・函入／396頁 978-4-8273-0538-8



江戸の都市化と公共空間

松本剣志郎著

法政大学文学部史学科専任講師[日本近世・近代史]

2019年2月発売

江戸の道・橋・川・水路・堀の維持管理を担った住民諸組合の実態や道奉行による支配の具体的局面に焦点を当て、都市の公共的課題を検討して身分制城下町の都市化を考察する。

7,000円 A5・上製・函入／304頁 978-4-8273-1300-0



近世の村と民衆運動

白川部達夫著

東洋大学文学部史学科教授[日本近世史]

2019年2月発売

I 研究展望、II 百姓の所有と共生、III 村と民衆世界の広がり、IV 村と民衆運動にて、現在までの研究状況に触れ、近世の村の意識構造や近世後期の村と民衆世界の広がり等を考察する。

8,000円 A5・上製・函入／276頁 978-4-8273-1301-7



近世畿内近国支配論

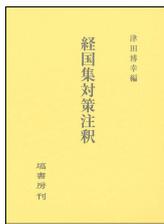
村田路人著

大阪大学大学院文学研究科教授[日本近世史]

2019年2月発売

触の伝達メカニズムを考察し、触留帳・触写帳を史料学的に検討、さらに堺奉行や京都・大坂町奉行などの幕府上方支配機構の構造を検討し、近世畿内近国支配の特質を解明する。

9,500円 A5・上製・函入／410頁 978-4-8273-1302-4



経国集対策注釈

津田博幸編

和光大学表現学部総合文化学科教授[古代文学]

2019年3月発売

典拠や用例の調査を徹底して行い『経国集』巻二十に収められた二十六首の「対策」に全注釈を施し、文学史・思想史・古代史等の幅広い分野の研究に寄与することを目指す。

18,000円 A5・上製・函入／556頁 978-4-8273-0131-1



近世畿内の豪農経営と藩政

萬代 悠著

公益財団法人三井文庫研究員[日本近世史]

2019年3月発売

近世和泉の豪農・要家の政治的側面と経済的側面を考察して人文学や社会科学などの研究者に成果を公開、近世日本の経済史研究、社会史・政治史研究に対して新知見を提示する。
《2019年 第62回日経・経済図書文化賞=受賞》

12,000円 A5・上製・函入／810頁 978-4-8273-1303-1



国家形成期の王宮と地域社会

記紀・風土記の再解釈

古市 晃著

神戸大学大学院人文学研究科・文学部准教授[日本古代史]

2019年3月発売

五・六世紀の王宮の基礎的検討から王権の編成原理と支配構造を考察し、さらに近畿から北部九州に至る瀬戸内海沿岸地域を検討して王権による地域社会の統合過程をも考察する。

16,000円 A5・上製・函入／552頁 978-4-8273-1304-8



弥生文化の起源と東アジア金属器文化

小林青樹著

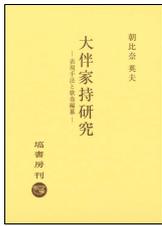
奈良大学文学部文化財科教授[東アジア考古学]

2019年3月発売

遼寧青銅器文化、中国外郭圏の銅戈、燕国系初期鉄器などの青銅器や鉄器をめぐる問題に着目し、弥生文化の起源を東アジア全体のなかで考察し新しい歴史像の構築を試みる。

11,000円

B5・上製・函入／342頁 978-4-8273-1305-5



大伴家持研究

表現手法と歌巻編纂

朝比奈英夫著

京都光華女子大学キャリア形成学部教授[上代文学]

2019年7月発売

本書は、大伴家持を研究対象として、表現手法と万葉集の編纂の両面から考察を加え、家持の文学的営為の持つ意義を解明することを目的とする。

9,500円

A5・上製・函入／288頁 978-4-8273-0132-8



上代日本文学と中国文学 補篇

出典論を中心とする比較文学的考察

小島憲之著

2019年8月発売

名著『上代日本文学と中国文学 上・中・下』3巻により恩賜賞を受賞した後に発表された、「万葉用字考証実例(一)～(四)」などの学術的に価値の高い論文を収載する。『国風暗黒時代の文学 補篇』と対をなす。

27,000円

A5・上製・函入／628頁 978-4-8273-0013-0



海をめぐる対話 ハワイと日本

水産業からのアプローチ

小川真和子著

立命館大学文学部教授[アメリカ研究・漁業移民]

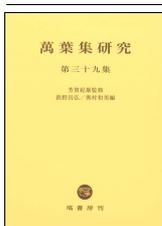
埼選書124

2019年9月発売

一九世紀後半から太平洋戦争を経て現在に至る協調と排斥のなかで、日米関係の影響をうけながらも、ハワイの水産業を育てあげた日本の海の民の歴史を聞きとりを交えて描く。

2,300円

B6・上製・カバー装／244頁 978-4-8273-3124-0



万葉集研究 第39集

芳賀紀雄監修／鉄野昌弘・奥村和美編

2019年11月発売

万葉集研究の最先端。毎年1冊刊行。[収載論文]『万葉集』における「蟋蟀」の訓義…山口佳紀／準独立的要素と情態的語基…峰矢真郷／上代ケリの諸相…野村剛史／副助詞の形成…小柳智一／〈百済=倭〉漢字文化圏…瀬間正之／徐庾体と『万葉集』…安藤信廣／古代における天皇神格化の真相…品田悦一／授刀寮散禁の歌…松田 聡／『万葉集』巻二十試論…鉄野昌弘

12,500円

A5・上製・函入／396頁 978-4-8273-0539-5



中世地方寺院の交流と表象

岡野浩二著

國學院大学大学院兼任講師[日本古代・中世史]

2019年11月発売

地方に展開する寺院の競合関係と僧侶の往来、地方寺院と中央主要寺院との関係等の「交流」と、祖師譚等の「表象」という視角から中世とその前後の時代の地方寺院を考察する。

15,000円

A5・上製・函入／474頁 978-4-8273-1306-2



倭国軍事考

若槻真治著

前島根県芸術文化センター・グラントワ劇場館長[日本古代史]

2019年12月発売

律令国家形成以前の倭国の軍事活動、軍事組織、軍事思想について東アジア的視点で考察し、王・大王・天皇の権力的特質だけでなく、日本の権力の本質論的把握を試みる。

9,500円

A5・上製・函入／332頁 978-4-8273-1307-9



初出版 死者の書

釈 迢空作／内田賢徳 校注・解説

校注者＝京都大学名誉教授[国語学・国文学]

2020年1月発売

『日本評論』に昭和14年1月号から3月号まで3回にわたって掲載された、釈迢空(折口信夫)の『死者の書』初出の版は、後に作者が構成を改編して単行本化したために、顧みられることは少ない。さらに第1回掲載分は、校正なしに発行されたと見られ、不整な誌面であった。本書は、それに校訂を加え、また8世紀中葉の諸事項について脚注を施し、読解を助ける。さらに解説は、改編の動機について新しい見解を展開する。この作品を理解する上で必読のテキストである。

2,000円

B6・並製／180頁 978-4-8273-0133-5



空海と弘仁皇帝の時代

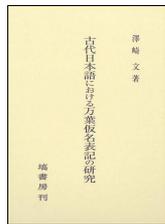
西本昌弘著

関西大学文学部総合人文学科教授[日本古代史]

2020年2月発売

空海を中心とする仏教関係の史料に歴史学から分析を加えて空海や最澄ら仏教者の視点から嵯峨天皇の時代を考察し、平安時代初期の政治史・社会史・仏教史に新視点を提示する。

11,000円 A5・上製・函入／352頁 978-4-8273-1308-6



古代日本語における万葉仮名表記の研究

澤崎 文著

早稲田大学文学部専任講師[日本語学]

2020年2月発売

「表記環境」という概念を取り入れて、古代日本語における万葉仮名表記を体系的に捉え当時の表記意識を考察し、上代から中古に至る文字・表記分野の変革の検討も試みる。

8,000円 A5・上製・函入／314頁 978-4-8273-0134-2



古代国家の祈雨儀礼と災害認識

山口えり著

広島市立大学国際学部准教授[日本古代史]

2020年3月発売

六～十二世紀末迄の約六百年間の祈雨儀礼を国家の災害認識という観点から検討し、文化論・思想論の観点からも古代国家の展開を考察する新たな研究方法とその成果を提示する。

12,000円 A5・上製・函入／550頁 978-4-8273-1309-3



律令交通の制度と実態

正税帳を中心に

榎 英一著

元・愛知文教大学教授

2020年3月発売

法律制度・公的会計報告・政府編纂の歴史書を主な材料として、正税帳から見た伝制、国司の交通、諸国行程と調庸運送の三部構成で、八・九世紀の公的交通の実態を考察。

15,000円 A5・上製・函入／498頁 978-4-8273-1311-6



日本書紀研究 第33冊

日本書紀撰進1300年記念

日本書紀研究会編

2020年3月発売

『日本書紀撰進1300年記念』特集号
〔執筆者〕生田敦司／荊木美行／内田正俊／上遠野浩一／関根淳／西川寿勝／阪口由佳／新蔵正道／塚口義信／寺西貞弘／平林章仁／渡里恒信

10,000円 A5・上製・函入／350頁 978-4-8273-1533-2



律令天皇制祭祀と古代王権

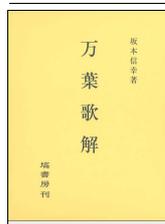
榎村寛之著

三重県立斎宮歴史博物館 [日本古代史]

2020年3月発売

歴史資料を情報の発信と受容の記録として捉える観点にたち、古代の支配イデオロギー、野行幸や諡号、飲食儀礼、さらに王権と王朝絵画などについて論じた十五篇を収載。

13,000円 A5・上製・函入／456頁 978-4-8273-1310-9



万葉歌解

坂本信幸著

奈良女子大学名誉教授・高岡市万葉歴史館館長 [上代文学]

2020年4月発売

万葉集の一首一首の歌を形成する「語」、その語の運用としての「歌」、「歌」の集集体としての「体」という見地にたつて、具体的に作品に即して総合的な作品解釈を目指す。

27,000円 A5・上製・函入／988頁 978-4-8273-0135-9



日本古代の儀礼と神祇・仏教

西本昌弘編

関西大学文学部教授[日本古代史]

2020年5月発売

I 儀礼と宗教の内実、II 神祇と伝承の諸相、III 仏教と寺院の展開の三部で構成され、即位儀礼、貨幣、大嘗祭、風土記、国分寺、桓武天皇などを考察した17篇の論考を収載する。

10,000円 A5・上製・カバー装／326頁 978-4-8273-1312-3



注文書

弊社図書のご注文にご利用ください。このままファクシミリか、郵送してください。
塙書房 営業部

年 月 日

ご氏名			
お届け先	郵便番号	—	電話番号: () FAX.: ()
	ご住所	_____	
ご連絡先		電話番号: () FAX.: ()	
通信欄		_____ _____	

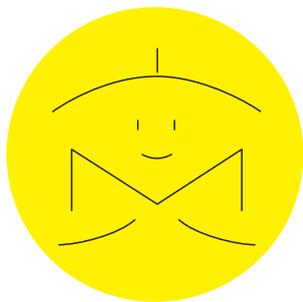
●下記書籍を注文します。

書名	本体価格	弊社使用欄	部数

●お支払い方法 (※○印をお願いします。)

1.私費 (振替用紙同封)	2.公費 (校費) ※必要書類をご指示ください。
---------------	--------------------------

書類の宛名	
書類の種類	納品書 通 ・ 請求書 通 ・ 見積書 通
日付	日付なし ・ 日付つき
連絡欄	



図書出版

文学通信

Bungaku-Report.com

中古文学会 2020.05 学会員限定 特価販売カタログ

特価期間 2020.7月末

価格 全品2割引

送料 実費

お支払い方法 郵便局の払い込み用紙を同封します

ご注文方法 メール info@bungaku-report.com

電話03-5939-9027

FAX03-5939-9094

お問い合わせメール info@bungaku-report.com

電話03-5939-9027

FAX03-5939-9094

■注意

ご注文の際には、

- 1○公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- 2○公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせ下さい。
- 3○送付先をお知らせ下さい。
- 4○ページの最後にFAX注文書をお付けしています。そちらもご利用ください。
- 5○稼働在庫一覧のエクセルファイルが以下にあります。**ここに掲載している本がすべて割引対象です。**

https://bungaku-report.com/shoten/Bookdata_bungakureport_new.xls

こちらをメールにて添付ファイルでお送りいただくこともできます。

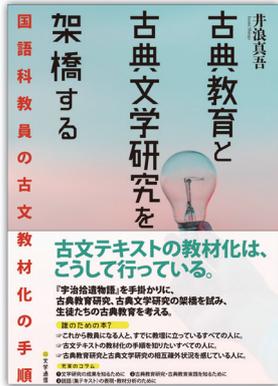


古典教育と 古典文学研究を 架橋する

国語科教員の古文教材化の手順

井浪真吾

ISBN978-4-909658-26-5
C1037
A5判・並製・344頁
定価:本体2,700円(税別)



古文テキストの教材化は、こうして行う。
古典教育研究、古典文学研究の架橋を試み、生徒たちの古典教育を考える。

「古典を勉強する意味ってあるんですか?」近年、こういった問いに対して応答する人が増えてきました。

しかしその問いについて、古典文学研究者からの提言は「生徒の古典嫌い」をどう打開していくかに議論が集中し、教科書教材の面白い読み方、教科書に採録されていない古文テキストの紹介など、古典世界へのアプローチばかりが言い立てられています。そこでは「古典世界の奥深さ」「古典文学の魅力」など、古文テキストの価値は先験的に認められており、学習の意義との回路が明示されることはありません。

古典文学研究者にとって古典教育の世界は、授業作り提案と実践報告、学習指導要領解説で埋め尽くされている、研究者が踏み込めない世界と映り、教員は時間的な余裕もなく、古典文学研究の細分化や領域拡張もあり、自らの間に切実さが見えないものと映ってしまっています。では互いの相互疎外状況を変えていくにはどうすればいいのか。

本書は、古典文学研究が明らかにしてきたものを生かし、古典教育研究や古典教育実践が明らかにしてきた古典教育の意義や目標と照合し、現在の古典教育をめぐる状況を踏まえながら、『宇治拾遺物語』を手掛かりに、教材化を試みた実践の書です。

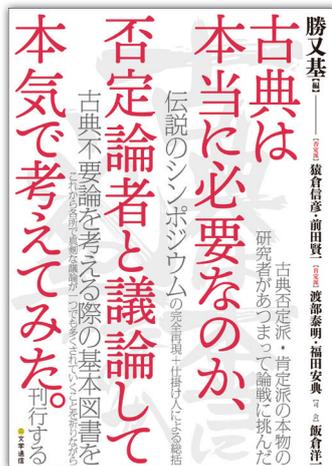
これから教員になる人と、すでに教壇に立っているすべての人に。古文テキストの教材化の手順を知りたいすべての人に。古典教育研究と古典文学研究の相互疎外状況を感じている人に。

【目次】序章 古典教育の課題／第一部 教材分析の方法—『宇治拾遺物語』の表現とその位相を考える／第二部 教材化の前に考えておきたいこと—古典教育の目標と古典教材を考え直す／第三部 教材化の構想—『宇治拾遺物語』を例に／参考引用文献／あとがき／索引(書名・人名・事項) 左開

古典は本当に必要なのか、 否定論者と議論して 本気で考えてみた。

勝又基編

ISBN978-4-909658-16-6
C0095
A5判・並製・220頁
定価:本体1,800円(税別)



古典否定派・肯定派の本物の研究者があつまって論戦に挑んだ、2019年1月の伝説のシンポジウム「古典は本当に必要なのか」の完全再現+仕掛け人による総括。古典不要論を考える際の基本図書となった本書を、これから各所で真剣な議論が一つでも多くされていくことを祈りながら刊行します。

2015年のいわゆる文系学部廃止報道以来、人文学や文学、古典の危機について論じる会合は少なからず開催されて来ましたが、編者は疑問を持っていました。それらはすべて身内の怪気炎にすぎなかったのではないかと。本当にインパクトのある議論をするためには、反対派と対峙しないまま、必要論だけを語ってはダメだ...本物の反対派を招聘し開催せねば。そこで開催されたのが、2019年1月のシンポジウム「古典は本当に必要なのか」です。登壇者は、【否定派】猿倉信彦・前田賢一【肯定派】渡部泰明・福田安典【司会】飯倉洋一の各氏です。

このシンポジウムは、インターネットでも中継され、使われたハッシュタグ「#古典は本当に必要なのか」は、センセーショナルでもあったため、シンポを離れトレンド入りし、多くの人がこのタグで、自らの古典観を語ることとなりました。

このシンポジウムで否定派が張った論陣はどのようなものだったのか。これに対して古典の研究者や中高の国語教員はどう反論したのか。その議論から浮かび上がった問題は何かだったのか。本書はその様子を再現したうえで、当日のアンケート、インターネットによるコメント投稿を収録し、登壇者のあとがきを加え、最後に編者自身の総括「古典に何が突きつけられたのか」(3万2千字)を収録します。本書全体で、より深い議論への橋渡しにしようとするものです。人文学や文学、古典の危機について考えていく際の必読書にはからずもなっています。





怪異をつくる

日本近世怪異文化史

木場貴俊

ISBN978-4-909658-22-7 C0020
A5判・並製・カバー装・396頁
定価:本体2,800円(税別)



怪異はつくられた!? 「つくる」をキーワードに、江戸時代を生きた人ひとと怪異のかかわりを歴史学から解き明かす書。人がいなければ、怪異は怪異にはならない。では誰が何を「あやしい」と認定して怪異になったのか。つまり、怪異はどうつくられてきたのか。そこにある様々なありさまを、当時の「知」の体系に照らし描ききる。章立ては、近世の怪異をつくった第一人者、林羅山からはじまり、政治、本草学、語彙、民衆の怪異認識、化物絵、ウヅメ、河童、大坂、古賀侗庵の全10章プラス補論3章。全方向から怪異のあり方を突き詰める、これからの怪異学入門が遂に誕生。怪異ファン必携。

【ある物事を怪異だと認識するのは、人間です。たとえ石が宙に浮いた、山を越えるほどの大きな蛇がいた、夜の川辺で小豆を磨くような音がしたなどの出来事も、人がいなければ、人が認識しなければ怪異にはなりません。つまり、人がいて初めて怪異は成り立つのです。こうした怪異に関わる人のいとなみを、本書では総じて「つくる」という言葉で表現してみたいと思います。

「つくる」といとなみは、多種多様です。怪異だと認識することも、当然「つくる」といとなみです。ある物事を誰がどのような理由で怪異だと決めたのか、その判断は、歴史性を帯びています。例えば、古代の律令国家では、国家つまり政権しか怪異の認定をすることができませんでした。もしも個人が勝手に「あれは怪異だ」と言いふらしてしまえば、その人は処罰を受けることが法で決められていたのです。誰(個人・共同体・国家など)がどのような理由で、特定の物事を怪異だと認識するのか、言い換えれば、誰が怪異を「つくる」のでしょうか。】.....「序章」より

【目次】/序章 怪異をつくる/第一章 林羅山 近世の怪異をつくった第一人者/第二章 政治 政から見る怪異/補論一 フィクションとしての怪異 林羅山『本朝神社考』『僧正谷』を読み解く/第三章 本草学 モノとしての怪異/補論二 『日東本草図纂』『怪説』巻から個性を見る/第四章 語彙① 辞書に見る怪異/第五章 語彙② 言葉の用法と新しい解釈/第六章 民衆の怪異認識/第七章 化物絵 描かれる怪異/第八章 ウヅメ 歴史的産物としての怪異/第九章 河童 人が怪異を記録するいとなみ/補論三 大坂 文化的な場と怪異/第十章 古賀侗庵 江戸後期の[怪異]をつくった儒者/終章 怪異を「つくる」ことから見えること/初出一覧・あとがき

六波羅探題 研究の軌跡

研究史ハンドブック

久保田和彦

ISBN978-4-909658-21-0 C0221
新書判・並製・240頁
定価:本体1,200円(税別)



「六波羅探題(ろくはらたんだい)」とはいったい何か。

承久の乱に勝利した鎌倉幕府が京都六波羅に設置した、「幕府の出先として朝廷を監視し、武家の安全のためにしっかりとがんばる」機関とされてきた、六波羅探題。本書は、その研究史を詳細に跡づけることで、その成立と展開、探題の発給文書、探題の職務と歴史的役割、鎌倉幕府・朝廷と探題との関係、鎌倉後期・幕府滅亡にいたる畿内の変化と探題の滅亡など、六波羅探題に関する様々な問題をわかりやすくまとめた書である。

同時に本書を通じ、六波羅探題の知名度を少しでも高め、また歴史学の研究において、研究史を詳細に跡づけることがとんねんぽんに大切かを、日本中世史の研究者をはじめとして、歴史に興味を持つ一般読者、さらに史学科の学生にまで、伝えていこうとする。172点の著書・論文を編年で並べた『六波羅探題 研究の軌跡』年表も備える。中世史ファン必携の書。

【目次】はじめに 「六波羅探題」ってなに/第一章 戦前の六波羅探題の研究/1 京畿および関西の諸政をすべ、兵馬のことを総掌する一和田英松の研究/2 六波羅は京都の重鎮一三浦周行の研究/3 六波羅探題の裁判管轄一石井良助の研究/第二章 戦後の六波羅探題の研究一通説の成立/1 訴訟制度上に占める六波羅探題の地位一佐藤進一の研究/2 六波羅探題の成立と構造一上横手雅敬の研究/3 鎮西における六波羅探題の権限一瀬野精一郎の研究/4 探題として成立を見なかった一五味文彦の発言/第三章 通説に対する異論の展開一本格的研究の開始/1 「六波羅-両使制」一外岡慎一郎の研究/2 公武交渉における六波羅探題の役割一森茂暁の研究/3 六波羅探題職員・組織の研究一森幸夫の研究/4 六波羅探題被官と北条氏の西国支配一高橋慎一郎の研究/5 六波羅探題発給文書の研究一久保田和彦の研究/6 六波羅探題の多角的・総合的研究一熊谷隆之の研究/7 公武関係と六波羅探題一木村英一の研究/第四章 その他の六波羅探題研究/1 在京人と簞屋番役一五味克夫の研究/2 在京人とその位置一五味文彦の研究/3 六波羅探題の裁判管轄について一稲葉伸道の研究/4 悪党召し取りの構造一近藤成一・西田友広の研究/5 金沢北条氏の研究一永井晋の研究/6 外岡慎一郎「六波羅-両使制」への批判一佐藤秀成・加藤克・本間志奈の研究/7 「西国成敗」の確立過程一工藤祐一の研究/おわりに一六波羅探題研究の今後の課題/あとがき・参考文献・『六波羅探題 研究の軌跡』年表



薩琉軍記論

架空の琉球侵略物語は

なぜ必要とされたのか

目黒将史

ISBN978-4-909658-20-3

C0095

A5判・上製・カバー装・784頁

定価:本体15,000円(税別)



未知なる国、異国「琉球」を侵略する、架空の軍記〈薩琉軍記〉。〈薩琉軍記〉とは、慶長十四年(一六〇九)の琉球侵攻を描いた軍記テキスト群である。実際には起きていない合戦を作りだし、様々な武将たちの活躍を創出した特異な軍記だ。本書はその〈薩琉軍記〉を研究する初の書である。異国と戦った者たちの物語はなぜ必要とされたのか。異国合戦軍記が担った役割は何だったのか。その成立、諸本の展開構造、享受の実態から、明らかにしていく。国家の異国観が、大衆へ浸透していく様相を解明するべく、日本文学史に異国合戦軍記を位置づけようとする野心的な書。本書には、東アジアにおける日本の視座が問われている昨今、時代やジャンルを超越し取り組むべきテーマが凝縮されているといっても過言ではない。文学研究者のみならず、歴史、思想史にも有益な書である。

【目次】序章 〈薩琉軍記〉研究の過去、現在／第一部 〈薩琉軍記〉の基礎的研究／第一章〈薩琉軍記〉諸本考／第一節 諸本解題／付節 立教大学図書館蔵「〈薩琉軍記〉コレクション」について／第二節 薩琉軍記遡源考／第三節 物語展開と方法—人物描写を中心に—／第四節 異国合戦描写の変遷をめぐって／第五節 系譜という物語—島津家由来譚をめぐって—／第二章 〈薩琉軍記〉世界の考察—成立から伝来、物語内容まで—／第一節 異国侵略を描く叙述形成の一齣—成立、伝来、享受をめぐって—／第二節 琉球侵略の歴史叙述—日本の対外意識と〈薩琉軍記〉—／第三節 描かれる琉球侵略—武将伝と侵攻の正当化—／第四節 偽書としての〈薩琉軍記〉—「首里之印」からみる伝本享受の一齣—／第二部 〈薩琉軍記〉の創成と展開の諸相／第一章—物語生成を考える—近世の文芸、知識人との関わりから—／第一節 近世期における三国志享受の—様相—／第二節 語り物の影響をさぐる—近松浄瑠璃との比較を中心に—／第三節 敷衍する歴史物語—異国合戦軍記の展開と生長—／第四節 歴史叙述の学問的伝承／第五節 蝦夷、琉球をめぐる異国合戦言説の展開と方法／第六節 予祝の物語を語る—〈予言文学〉としての歴史叙述—／第二章—甦る武人伝承—再生する言説—／第一節 渡琉者を巡る物語—渡海、漂流の織りなす言説の考察—／第二節 琉球言説にみる武人伝承の展開—為朝渡琉譚を例に—／第三節 語り継がれる百合若伝説—対外戦争と武人伝承の再生産—／第四節 為朝渡琉譚の行方—伊波普猷の言説を読む—／終章—琉球から朝鮮・天草へ—異国合戦軍記への視座—／資料篇／1 立教大学図書館蔵「薩琉軍談」解題と翻刻／2 国立公文書館蔵「薩琉軍鑑」解題と翻刻／3 刈谷市中央図書館村上文庫蔵「琉球征伐記」解題と翻刻／4 架蔵「琉球静謐記」解題と翻刻／5 架蔵「島津琉球合戦記」解題と翻刻／6 立教大学図書館蔵「琉球軍記」解題と翻刻／初出一覧・あとがき・索引(書名・人名・地名)

注釈・考証・読解の方法

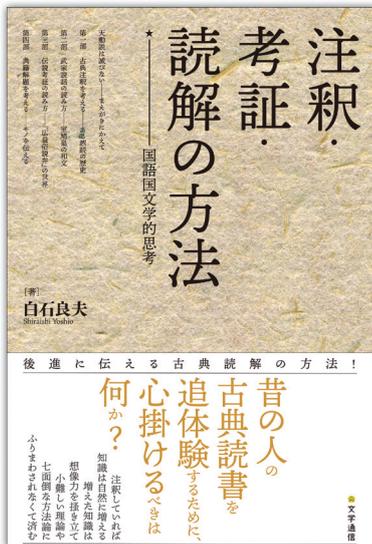
国語国文学的思考

白石良夫

ISBN978-4-909658-17-3 C0095

四六判・上製・288頁

定価:本体3,200円(税別)



注釈していれば、知識は自然に増える。増えた知識は想像力を掻き立て、小難しい理論や七面倒な方法論にふりまわされなくて済む——。

昔の人の古典読書を追体験するために、心掛けるべきは何か。後進に伝える古典読解の方法!

「後進に伝える研究方法」をコンセプトに、古典の注釈・考証・読解の方法を伝える。国語学と国文学、あるいは中古、近世、近代など、世間で勝手に作りあげられたジャンルや文学史の壁を遠慮せず乗り越え、古典を読み解くにはどうすればいいのか。先人に学びながら古典を読み解く術を、全四部「古典注釈を考える—ある誤読の歴史」「武家説話の読み方—室鳩巢の和文」「伝説考証の読み方—『広益俗説弁』の世界」「典籍解題を考える—モノを伝える」で伝えていく。対象とするものは、源氏、徒然、武家説話、考証随筆など幅広く、典籍解題の問題まで含めて論じる。

【目次】天動説は滅びない—まえがきにかえて—第一部 古典注釈を考える—ある誤読の歴史—／一章 オコヅク考、オゴメク考—源氏物語帚木巻の異文の解釈—／二章 オゴメク幻想—「オコヅク考、オゴメク考」補訂を兼ねて—／三章 徒然草「鼻のほどおこめきて」考—続オゴメク幻想—／第二部 武家説話の読み方—室鳩巢の和文—／四章 読み物になった手紙—「鳩巢小説」とは何か—／五章 書いたこと、書かなかったこと—写本と刊本の狭間で—／六章 忠誠心はかくあるべし—浄瑠璃坂敵討と殉死をめぐって—／七章 作品化される諫言—『明君家訓』から『駿台雑話』へ—／附 『明君家訓』の成立と版本—／第三部 伝説考証の読み方—『広益俗説弁』の世界—／八章 巨木伝説考証近世篇—熊楠稿「巨樹の翁の話」追跡—／九章 女流歌人伝説—檜垣岫説話をめぐって—／第四部 典籍解題を考える—モノを伝える—／十章 『十帖源氏』の異版と著者書入本—小城鍋島文庫本の位置づけ—／十一章 『烏丸光榮御口授』の成立と構成—国会図書館本を基にして—／十二章 『名家手簡』版本管見—近世の複製本—／附 シーラカンスの年齢—あとがき・初出一覧・人名・書名索引—



草の根歴史学の未来をどう作るか

これからの
地域史研究のために

黒田智・吉岡由哲編

ISBN978-4-909658-18-0
C0021
A5判・並製・カバー装・304頁
定価:本体2,700円(税別)



歴史学の新しい主戦場は、地域史だ！ 地域には、これまで縦割りに区分され、歴史史料としてみなされることのなかった手つかずの史料が膨大に眠っている。史料学の成果を地域史研究に生かすということを軸に、若い執筆者たちがさまざまな史料と格闘して生み出した書。金沢大学の卒業生・修士・大学院の修士・博士後期課程の在籍者・修了者らが執筆。執筆陣のほとんどは、北陸・東海地域の小・中・高校で学校教育に携わっている現職教員である。これからの地域史研究の参考になることを目指すべく、史料撮影、教材研究、教材の作り方、郷土史研究と地域学習、卒論指導に関するコラムも備えた、かつてない日本史論文集。編集は研究活動と同様、文化財調査・地域史研究に積極的に取り組んできた、黒田 智、吉岡由哲。

【目次】口絵／草の根歴史学の未来へ(黒田 智)／第一部 絵画史料を読む／第一章 鎌倉公方の天神像(山野 晃)／第二章 『遊行上人縁起絵』の手取川(市河良麻)／第三章 なぜ泥棒は風呂敷を背負うのか(木村直登)／[コラム1]イントロダクションができるまで(黒田智)／第四章 前田利常の鬼子母神(岡田彩花・鳥谷武史)／第五章 新発田藩主の肖像画(高澤克幸)／第六章 肖像写真の胎動—久田佐助コレクション(吉岡由哲)／[コラム2]史料撮影の五つのポイント(吉岡由哲)／第二部 寺社縁起と奇談／第一章 『赤洲大明神縁起』の誕生(木村祐輝)／第二章 大野湊神社と縁起(竹内 央)／第三章 夜の悪鳥・悪獣と女(土居佑治)／[コラム3]教材研究と史料学の役割(木越隆三)／第四章 忘れられた秀郷(高澤由紀)／第五章 水犬の怪鳥退治—羽咋地名考(河合 柚)／第六章 『江島五巻縁起』と仏牙舍利請来譚—慈悲上人良真と実朝の夢(鳥谷武史)／[コラム4]歴史教材の作り方(村井淳志)／第三部 歴史史料の可能性／第一章 能登土田荘公用銭状の研究(山科建太)／第二章 石動山史料と祈雨の記憶(小川歩美)／第三章 賤ヶ岳合戦の雪(中山貴寛)／[コラム5]郷土史研究と地域学習(宮下和幸)／第四章 「額氏系図」を読む—金屋彦四郎家の記録(加護京一郎・黒田 智)／第五章 加賀前田家年寄の後見制—本多政和を事例に(林 亮太)／第六章 東山の成立(西田夏希)／第七章 橋本左内の「建儲」(森石 顕)／[コラム6]大学における卒論指導(黒田 智)／「草の根歴史学」の未来を考えるためのブックガイド／絵画史料論を学びたい人へ(黒田智)／地域の川縁と記憶をたどりたい人へ(黒田智)／縁起・奇談のなかの真実を知りたい人へ(黒田智)／環境史の最前線を知りたい人へ(黒田智)／古文書・聖教調査をしたい人へ(藤巻和宏)／史料撮影に挑戦したい人へ(吉岡由哲)／歴史教育を一步前に進めたい人へ(村井淳志)／おわりに(吉岡由哲)／

なぜ古典を勉強するのか

近代を古典で
読み解くために



前田雅之

ISBN978-4-909658-00-5
C0095
四六判・上製・336頁
定価:本体3,200円(税別)



なぜ古典を勉強するのか。私たちが生きるこの時代は、古典的教養とは不要なものなのだろうか。過去とつながっている、今この時代を読み解く、実践的古典入門。全体を「古典入門」、「古典で今を読み解く」、「古典と近代の歴史を知る」に分け、レクチャー。「近代を相対しうる最も強力な装置が古典である」という著者の思想のもと、今とつながっている古典文学の新しい見方を次々と繰り出し、読む者の視界を広げ、古典を勉強する意義を伝える、刺激的な書。

【大きく断絶しているとはいえ、我々の言葉は過去と繋がっているといった意味で、古典的世界＝前近代社会の延長にある現在に生きていることも否定できない事実としてある。古典と近代を相互批判しながら、古典的世界を破壊した近代を批判し評価していくことを通して、より新鮮な気持ちで古典的世界、と同時に近代的世界と対峙することが可能となるのではないか。その先にはまだ見たことのない世界像が立ち現れるのではないか、勉強をしていて何が快感か。世界像なるものが見えるような線がうっすらと浮かんで来る時である。】

【目次】はじめに—勉強をしていて何が快感か／Part.1 古典入門 その1...教養と伝統の世界を知る／1 昔の人は教養があったのか／2 注釈学事始め／3 古典的公共圏とは何か—和歌が減びなかった秘密／4 伝統の作られ方／Part.2 古典で今を読み解く その1...歴史・伝統・古典／1 「日本共産党」の古典的意義／2 アメリカ、「新大陸」における伝統とは何か／3 天皇制度を永続させるために／4 品格ある二等国になること／5 日本における国・国民・国民主義—対抗原理なき国民主義は可能か／6 日本人論を終わらせるために—優越感なる劣情からの脱却／7 日本・日本人はどこにも行かないだろう／8 成績という文化—近代のアイロニー／Part.3 古典入門 その2...和歌と文化の厚みを知る／1 和文にスタンダードはあったのか—和歌のあり方とは／2 藤原俊成の古典意識—生き、活動する原点にあるものとは／3 アヴァンギャルドと伝統—孤語「忍ど忍ど」考／4 文化の厚みを知る方法—明星本『正広自歌合』をめぐる／Part.4 古典で今を読み解く その2...戦乱・和歌・古典／1 古典・和歌は平和の産物ではない／2 乱世到来、いよいよルネサンスだ／3 破局・古典・復興—精神の危機を乗り越えるために／Part.5 古典と近代の歴史を知る／1 国文学始動元年、明治二十三年の夢と幻滅—国学・国文学・井上毅／2 古典と出会う、戦時・戦中という時空—清水文雄『戦中日記』を読む／3 研究者共同体と大衆文化—その歴史と国文学の人畜無害化／



デジタル学術空間の作り方

仏教学から提起する
次世代人文学のモデル

下田正弘・永崎研宣編

ISBN978-4-909658-19-7
C0020

A5判・並製・384頁
定価:本体2,800円(税別)



ライブラリアン、コンピュータサイエンティスト、人文学者...複数のプレイヤーによって共同で創りあげる、デジタル学術空間という「知」のかつてない新たな形態にこれまでどう対応してきたのか。そしてこれから、どうデジタル学術空間を創っていくのか。仏教学から提起する書。

第1部「デジタル学術空間の作り方」では、SAT大蔵経テキストデータベース研究会がデジタル研究基盤を構築するにあたり実現してきたものを創成期(1994年)から現在までを詳述。第2部「仏教学とデジタル環境から見える課題」では、全体を「デジタル技術を作る・使う」「研究基盤を作る」の二つにわけ、研究者たちが課題の提起とともに、その解決の方向を示した。さいごに大向一輝(国立情報学研究所)によるコラム「デジタル学術空間の未来に向けて」で今後の展望を示す。

今後の人文学の展開には、日々生まれつつあるデジタル学知との対話が不可欠なものとなった現在、私たちは何をどう創り未来へと進むのか。その良きガイドになる書です。

執筆は、下田正弘、永崎研宣、小野基、船山徹、石井清純、八尾史、宮崎展昌、宮崎泉、芥米地等流、蓑輪顕量、李乃琦、王一凡、青野道彦、落合俊典、高橋晃一、大向一輝。

【人文学の使命は、無意識にことばが使われることによって無反省に世界が構成されてゆく、その過程を反省的に照らし出し、そこに潜む問題を明らかにするところにある。同様に、デジタル媒体空間における次世代の人文学は、デジタル技術を使い、あらたな世界を生きる力をつけさせることに終始するのではない。やがて無意識化するだろう、その活動を外から反省的に分析し、問い返すところはまだ進まなければならない。

ことばが構成する概念や事態を分析する力を発揮し世界を解明してきた人文学には、今後、情報通信技術が構成する概念や事態を分析する学問へと、あらたに成長を遂げることが期待されている。言語活動を批判するためには言語が習得されなければならないように、技術を批判するためには、技術を習得する段階を経なければならない。しかるに、声から文字へ、文字からデジタルへ、という歴史における展開は、言語が自身のより遠くの外へと向かい、そこから自身へと還帰する運動である。それは、振幅に相違があるものの、人文学が長い歴史のなかで寄り添ってきた運動にほかならない。】...epilogue 人文学の将来(下田正弘)より

ネット文化資源の読み方・作り方

図書館・自治体・

研究者必携ガイド



岡田一祐

ISBN978-4-909658-14-2 C0020

A5判・並製・232頁
定価:本体2,400円(税別)



私たちが残すものは、私たちそのものだ。

インターネット環境において、文化資源のコレクションをバーチャル空間に作り上げる営みについて、多くの事例から縦横無尽に論じる書。日々変わりゆく社会のなかで、資料の公開やその方法論をどう考えて、理路を立てていけば良いか。文化を残すとはどういうことなのかという根源的な事柄から、デジタル・ヒューマニティーズの最新の成果や、情報発信の問題等々、これからのガイドとして、入門として、必読の書です。

本書はメールマガジン『人文情報学月報』(人文情報学月報編集室発行)の連載「Digital Japanese Studies 寸見」の2015年4月号掲載の第1回から2018年12月号掲載の第45回までの原稿をもとに加筆修正の上、関係画像を差し込むなどの編集を加え刊行するものです。

【...ではなにをどのように残していけばよいのでしょうか。単純明快な解ではありませんが、こと文化に関するものであるかぎり、集まったものが意味を織りなすひとつの、あるいは重なり合うコレクションとして次の世代へと渡すことが重要ではないでしょうか。

本書は、そのなかでも、インターネット環境において文化資源のコレクションをバーチャル空間に作り上げる営み(ネット文化資源と呼ぶことにします)について注目し、変わりゆく社会のなかで、そのなかで資源を読み解き、あるいは織りなすことを論じてみたいと思います。ここでは特に、インターネット上にある文化資源の総体というよりも、個々の、漠然とはしていたとしても、あるていどまとまりのある資源の集まりに着目したいと思います。】...「はじめに」より

【目次】はじめに/タグによる本書の歩き方MAP/・2015 第1回～第9回/・2016 第10回～第21回/・2017 第22回～第33回/・2018 第34回～第45回/【付録】パスファインダー/・デジタル・コレクション/・セマンティックウェブ/・オープンデータという思想/・コレクション形成・図書館史/・デジタル人文学/索引/デジタル日本学なるもの-後書きに代えて



国語の授業の作り方

はじめての授業マニュアル

古田尚行



ISBN978-4-909658-01-2 C1037

A5判・並製・320頁

定価:本体2,700円(税別)



教育実習生とその指導教員のために。これから教員になる人と、すでに教壇に立っているすべての人に。本書は、中学校・高等学校で初めて授業をすることになる教育実習生を念頭に、実際に国語の授業を組み立てていくノウハウを、授業を詰めていく過程や、振る舞い方や言葉遣い、それらを支える考え方や思想、またその意味など、いわゆる暗黙知とされている部分まで踏み込み、言語化して伝えます。全体を「授業の前に」「授業中のこと」「授業の後に」「授業作りのヒント集」「授業作りで直面する根本問題」「授業の作り方・事例編」「教材研究のための文献ガイド」の7章で構成。

どのような学校に勤めようが、どのような授業になろうが、それらに適応する普遍的な国語の授業方法や視点があるとの考えから述べられているので、既に現場に出ている教員にとっても、普段の授業を見直すことができるものにもなっています。また本書で提示される具体的な授業作りは、教育現場と文学・語学研究の場との乖離の問題をより深く見つけ直せるものにもなっています。国語教育や文学研究に携わる人すべてに読んでもらいたい、はじめての授業マニュアルです。

【今回、私が本書で述べてきたことは一人の授業者の「暗黙知」を言語化するという営みです。いろいろな実践を取めた書籍や論文には優れたものも多いのですが、それらの多くは「なぜ」その学習過程にしたのか、その理論的な枠組みはどのような目標や目的において援用されたのかを説明するものはあっても、そして具体的な問い方やアプローチやその授業の成果や課題は述べられたとしても、そこからさらに実際の授業を詰めていく詳細な振る舞い方や言葉遣い、それらを支える考え方や思想、その意味を一つの流れの中で説明しているものは少ないように思います。...(中略)...「体験しないとわからない」ような知の説明は少しでも言語化されて開かれていく必要があると思いました。この目的がどこまで達成できたのかは心許ないのですが、本書の内容が少しでも役に立ち、そして本書を読んで読者から声(賛同する声、批判する声も含めて)が上がっていくことがあれば、筆者としてはこれにまさるものはありません。】...「おわりに」より

【目次】はじめに／第1章 授業の前に／第2章 授業中のこと／第3章 授業の後に／第4章 授業作りのヒント集／第5章 授業作りで直面する根本問題／第6章 授業の作り方・事例編／第7章 教材研究のための文献ガイド／参考文献・キーワード索引

歴史情報学の教科書

歴史のデータが世界をひらく

国立歴史民俗博物館監修
後藤 真・橋本雄太編



ISBN978-4-909658-12-8 C0020

A5判・並製・208頁

定価:本体1,900円(税別)



人文学に必要なこれからの情報基盤の作り方は。複数の手段を用いて、新たな歴史像に迫るために。情報を共有して課題を解決するプラットフォームを構築するために。情報を可視化して、社会の深層にコミットしていくために。

人文学は社会そのものを考え、社会のあるべき姿を考える学問である。その可能性を追求するために、強力な援軍となっている歴史情報学の現在と未来を解説し、学問の基盤の今後を問いかけ、参加を促す。歴史情報学で出来ることを、まずは知るところからはじめよう!人文学研究者はもとより、行政機関、図書館・博物館等の学術機関などにだずさわる方必携の書。

【目次】はじめに／chapter1 人文情報学と歴史学 後藤 真(国立歴史民俗博物館)／chapter2 歴史データをつなぐこと-目録データ- 山田太造(東京大学史料編纂所)／chapter3 歴史データをつなぐこと-画像データ- 中村 覚(東京大学情報基盤センター)／●column.1 画像データの分析から歴史を探る-「武鑑全集」における「差読」の可能性- 北本朝展(ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター/国立情報学研究所)／chapter4 歴史データをひらくこと-オープンデータ- 橋本雄太(国立歴史民俗博物館)／chapter5 歴史データをひらくこと-クラウドの可能性- 橋本雄太(国立歴史民俗博物館)／chapter6 歴史データはどのように使うのか-災害時の歴史文化資料と情報- 天野真志(国立歴史民俗博物館)／●column.2 歴史データにおける時空間情報の活用 関野 樹(国際日本文化研究センター)／chapter7 歴史データはどのように使うのか-博物館展示とデジタルデータ- 鈴木卓治(国立歴史民俗博物館)／chapter8 歴史データのさまざまな応用-Text Encoding Initiativeの現在- 永崎研宜(人文情報学研究所)／chapter9 デジタルアーカイブの現在とデータ持続性 後藤 真(国立歴史民俗博物館)／●column.3 さわれる文化財レプリカとお身代わり仏像-3Dデータで歴史と信仰の継承を支える- 大河内智之(和歌山県立博物館)／chapter10 歴史情報学の未来 後藤 真(国立歴史民俗博物館)／おわりに／用語集 学会・雑誌案内 大学案内



※本紙でご注文いただければ学会割引を適用いたします。あるいはメール info@bungaku-report.comまでご注文下さい(学会注文書での注文であるとお伝え下さい)。

●注文内容

著者1	書名	冊数	公費・私費
前田 雅之	なぜ古典を勉強するのか		公費・私費
古田 尚行	国語の授業の作り方		公費・私費
西 法太郎	三島由紀夫は一〇代をどう生きたか		公費・私費
染谷 智幸編	全訳 男色大鑑〈武士編〉		公費・私費
染谷 智幸編	全訳 男色大鑑〈歌舞伎若衆編〉		公費・私費
白戸 満喜子	紙が語る幕末出版史		公費・私費
西脇 康	新徴組の真実にせまる		公費・私費
海津 一朗	新 神風と悪党の世紀		公費・私費
はちこ	中華オタク用語辞典		公費・私費
ビュールク トーヴェ	二代目市川團十郎の日記にみる享保期江戸歌舞伎		公費・私費
叢の会編	江戸の子どもの絵本		公費・私費
鈴木千恵子	杞憂に終わる連句入門		公費・私費
後藤 真編	歴史情報学の教科書		公費・私費
長島弘明編	〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典		公費・私費
岡田一祐	ネット文化資源の読み方・作り方		公費・私費
飯倉洋一編	真山青果とは何者か？		公費・私費
勝又基編	古典は本当に必要なのか、否定論者と議論して本気で考えてみた。		公費・私費
白石良夫	注釈・考証・読解の方法		公費・私費
黒田智編	草の根歴史学の未来をどう作るか		公費・私費
下田正弘編	デジタル学術空間の作り方		公費・私費
目黒将史	薩琉軍記論		公費・私費
久保田和彦	六波羅探題 研究の軌跡		公費・私費
木場貴俊	怪異をつくる		公費・私費
堀口 悟編	江戸初期の香文化		公費・私費
速水香織	近世前期江戸出版文化史		公費・私費
前島美保	江戸中期上方歌舞伎囃子方と音楽		公費・私費
井浪真吾	古典教育と古典文学研究を架橋する		公費・私費
空井伸一	「国文学」の批判的考察		公費・私費
地方史研究協議会編	日本の歴史を解きほぐす		公費・私費

●公費の書類内容

宛名					日付	あり・なし
書類枚数	納品	通	見積	通	請求	通

●送付先

お名前					
住所	〒 _____				
	お電話				

文学通信・刊行図書一覧↓こちらでタイトルをご確認ください。

<https://bungaku-report.com/about/books.html>

勉誠出版

中古文学会 学会員様限定

特価2割引販売

割引クーポンコード: 04a84a7c50
(期限: ~2020年7月31日)

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

FAX **03-5215-9025** / 電話 **03-5215-9021**

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 04a84a7c50 (期限: ~2020年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・ご注文の際には、公費・私費の区別をお知らせください。
- ・ご注文は、メール添付、FAXでも受け付けております。
- ・次の頁に注文書をお付けしています。メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。
- ・注文書内*印をつけた書籍については、チラシをお付けしております。内容詳細はチラシをご覧ください。
- ・以下に、より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」もございます。こちらからも注文書をダウンロードいただけます(pdf・エクセル)
https://bensei.jp/?main_page=wordpress&p=12845
- ・注文書に記載の無い書籍につきましても2割引にて承ります。

「研究書 新刊・近刊のご案内」と
「注文書」は、右のQRコードからも
ダウンロードしていただけます



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
アクセスいただけます



勉誠出版 注文書

Email info@bensei.jp
FAX 03-5215-9025

ご送付先(氏名・住所・電話番号)

通信欄 ※お支払い方法(公費・私費)、必要書類はこちらにご記入ください

※割引クーポンコード: **04a84a7c50** (期限: ~2020年7月31日)
こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!
※弊社ホームページの「研究書 新刊・近刊のご案内」より、注文書(PDFかエクセル)をダウンロードしてご記入のうえ、メールかFAXにて、お送りください。
※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。

No.	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	冊数
◆事典・総記						
1	文化情報学事典	村上征勝 監修/金明哲・小木曾智信・中國聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	2019/12	20071	18,000	
◆歴史・文化財・美術史・思想史						
* 2	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編/国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	22272	7,800	
* 3	日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	20073	7,000	
4	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	22257	10,000	
5	日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	22266	6,000	
6	近世豪商・豪農の(家)経営と書物受容—北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/2	22265	10,000	
7	近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害	渡辺浩一/マシュー・デーヴィス 編	2020/2	22267	7,000	
8	江戸日本橋商人の記録—〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	22269	11,000	
9	甦る「豊後切支丹史料」—パチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	22261	12,000	
10	琉球船漂着者の「聞書」世界—『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	22197	10,000	
11	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	22268	17,000	
12	洪沢敬三とアチック・ミュージアム—知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治 著	2020/1	22263	3,500	
13	荒れ野の六十年—東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤 著	2020/1	22264	3,200	
14	日本画の所在—東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	27055	6,500	
15	描かれたマカオ—オーダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 編	2020/4	22262	22,000	
◆日本語学・言語学						
16	日本書紀声点本の研究	鈴木豊 著	2020/3	28048	14,000	
17	龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	2020/4	28050	18,000	
18	近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	2020/1	28047	8,000	
19	論究日本近代語 第1集	日本近代語研究会 編	2020/3	28521	15,000	
20	サハ語文法—統語的派生と言語類型論的特異性	江畑冬生 著	2020/4	28049	9,800	
21	国宝 漢書楊雄伝 第五十七	京都国立博物館 原本所蔵・編 / 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 解説	2019/12	28046	35,000	
22	続 岐点の軌跡 老いてなお岐点あり—老いてなお岐点あり	北原保雄 著	2020/4	28503	4,500	
◆古典文学・文学史						
* 23	医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	20072	12,000	
24	水門—言葉と歴史 第二十九号	水門の会 編	2020/1	22443	3,500	
* 25	本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	2020/2	29224	3,200	
* 26	源氏物語と平安朝漢文学	長瀬由美 著	2019/2	29173	7,000	
* 27	源氏物語の近世—俗語訳・翻案・絵入本でよむ古典	レベッカ・クレメンツ/新美哲彦 編	2019/8	29186	12,000	
28	仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合 全注釈	石川一 編	2020/3	29195	10,000	
29	南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾 著	2020/3	22270	7,000	
30	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	29196	10,000	
31	明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一 編	2020/1	29193	7,500	
32	漱石文体見本帳	北川扶生子 著	2020/1	29189	2,800	
33	ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京	日本近代文学館 編	2020/4	29163	2,800	
34	同性愛文学の系譜—日本近現代文学におけるLGBT以前/以後	伊藤氏貴 著	2020/2	29191	2,800	
35	平川祐弘決定版著作集 東の自生観と西の創造観	平川祐弘 著	2020/3	29428	14,000	
36	平川祐弘決定版著作集 開国の作法	平川祐弘 著	2020/4	29429	14,000	
37	アメリカ現代詩入門—エズラ・パウンドからボブ・ディランまで	原成吉 著	2020/2	29192	3,500	
38	100人の作家で知る ラテンアメリカ文学ガイドブック	寺尾隆吉 著	2020/3	29194	2,800	
◆図書館学・アーカイブ						
39	デジタルアーカイブ・ベーシック3 自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修/中村覚 責任編集	2020/4	20283	2,500	
◆統計学						
40	この本を書いたのは誰だ?—統計で探る“文章の指紋”	村上征勝 著	2020/4	29198	1,800	
41	R・Pythonによる 統計データ科学	杉山高一・藤越康祝 監修	2020/2	24011	2,700	
◆アジア遊学						
* 42	240 六朝文化と日本—謝靈運という視座から	蔣義喬 編著	2019/12	22706	2,800	
43	241 源実朝—虚実を越えて	渡部泰明 編	2019/12	22707	2,800	
* 44	242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	22708	2,800	
45	243 中央アジアの歴史と現在—草原の叢書	松原正毅 編	2020/3	22709	2,400	
46	244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	2020/3	22710	3,200	
47	245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	22711	2,800	
48	246 和漢のコードと自然表象—十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	22712	2,800	
49	247 移動するメディアとプロパガンダ—日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代 編	2020/4	22713	2,800	

小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕

古文書の様式と国際比較

東アジア古文書学構築のために――

いまを生きるわれわれに歴史の一場面を伝えてくれる史料、古文書。そこに記された内容のみならず、文字の配置や大きさ、料紙の選択、印の位置など、「モノ」として残るその形もまた、

古文書の持つ様々な意味と機能を伝える貴重な情報源である。古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を、通史的・総合的に論じ、また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。日本の古文書の特徴を浮き彫りにし、東アジア古文書学の構築のための基盤を提供する画期的成果。

二〇一八年秋に国立歴史民俗博物館にて開催され、SNS等でも大きな話題となった企画展示「日本の中世文書——機能と形と国際比較」。その関連シンポジウムおよびフォーラムを一书にまとめた貴重な一冊。歴史ファン・古文書ファン待望の一冊。

掲載図版120点超！
カラー口絵では、
古文書の様式を
分かりやすく図解。

〔目次〕

口絵 図解でわかる文書様式

はじめに……………小島道裕

第1部 日本の文書様式とその変遷

1 古代の文書と中世への展開

古代日本における「文書」の誕生……………小倉慈司
「詔勅」における口頭伝達の役割……………仁藤敦史
中世日本における書状の広がり……………佐藤雄基
——古代書状論「公文書化」論を中心にして……………佐藤雄基

2 中世文書の諸相

将軍の文書と武士団の文書……………田中大喜
寺院文書の特徴……………横内裕人
——祭議文書の形成とその背景……………横内裕人

3 戦国大名の文書と近世への展望

戦国大名の文書と天下人の文書……………金子 拓
——北条氏の「虎の印判」は東アジア標準か……………小島道裕

第2部 東アジアの古文書と日本の古文書

1 韓国の古文書をめぐって

朝鮮王朝の国王文書……………川西裕也
朴 竣鎬(稲田奈津子訳)
日本と韓国の署名花押比較……………朴 竣鎬(稲田奈津子訳)
朝鮮時代における私人間の契約文書……………文 叔子(稲田奈津子訳)
——様式と特徴を中心に……………文 叔子(稲田奈津子訳)
東アジア古文書の中の画指……………三上喜孝

2 中国の古文書をめぐって

中国古文書学概論……………黄 正建(江川式部訳)
——公文書の様式研究を例に……………黄 正建(江川式部訳)
明清時代の「信牌」……………阿 風黄 素英訳)
日本古代における中国文書様式の受容と変容……………丸山裕美子

3 東アジアの文書と外交の文書

中世日本の往復外交文書……………荒木和憲
——十五、十六世紀の現存例を中心として……………荒木和憲
安南日越外交文書の様式と伝来……………藤田励夫
イルハン朝(モンゴル支配期イラン)の公文書……………四日市康博

総括 文書実践としての中世文書史……………高橋一樹
あとがき……………小島道裕
執筆者・翻訳者一覧

本体 **7,800**円(+税)
A5判上製カバー装
カラー口絵16頁+本文416頁
ISBN 978-4-585-22272-9 C3020
2020年3月刊行

<p>書名</p> <h2>古文書の様式と国際比較</h2> <p>小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕</p>	<p>部数</p> <p>本体7,800円(+税) A5判上製カバー装 カラー口絵16頁+本文416頁 ISBN978-4-585-22272-9 C3020 2020年3月刊行</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人

編

日本の表装と修理

装い、繕い、伝える——

絵画や書、古文書など、紙や絹を用いた文化財は、表装によって、より美しく、より長くその存在を守られ続ける。

これらの歴史的遺産を修理・保存し、伝えていくことは、込められた人々の思い・願いをも共有していく営みである。

表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに行われてきたものなのか。

文化財の修理・保存の第一線にあり、その困難な作業の中で、

技術者たちはどのような試行錯誤を重ねてきたのか。残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、

表装と修理にまつわる文化史を描き出し、今日の我々にとっての

文化財保護の意義と意味を照射する。

【編者プロフィール】

岩崎奈緒子（いわさき・なおこ）
京都大学総合博物館教授。専門は日本近世史。

中野慎之（なかの・のりゆき）
文化庁文化財第一課文部科学技官（絵画部門）。専門は美術史。

森道彦（もり・みちひこ）
京都国立博物館研究員（中世絵画）。専門は中近世絵画。

横内裕人（よこうち・ひろと）
京都府立大学教授。専門は日本中世史。

【目次】

はじめに
口絵
参考文化財の構造と名称

第一部 現代の装演・文化財修理

装演師の声を聞く
——技術者から見た装演文化財修理の進化◆岩崎奈緒子
表具師から装演師へ◆岡興造
古文書修理の歴史と理念◆湯山賢一

第二部 表装の文化史

日本中世の仏画の表装◆谷口耕生
「東山表具」の成立をめぐる小考◆板倉聖哲
江月宗玩による表具の記録と制作◆門脇むつみ
表装が伝えるもの——後水尾院縁の掛軸を事例として◆高田智仁
近代日本における中国書画蒐集と表装◆竹浪遠
近代日本画の材料と表装◆中野慎之

第三部 修理の文化史

平安時代の仏画制作とその修理◆増記隆介
前近代における書跡・古文書修理の諸相
——現状維持の理念をめぐる◆横内裕人
護持院隆光の寺社修理——元禄期の奈良を中心に◆古川攝一
近世における障壁画の保存と継承◆森道彦
近世ヨーロッパ美術と修復
——芸術作品の受容史の視点から◆平川佳世
あとがき
執筆者一覧



持人物肖像
絹本着色江戸時代（十九世紀）
（京都府蔵（京都文化博物館管理））

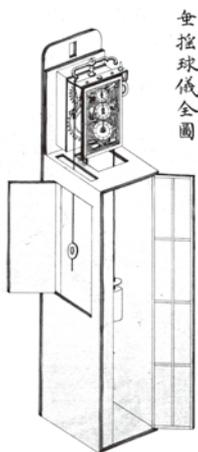
本体 7,000円(+税)

A5判上製・カラー口絵8頁+424頁
ISBN 978-4-585-20073-4 C1000
2020年3月刊行

書名	部数
<p>日本の表装と修理</p> <p>岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 [編]</p>	<p>本体 7,000円(+税)</p> <p>A5判上製・カラー口絵8頁+424頁 ISBN 978-4-585-20073-4 C1000 2020年3月刊行</p>
ご送付先ご住所（通信欄）	

医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界

陳捷 [編]



全控球儀全圖



全體脈管圖

知の沃野をひらく

東アジアの知の遺産、古典籍。

なかでも**医学・本草学・農学・科学**に関する書物は、
人びとの社会・生活に密着するものとして
広く流通・展開し、大きな一群をなしている。

これまで総合的に論じられることのなかった
東アジアにおける**情報伝達と文化交流の世界を、**
地域・文理の枠を越えて考究する画期的論集。

編者略歴

陳捷(ちん・しょう)

1963年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。

専門は中国古典文献学・書物交流史。

主著に『明治前期日中学術交流の研究—清国駐日公使館の文化活動』(汲古書院、2003年)、『人物往来と書籍流転』(中華書局、2012年)、『日韓の書誌学と古典籍』(共編、アジア遊学184、勉誠出版、2015年)などがある。

目次

まえがき

第一部 医学

- 日中韓越の医書流通と医学体系の形成●真柳 誠
- 『福田方』『悲田方』の構成と復元の可能性●浦山きか
- 日本における中国舌診書『敖氏傷寒金鏡録』の受容●梁嵘(黄昱・訳)
- 東アジア伝統医学の真髄
 - 朝鮮許浚の『東医宝鑑』●朴現圭(黄昱・訳)
- 国立公文書館所蔵の朝鮮通信使の医学筆談●梁永宣・李敏(小野泰教・訳)
- 崔漢綺が読んだ西洋医学書
 - Hobson(合信)の医書と崔漢綺の『身機踐験』●金哲央
- 清末の漢文西洋薬学書におけるアヘンの記述について●小野泰教

第二部 科学

- 『新製靈台儀象志』の受容●吉田 忠
- テキストの鏡影
 - 抜粋本と清初の暦算学●祝平一(高津 孝・訳)
- 18世紀朝鮮の実学者洪大容の『劉鮑問答』
 - 西洋科学知識受容の一断面●任正嫻
- 葛飾北斎『唐土名所之絵』と中国地図の受容●大澤顯浩

第三部 博物

- 経学註釈と博物学の間
 - 江戸時代の『詩経』名物学について●陳捷
- 近世中国知識人の博物学の再構築
 - 方以智『通雅』と『物理小識』を中心に●廖肇亨(千賀由佳・訳)
- 交錯する視線—南西諸島の博物学●高津 孝
- 青蒿と黄花蒿の名物学的研究
 - ラテン名比定の問題を中心に●久保輝幸

第四部 人と書物

- 平賀源内伝の再検討
 - 『平賀実記』を中心に●福田安典
- 洋学者・柴田収蔵と江戸の本屋●平野 恵
- 近世後期における地方知識層の書物交流
 - 伊藤忠岱の書写活動を中心として●清水信子
- 医籍専売書肆英蘭堂島村利助について●鈴木俊幸

あとがき

書 名	部 数
医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界 陳捷 [編]	本体12,000円(+税) A5判上製カバー装・456頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-20072-7 C3000
ご送付先ご住所 (通信欄)	

ほんちょうもんずいししょう

本朝文粹抄 六

後藤昭雄 [著]

日本漢文の粹を集め、

平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な文献「本朝文粹」。

その漢文の世界の深遠へと誘う格好の入門書。

第六巻では特殊な漢詩形式である雑詩のうち紀長谷雄および源順による二種、および、大学寮における試験の問題と解答である策問・対策、講書竟宴等の平安期の学問世界にかかわる作品など、全十一篇を収載。

【目次】

- 第一章 貧女吟(紀 長谷雄)——不幸な女の物語
- 第二章 夏日閑居、庭前の三物を詠ず(源 順)——越調詩
- 第三章 《策問》循良を詳らかにす(菅原輔正)——学問の文章(一)
- 第四章 《対策》循良を詳らかにす(大江挙周)——学問の文章(二)
- 第五章 第八皇子の始めて御注孝経を読むを聴く詩の序(菅原文時)——学問の文章(三)
- 第六章 後漢書竟宴の詩の序(紀 長谷雄)——学問の文章(四)
- 第七章 文選竟宴の詩の序(菅原文時)——学問の文章(五)
- 第八章 冷泉院の池亭に「花光水上に浮かぶ」を賦す詩の序(菅原文時)——学問の近くにある文章
- 第九章 仏性院に秋を惜しむ詩の序(源 順)——仏性院の詩宴
- 第十章 天台山円明房に月前に閑談すといふ詩の序(大江以言)——比叡山の詩会
- 第十一章 亀山の神を祭る文(源 兼明)——山の神に祈る

作者略伝／本朝文粹作品表／あとがき／索引

後藤昭雄 (ごとう・あきお)

一九四三年熊本市生まれ。一九七〇年、九州大学大学院修了。成城大学教授(二〇一三年まで)。主要著書に、『平安朝漢文学論考』(桜楓社、一九八一年。補訂版、勉誠出版、二〇〇五年)、『本朝文粹』(共著、新日本古典文学大系、岩波書店、一九九二年)、『平安朝漢文学史論考』(吉川弘文館、一九九三年)、『平安朝文人志』(吉川弘文館、一九九三年)、『日本詩紀拾遺』(吉川弘文館、二〇〇〇年)、『平安朝漢文学史論考』(勉誠出版、二〇一二年)、『本朝漢詩文資料論』(勉誠出版、二〇一二年)、『平安朝漢詩文の文体と語彙』(勉誠出版、二〇一七年)など。

書名		部数	
<h1>本朝文粹抄 六</h1> <p>後藤昭雄 [著]</p>		本体3,200円(+税) 四六判上製カバー装・312頁 2019年12月刊行 ISBN978-4-585-29224-1 C0095	
本朝文粹抄第一期 (一～五巻) セット本体 14,000円	セット	第一巻… 本朝文粹抄 978-4-585-05367-5 C0095 2006年12月 本体 2,800円	部
第三巻… 本朝文粹抄 三 978-4-585-29221-0 C0095 2014年7月 本体 2,800円	部	第二巻… 本朝文粹抄 二 978-4-585-05407-8 C0095 2009年2月 本体 2,800円	部
第四巻… 本朝文粹抄 四 978-4-585-29222-7 C0095 2015年10月 本体 2,800円	部	第五巻… 本朝文粹抄 五 978-4-585-29223-4 C0095 2018年8月 本体 2,800円	部
ご送付先ご住所 (通信欄)			

第21回
**紫式部学術賞
受賞!!**

長瀬由美〔著〕
**源氏物語と
平安朝漢文学**

交響する和と漢

平安時代の文人貴族にとつて、漢の思想・文化は、ある種の規範かつ憧憬の対象としてあった。なかでも白居易の詩文は、日本に舶載されて以来、広く愛され、日本の漢文世界に深く根をおろすとともに、『源氏物語』などの物語文学を育む豊かな土壌となった。

仮名文学が興隆して国風文化が開花し、また一方で、漢文学的な文化潮流が再興し、頂点に達した一条朝の時代——その時代に花開いた和漢の作品を丁寧に見込み、そこにあらわれる表現を丹念に分析することで、和の内なる漢のあり方、和漢の交響を文学史上に位置付ける。

〔著者プロフィール〕
長瀬由美（ながせ・ゆみ） 一九七五年生まれ。都留文科大学文学部国文学科教授。専門は平安朝文学。主な論文に『源氏物語と中唐白居易詩について』(二〇一四年パリシノンボジウム 源氏物語とポエジー)「青簡舎」(二〇一五年)、『源氏物語』准拠の手法と唐代伝奇・中唐の文学観(『中古文学』第95号、二〇一五年六月)、『源氏物語』と「長恨歌」——正編から続編へ(『源氏物語』煌めくことばの世界2)翰林書房、二〇一八年などがある。

目次

I 白居易の文学と平安中期漢詩文

- 第一章 一条朝前後の漢詩文における『白氏文集』諷諭詩の受容
 - 第二章 菅原文時「封事三箇条」について
 - 第三章 一条朝文人の官職・位階と文学
 - 第四章 一条朝の文人貴族と惟宗允亮
 - 第五章 源為憲詩を起点として
- 金澤文庫本『白氏文集』の訓から

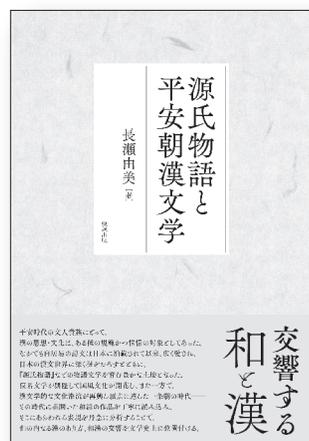
II 『源氏物語』と漢詩文世界

- 第一章 『源氏物語』准拠の手法と唐代伝奇・中唐の文学観
- 第二章 『源氏物語』と中国文学史との交錯
- 第三章 『源氏物語』と史書の接点——童謡の方法

III 白居易の文学と『源氏物語』

- 第一章 中唐白居易の文学と『源氏物語』
 - 第二章 『源氏物語』と「長恨歌」——正編から続編へ
 - 第三章 朝顔巻の紫の上——月と人と、白居易詩のこころへ
 - 第四章 荒廃した邸宅と狐
 - 付 章 『紫式部日記』の思考の姿
- 白居易詩「身」と「心」詠との関連において

あとがき／初出一覧／索引



本体七、〇〇〇円(十税)
A5判上製・三三六頁
二〇一九年二月刊行
ISBN978-4-585-29173-2 C3095

書名	部数
源氏物語と平安朝漢文学 長瀬由美【著】	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

本体7,000円(+税)
A5判上製・336頁
2019年2月刊行
ISBN978-4-585-29173-2 C3095

源氏物語の近世

俗語訳・翻案・絵入本でよむ古典

レベッカ・クレメンツ／新美哲彦【編】

古典受容のダイナミズム

写本・版本の流通量が爆発的に増えたことで、地方へからの情報の伝播、さまざまな階層への知の解放が行われた近世。それまでは貴族や大名、連歌師周辺で読み継がれていた『源氏物語』もまた、他の和歌集や物語類とともに、庶民に受け入れられていった。

『源氏物語』の俗語訳として最初に公刊された都の錦『風流源氏物語』、また、その続編として編まれた、梅翁(奥村政信)『俗解源氏物語』『若草源氏物語』『雛鶴源氏物語』『紅白源氏物語』の全篇を翻刻・注解、挿絵も全て収載。国内外の二級の研究者による優れた論考も併せて収載し、俗語訳・翻案・絵入本など、さまざまな形にうつしかえられ、広く古典が受容されていくダイナミズムを考察するための基盤を提供する。



もくじ

序
凡例

都の錦『風流源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：柿崎理恵子

解説●レベッカ・クレメンツ

梅翁『若草源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：大塚誠也

梅翁『雛鶴源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：平田彩奈恵

梅翁『紅白源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：大塚誠也

梅翁『俗解源氏物語』●校訂・注：新美哲彦 ●翻刻：伊永好見

解説●レベッカ・クレメンツ

論考

江戸時代における「俗語訳」の意義●レベッカ・クレメンツ
女性にふさわしくない本？

——十七世紀後半の日本における『源氏物語』と『伊勢物語』
●ビーター・コーニツキ(翻訳：常田慎子)

テキストの代替●マイケル・エメリック(翻訳：幾浦裕之)
梅翁／奥村政信『源氏物語』の挿絵とテキスト●新美哲彦

あとがき

【著者プロフィール】

Rebekah CLEMENTS (レベッカ・クレメンツ) Research Professor at Institutio Catalana de Recerca i Estudis Avançats (ICREA) and Universitat Autònoma de Barcelona. 研究教授(カタロニア高度研究施設兼バルセロナ自治大学)。専門は東アジアの近世史。主な著書『A Cultural History of Translation in Early Modern Japan (Cambridge: Cambridge University Press, 2015)』。論文に「*つづ*」の注釈書『江戸時代における『源氏物語』の初期俗語訳の意義(陣野英則・緑川真知子編『平安文学の古注釈と受容 第三集』武蔵野書院、二〇一一年)』、『Speaking in Tongues? Daimyo, Zen Monks, and Spoken Chinese in Japan, 1661-1711.』(Journal of Asian Studies 76.3, 2017) などがある。
新美哲彦 (にいみ・あきひこ) 早稲田大学教授。専門は日本中古文。著書に『源氏物語の受容と生成』(武蔵野書院、二〇〇八年)、論文に「定家本『源氏物語』研究の現在／今後(『新時代への源氏学』七) 複製化する源氏物語」(竹林舎、二〇一五年)、「池田本『源氏物語』巻末付載『奥入』について」(天理図書館報「ブリア」一四四号、二〇一五年) などがある。

本体 一、一〇〇〇円(+税)

A5判並製・七五二頁
二〇一九年七月刊行
ISBN978-4-585-29186-2 C3095

書名	部数
源氏物語の近世 俗語訳・翻案・絵入本でよむ古典 レベッカ・クレメンツ／新美哲彦【編】	部
ご送付先ご住所(通信欄)	部

本体 12,000円(+税)
A5判並製・752頁
2019年7月刊行
ISBN978-4-585-29186-2 C3095

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

六朝文化と日本

謝靈運しゃれい うんという視座から「アジア遊学240」

蔣義喬 [編著]

儒・道・仏に通じ博学多才の詩人・謝靈運

日本文学・中日比較文学研究として取り上げ、思想的な背景となった六朝期の仏教や道教にも目を向けつつ、日本文学における受容の軌跡を追い、六朝文化受容のあり方を体系的に検討した一冊。



「目次」

序言：蔣義喬

I ● 研究方法・文献

謝靈運をどう読むか——中国中世文学研究に対する一つの批判的考察：林暁光
謝靈運作品の編年と注釈について：呉冠文(訳・黄昱)

II ● 思想・宗教——背景としての六朝文化

「コラム」謝靈運と南朝仏教：船山徹
洞天思想と謝靈運：土屋昌明

III ● 自然・山水・隠逸——古代日本の受容

日本の律令官人たちは自然を発見したか：高松寿夫
古代日本の吏隠と謝靈運：山田尚子

IV ● 場・美意識との関わり

平安朝詩文における謝靈運の受容：後藤昭雄
平安時代の詩宴に果たした謝靈運の役割：佐藤道生

V ● 説話・注釈

慧遠・謝靈運の位置付け——源隆国「安養集」の戦略をめぐって：荒木浩
「コラム」日本における謝靈運「述祖徳詩」の受容についての覚え書き：黄昱

VI ● 禅林における展開

「蒙求」『靈運曲笠』をめぐって——日本中近世の抄物、注釈を通してみる謝靈運故事の展開とその意義：河野貴美子

VII ● 近世・近代における展開

日本中世禅林における謝靈運受容：堀川貴司
山居詩の源を辿る——貫休と絶海中津の謝靈運受容を中心に：高兵兵
五山の中の「登池上楼」詩——「春草」か、「芳草」か：岩山泰三

VIII ● 近世・近代における展開

俳諧における「謝靈運」：深沢真二・深沢了子
江戸前期文壇の謝靈運受容——林羅山と石川丈山を中心に：陳可冉

IX ● 謝靈運「東陽溪中贈答」と近世・近代日本の漢詩人

「コラム」謝靈運「東陽溪中贈答」と近世・近代日本の漢詩人：合山林太郎

「編著者紹介」

蔣義喬 (しょうぎぎょう)

北京師範大学外文学院准教授、早稲田大学日本古典籍研究所招聘研究員。専門は平安朝漢詩。

主な論文に「詠物詩から句題詩へ——句題詩詠法の生成をめぐって(和漢比較文学)三五号、二〇〇五年」、
「詠物と言志——『懐風藻』から勅撰三集に至る」(『日本における「文」と「ブンガク」(Bungaku)』)、「アジア遊学」一六二、勉誠出版、二〇一三年)、「菅原道真的詠物詩與杜甫詩歌の関連」(『日語学習與研究』二〇一八年第二号)などがある。

本体 2,800 円(+税)

A5判並製カバー装・224頁
ISBN978-4-585-22706-9 C1390
2019年12月刊行

書名	部数
六朝文化と日本 謝靈運という視座から 蔣義喬 [編著]	部
本体 2,800 円(+税) A5判並製カバー装・224頁 2019年12月刊行 ISBN978-4-585-22706-9 C1390	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

中国學術の東アジア伝播と 古代日本

〔アジア遊学242〕

榎本淳一・吉永匡史・河内春人 [編]

「東アジア文化圏」の実態解明のために――

學術(学問・芸術・技術)は、文化のみならず、

その時代の社会、支配のあり方を規定する力を持つ。

その動向・内実を知ることが、それぞれの時代・地域の

歴史の本質に迫るための重要な視点である。

なぜ、東アジア地域のみが長らく中国文化を

共有し続けたのか、中国文化を共有することに

どのような歴史的意義があったのか――

中国大陆に淵源をもつ學術が

周辺諸地域に広がり、根付いていった諸相をたどり、

東アジア文化圏の形成・展開の実態を明らかにする。

〔編者紹介〕

榎本淳一(えのもと・じゅんいち)

大正大学文学部教授。

主著に『日唐賤人制度の比較研究』(同成社、二〇一九年)など。

吉永匡史(よしなが・まさふみ)

金沢大学人間社会研究域准教授。

主著に『律令国家の軍事構造』(同成社、二〇一六年)など。

河内春人(こうち・はるひと)

関東学院大学経済学部准教授。

主著に『倭の五王 王位継承と五世紀の東アジア』(中央公論社、二〇一八年)など。

〔目次〕

序言：榎本淳一

I ● 中国における學術の形成と展開

佚名『漢官』の史料性格

――漢代官制関係史料に関する一考察：楯身智志

前四史からうかがえる正統観念としての儒教と「皇帝支配」

――所謂外戚恩沢と外戚政治についての学術的背景と
その東アジア世界への影響：塚本剛

王儉の學術：洲脇武志

魏収『魏書』の時代認識：梶山智史

『帝王略論』と唐初の政治状況：会田大輔

唐の礼官と礼学：江川武部

劉知幾『史通』における五胡十六国関連史料批評

――魏収『魏書』と崔鴻『十六国春秋』を中心に：河内 桂

II ● 中国學術の東アジアへの伝播

六世紀新羅における識字の広がり：橋本 繁

古代東アジア世界における貨幣論の伝播：柿沼陽平

九条家旧藏鈔本『後漢書』断簡と原本の日本将来について

――李賢『後漢書注』の禁忌と解禁から見る：小林 岳

古代東アジアにおける兵書の伝播

――日本への舶来を中心として：吉永匡史

陸善経の著作とその日本伝来：榎本淳一

III ● 日本における中国學術の受容と展開

『日本書紀』は『三國志』を見たか：河内春人

日本古代における女性の漢籍習得：野田有紀子

大学寮・紀伝道の学問とその故実について

――東坊城和長『桂葉記』桂林遺芳抄を巡って：濱田寛

平安期における中国古典籍の摂取と利用

――空海撰『秘藏宝鑑』および藤原敦光撰『秘藏宝鑑鈔』を例に
：河野貴美子

あとがき：吉永匡史・河内春人

本体 2,800 円(+税)
A5判並製カバー装・240頁
ISBN978-4-585-22708-3 C1322
2020年1月刊行

書名	部数
中国學術の東アジア伝播と古代日本 【アジア遊学No.242】 榎本淳一・吉永匡史・河内春人 [編]	部
本体 2,800 円(+税) A5判並製カバー装・240頁 2020年1月刊行 ISBN978-4-585-22708-3 C1322	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	



仏教の風
400年

法藏館

中古文学会 2020.5 特価販売カタログ

お申し込み締切り 2020年7月末日

対象書籍 経典・雑誌を除いた法藏館刊行の書籍全点

販売価格 **定価の20%割引** (公費払い可)

ご注文方法 最終ページのFAXご注文用紙に必要事項をご記入のうえ、
小社までお送り下さい。

お支払い方法 商品同送の振込用紙をご利用ください。
(公費利用の場合は、ご注文の際に必要な書類をお知らせください)

発送方法 ご自宅、ご勤務先へ直送いたします。

送料 割引後本体価格 5,000円未満→450円(税込)
割引後本体価格 5,000円以上→無料

※カタログ掲載書籍以外にも割引となります。
小社図書目録等をご参照のうえ、ぜひこの機会にお買い求め
下さい。

※割引適用は法藏館へ直接御注文いただいた場合に限り
ます。他の書店等でのご購入の場合は割引対象外とな
りますのでご注意ください。

※ご注文多数により、商品の発送が遅れる可能性がござ
います。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお願
い申し上げます。(お急ぎの際は、ご注文用紙にその旨
お示しいただくか、販促部までお知らせください。)

ご注文は

FAX:075-371-0458 まで!

お問い合わせ先

法藏館 販促部

〒600-8153

京都市下京区正面通烏丸東入

Tel: 075-343-0458 / Fax: 075-371-0458

HomePage: <http://www.hozokan.co.jp>



新装版 近代日本の親鸞 その思想史

福島和人著・四六判・296頁・本体2,200円＋税
ISBN:978-4-8318-6559-5

近代に澎湃とわき起こった親鸞ブーム。当時の歴史書や文学作品など多彩な研究に着目し、近代日本人の抱いていた親鸞像を描く。



行基と歩く歴史の道

泉森 皎著・四六判・297頁・本体2,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7720-8

奈良時代、近畿圏を中心に数々の社会事業を行った行基。近畿人も知らない関連社寺・遺跡・古道を、近畿を代表する考古学者が案内する。



ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集 第17号 明治時代の東大寺 近代化がもたらした光と影

GBS実行委員会号編・A4判・140頁・本体2,000円＋税
ISBN:978-4-8318-0717-5

時代が明治となって150年。1000年以上、奈良や東大寺が育んできた価値観を一変させた宗教の近代化を多角的にとらえた待望の一冊。



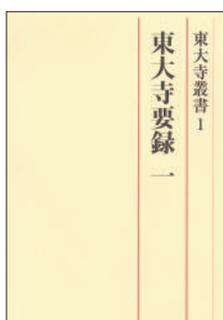
顔真卿伝

時事はただ天のみぞ知る

2刷

吉川忠夫著・四六判・203頁・本体2,300円＋税
ISBN:978-4-8318-7723-9

書聖・王羲之と並んで書道史上に名を留める顔真卿。その波乱の生涯を、中国文学・哲学・史学に通じた著者が描く本格評伝！



東大寺叢書 1

東大寺要録 一

東大寺史研究所編・A4判・400頁・本体30,000円＋税
ISBN:978-4-8318-5201-4

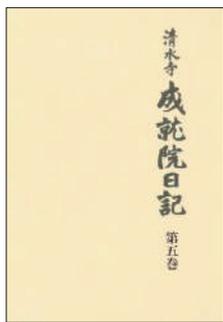
東大寺蔵の経巻・典籍などのフルカラー影印版シリーズ刊行開始！第一期は『東大寺要録』の巻第一・第二とその醍醐寺本、紙背文書を収録！



狩野君山の阿藤伯海あて 尺牘集

狩野直禎監修・杉村邦彦、寺尾敏江編・A5判・382頁
本体7,500円＋税・ISBN:978-4-8318-7721-5

中国学を牽引した君山狩野直喜が岡山の漢詩人阿藤伯海にあてた175通の未公開書簡を、直孫狩野直禎氏の注を付して翻刻紹介。



清水寺 成就院日記 第五巻

清水寺史編纂委員会編・A5判・416頁・本体9,000円＋税
ISBN:978-4-8318-5155-0

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用日記。第五巻は延享四年七月～寛延元年九月と『慈心院日記』を収録。

【既刊】 第一巻 元禄七年～宝永二年 第二巻 宝永三年～享保五年
第三巻 享保八年～元文五年 第四巻 元文六年～延享四年



明恵と龍になった女

谷口義介著・四六判・192頁・本体1,500円＋税
ISBN:978-4-8318-5649-4

鎌倉時代の名僧、明恵は女神像・善妙神を作った。その善妙神のルーツを求め韓国・中国を訪ね、善妙化龍説話の背景を探る。



鎌倉新仏教論と叡尊教団

松尾剛次著・A5判・552頁・本体12,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6066-8

鎌倉新仏教教団としての叡尊教団の位置づけを行い、畿内・北陸・関東・中国・四国地方への展開を解明した長年に亘る研究の成果。関東祈祷所、鎌倉極楽寺流の成立に関する論考、光明真言過去帳の翻刻を併録。



王漁洋 橋本循著作集 第三巻

橋本 循著・A5判・528頁・本体5,000円＋税
ISBN:978-4-8318-3733-2

中国清代初期に活躍した詩人である王漁洋の作品に詳細な訳注を付し、現代において最も多くの漁洋詩を味わうことができる一冊。

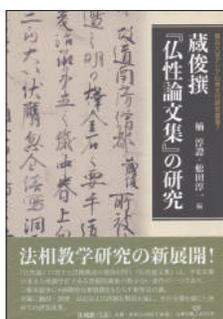
【既刊】 第一巻 中国文学思想管見 第二巻 詩経國風
第四巻 楚辭・雑纂



相国寺史 第一巻 史料編中世一

相国寺史編纂委員会編・原田正俊、伊藤真昭監修
A5判・950頁・本体9,000円＋税・ISBN:978-4-8318-5251-9

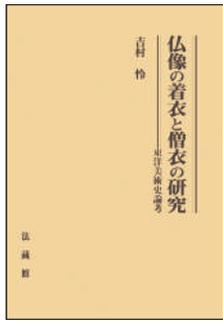
室町期の政治・文化に多大な影響力を誇った相国寺の歴史を通観！第一巻は、建治元年(1275)～文正元年(1466)までの関係史料を収録。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書7 蔵俊撰『仏性論文集』の研究

楠 淳澄、船田淳一編・A5判・423頁・本体15,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6375-1

平安末期の唯識学匠・菩提院蔵俊の新発見の著作『仏性論文集』全編に翻刻・訓読・註記および詳細な解説を施し、その全貌を論じる。



仏像の着衣と僧衣の研究 東洋美術史論考

吉村 怜著・B5判・390頁・本体18,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6238-7

徹底した作品観察と律蔵文献をはじめとする膨大な史料を駆使し、古代の仏像彫刻が纏っている衣の呼称や実態について明らかにする。



新装版 真言密教の基本 教理と行証

三井英光著・四六判・246頁・本体2,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6566-3

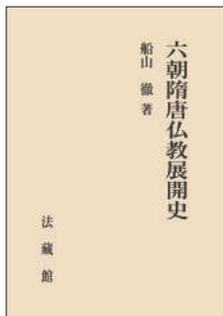
本書は嘗て高野山の寺報誌に連載した内容に、加筆修正して刊行された。「神秘体験の宗教」という真言密教について、教理と行証に分けて具体的に解説した類書のない1冊。



日本仏教史研究叢書 近世仏教の教説と教化

芹口真結子著・四六判・296頁・本体3,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6044-6

近世東本願寺教団の資料をもとに、江戸時代の教学論争の展開と、教説の流通の様相を検討して、近世宗教が持つ特質を解明する。



六朝隋唐仏教展開史

船山 徹著・A5判・556頁・本体8,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7724-6

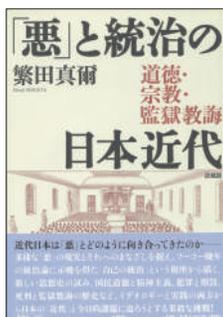
中国仏教の基盤が整備された六朝隋唐期の仏教史をインド仏教との関わりから捉え、中国仏教の新展開とは何であったかを明らかにする。



親鸞改名の研究

籠 弘信著・A5判・530頁・本体13,000円＋税
ISBN:978-4-8318-8769-6

親鸞が33歳のときに釈空から改名した名は「善信」だったのか？ 膨大な史料を駆使し、それが「親鸞」であったこと解明する、定説を覆す注目の書。



「悪」と統治の日本近代 道徳・宗教・監獄教誨

繁田真爾著・A5判・360頁・本体5,000円＋税
ISBN:978-4-8318-5558-9

近代日本の多様な「悪」の姿とそれへの対応を読み、フーコーの統治論に示唆を得た「自己の統治」の視座から近代日本と「悪」の葛藤を描く。



牛頭天王信仰の中世

鈴木耕太郎著・四六判・336頁・本体3,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6254-9

神でもなく仏でもなく、中世に突如として出現した牛頭天王。祇園社の祭神でもありスサノヲとも習合した謎多き信仰世界を読み解く。



時空を超えたメッセージ

龍谷の至宝

龍谷大学創立380周年記念書籍編集委員会編
A5判・208頁・本体1,500円＋税・ISBN:978-4-8318-6255-6

龍谷大学所蔵の重文を含む貴重資料を100点にわたりオールカラーで紹介!医学書から地球儀まで、多岐にわたる所蔵品の魅力に迫る。



貞慶撰 『唯識論尋思鈔』の研究 仏道篇

楠 淳澄著・A5判・750頁・本体13,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6377-5

鎌倉初期の著名な唯識学匠・貞慶が著した法相論義に関する総合書(論義抄)『唯識論尋思鈔』を詳密に読解し、その仏道論を闡明する。



法然と大乘仏教

平岡 聡著・四六判・216頁・本体1,800円＋税
ISBN:978-4-8318-6067-5

法然の教えを糾弾した「興福寺奏状」を、仏教学の視点から読み解き、法然の説いた仏教の独自性を解明する。

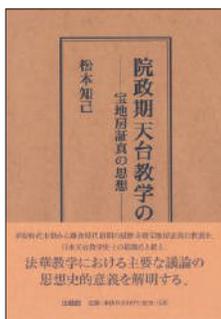


戦国仏教と京都

法華宗・日蓮宗を中心に

河内将芳著・A5判・372頁・本体7,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6252-5

公武の世俗権力や顕密寺社との関係から、戦国期京都で法華宗がたどった変化の軌跡と、「戦国仏教」としての特質にせまる待望の書。



院政期天台教学の研究

宝地房証真の思想

松本知己著・A5判・455頁・本体9,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7382-8

平安時代から鎌倉時代初期の延暦寺僧証真の教説を、日本天台教学史上の結節点と捉え、法華教学における思想史的意義を解明する。



梵文『維摩経』翻訳語彙典

植木雅俊著・B5判・1291頁・本体28,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-7023-0

サンスクリット原典の単語すべてを文法的に分析、現代語訳と訓読、綿密な注釈を施す。名著『梵漢対照・現代語訳 維摩経』の完全版。



空海思想とその成りたち

岡村圭真著作集 第一巻

岡村圭真著・A5判・389頁・本体4,800円＋税
ISBN: 978-4-8318-5690-6

弘法大師空海の計り知れぬ思想の解明へ、数十年に亘る論考を初集成。最近の研究動向を踏まえ密教思想を現代にどう生かすかを論じる。



慈雲尊者 その生涯と思想

岡村圭真著作集 第二巻

岡村圭真著・A5判・346頁・本体4,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-5691-3

ひたすらに正法の護持をめざし、「徹底した復古主義者」とされる慈雲尊者。その足跡を辿り近世を代表する仏教者の思想と魅力に迫る。

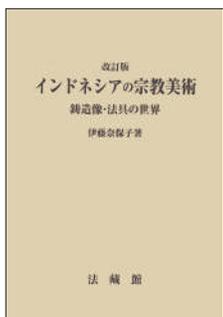


雅楽のコスモロジー

日本宗教式楽の精神史

小野真龍著・四六判・256頁・本体2,200円＋税
ISBN: 978-4-8318-6256-3

神仏や王権と密接に関わりながら、日本の宗教世界に影響を与えてきた雅楽。古代から近代までのその精神史を外観する稀有な成果！



改定版 インドネシアの宗教美術 鑄造像・法具の世界

伊藤奈保子著・B5判・330頁・本体14,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-6378-2

イスラム化以前のインドネシアに存在した仏教とヒンドゥー教の実態を、遺存する鑄造像・法具類をその様式・形式から分析・検討することにより解明した、総資料数1600点余の基礎研究の成果。



龍谷叢書50

唐・南山道宣著作序文訳註

大内文雄編訳・A5判・420頁・本体7,500円＋税
ISBN: 978-4-8318-7727-7

21篇の著作に道宣自らが著した序文に、釈文・訓読・訳註を付し、律師・仏教史家など多様な顔を持つ道宣の全体像を俯瞰する。



【法蔵館文庫】

増補 いざなぎ流 祭文と儀礼

斎藤英喜著・文庫判・518頁・本体1,500円＋税
ISBN: 978-4-8318-2601-5

高知の民間信仰「いざなぎ流」。祭文・法文・神楽・式王子の儀礼現場を解明し、陰陽道、民俗信仰研究の現在をアップデートする。



【法蔵館文庫】

老年の豊かさについて

キケロ著・八木誠一、八木綾子訳・文庫判・208頁
本体800円＋税・ISBN: 978-4-8318-2603-9

年を取ることに對する悲觀的通念を吹き飛ばし、老年の幸福を実例をあげて論証する、2000年読みつがれてきた老年のための幸福論。



【法蔵館文庫】

仏性とは何か

高崎直道著・下田正弘解説・文庫判・320頁
本体1,200円＋税・ISBN: 978-4-8318-2602-2

一切衆生とは、仏性とは何か。はたして全ての人に「ほとけ」になれる本性が具わっているのか。仏教を本当に知るための最重要論考。



龍谷大学アジア仏教文化研究センター
文化講演会シリーズ ③

修二会 お水取りと花会式 聖地に受け継がれし伝灯の法会

楠 淳證編・狭川普文、加藤朝胤著・四六判・118頁
本体1,300円＋税・ISBN: 978-4-8318-6432-1

お水取りと花会式として奈良で親しまれる修二会の世界を東大寺の狭川管長、薬師寺の加藤管主、仏教学者の楠氏が易しく解き明かす。



東大寺叢書 2

東大寺要録 二

東大寺史研究所編・A4判・392頁・本体30,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-5202-1

東大寺研究の最重要史料をフルカラー影印版にて提供するシリーズ第二巻。本巻は、東大寺本要録の巻第三～巻第六までを収録。



【法蔵館文庫】

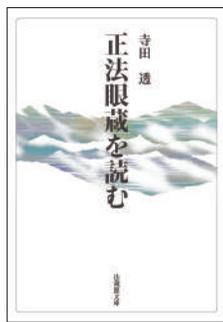
アマテラスの変貌

中世神仏交渉史の視座

佐藤弘夫著・文庫判・320頁・本体1,200円＋税
ISBN: 978-4-8318-2604-6

中世人は「あの世の仏」と「この世の神仏」という世界観に生きていた。従来の神仏習合論や本地垂迹論、顕密体制論の見直しを迫り、新たな宗教コスモロジー論を構築した名著。

【法蔵館文庫】



正法眼蔵を読む

寺田 透著・林 好雄解説・文庫判・592頁
本体1,800円＋税・ISBN:978-4-8318-2605-3

道元の『正法眼蔵』はどう読めるのか。多くの道元論を世に問うた著者による「語る言葉（パロール）」と「書く言葉（エクリチュール）」による「講読体書き下ろし」の読解書。



自然に学ぶ

白川英樹著・四六判・146頁・本体1,200円＋税
ISBN:978-4-8318-5714-9

豊かな創造性、旺盛な好奇心、本質に迫る洞察力などは生活に密着した学びのなかで育まれる——2000年ノーベル化学賞受賞者の著者が折々の想いを綴った随筆集。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書13

日本仏教と論義

楠 淳澄、野呂 靖、亀山隆彦編・A5判・628頁
本体7,500円＋税・ISBN:978-4-8318-6380-5

仏教学・歴史学・文学など多様な分野の最先端研究が、日本仏教で展開した教理問答の構想と思想的・文化的意義を浮き彫りにする。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書15

日本仏教の展開とその造形

道元徹心編・A5判・399頁・本体8,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6383-6

仏教は、教理と造形が相互に作用して発展してきた。国内外の研究者が中世を中心に思想と美術の両面から日本仏教の本質に迫る。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書16

最古の世界地図を読む

『混一疆理歴代国都之図』から見る陸と海

村岡 倫編・A5判・298頁・本体3,200円＋税
ISBN:978-4-8318-6385-0

最新の技術でよみがえった現存最古の世界地図、『混一疆理歴代国都之図』を初めて詳細に分析し、当時の人びとの世界認識を読みとる！



龍谷大学アジア仏教文化研究センター
文化講演会シリーズ ④

比叡山の仏教と植生

道元徹心編・四六判・214頁・本体1,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6433-8

比叡山は「日本仏教の母山」と呼ばれ、伝教大師の教えとともに類い希なる植生環境が息づいている。その思想・歴史・現在を報告する。



【法蔵館文庫】

地獄

石田瑞麿著・末木文美士解説・文庫判・318頁
本体1,200円＋税・ISBN:978-4-8318-2606-0

古代インドで発祥し、中国を経て、日本へとやってきた「地獄」の歴史と、地獄と共に展開した浄土信仰、「極楽」の歴史を、詳細に論じた恰好の地獄概説書。

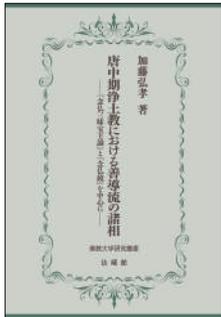


【法蔵館文庫】

王法と仏法 中世史の構図

黒田俊雄著・平 雅行解説・四六判・322頁
本体1,200円＋税・ISBN:978-4-8318-2607-7

強靱な論理力と斬新な学説で中世史の構図を一変させ、「武士中心史観」にもとづく中世理解に鋭く修正を迫った黒田史学。その精髓を示す論考を取めた不朽の名著。



佛教大学研究叢書 38

唐中期浄土教における善導流の諸相

『念仏三昧宝王論』と『念仏鏡』を中心に

加藤弘孝著・A5判・392頁・本体8,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6135-1

中国仏教史変革の時代に当たる唐中期に焦点を当て、とりわけ善導流の浄土教家の思想的特徴を中心に考察することで、唐中期仏教全体の様相を浮き彫りにしていく。



龍谷大学仏教文化研究叢書 39

源信撰『阿弥陀経略記』の訳注研究

村上明也、吉田慈順編・A5判・346頁・本体7,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6384-3

『往生要集』の著者・恵心僧都源信。その最晩年、彼の思想はどのように昇華したのか。現存する写本や刊本を完全網羅し、解題・訓読・補注・諸本校勘・原文・影印から『阿弥陀経略記』を詳解する。浄土教研究待望の一書。



お迎えの信仰 往生伝を読む

梯 信暁著・四六判・242頁・本体1,600円＋税
ISBN:978-4-8318-6068-2

命終のとき、阿弥陀仏がお迎えに来なければ極楽に往生できない？ 平安時代に著された「往生伝」を現代語訳し、貴族社会に芽生え、やがて社会の全体に広がった「お迎え」の信仰の光と闇に迫る。



【法蔵館文庫】

折口信夫の戦後天皇論

中村生雄著・三浦佑之解説・文庫判・354頁
本体1,300円＋税・ISBN:978-4-8318-2608-4

戦後、「人間」となった天皇に、折口はいかなる可能性を見出そうとしたのか。折口学の深淵を解説し、その理解に新地平を切り開いた力作。

2割引

2020年7月末まで

今回はFAXでのご注文のみ承ります。

	書名	著者名	注文数

お名前					
ご住所	〒				
お電話					
公費	有・無	現職		所属学会	
〈どちらかを○で囲って下さい。〉					
見積書	通	書類の宛名			
納品書	通	大学名			
請求書	通	個人名			
日付	要・不要				

三弥井書店

Miyaishoten



中古文学会 2020.5 学会員限定特別販売のご案内

特価期間 2020. 7月末日

価格 全品2割引

送料 実費

お支払方法 郵便局の払い込み用紙を同封いたします

ご注文方法 メール publish@miyaishoten.co.jp
電話 03-3452-8069
FAX 03-3456-0346

お問い合わせ メール publish@miyaishoten.co.jp
電話 03-3452-8069
FAX 03-3456-0346

◇ご注意

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせください。
- 3 送付先をお知らせください。
- 5 その他稼働在庫につきましては小社ホームページよりご確認ください。
右 QR コードからも読み取れます。



高畑勲をよむ 文学とアニメーションの過去・現在・未来

中丸禎子・加藤敦子・田中琢三・兼岡理恵編著

A5判・カバー装・312頁 定価：2800円＋税

「高畑氏の作品との関連」を共通のテーマとして、高畑映画自体を含む諸作品の表現のあり方・歴史・思想を対象に多様な文化を論じる「文化論集」。高畑氏インタビュー、小田部羊一氏・中島順三氏座談会の記録、人文系研究者の論文12本を掲載。これからの学術研究の可能性を視野に入れ、高畑氏のテレビアニメと映画、その原作となった文学作品、映画や文学を取り巻くメディア環境を分析する。

2020/4/13刊行

内容案内

◇シンポジウム◇「高畑勲の《世界》と《日本》」高畑勲氏インタビュー
「新しい表現には、まだまだ先があるはずだ」

コラム 秋水一斗 風狂のアニメーション 加藤敦子
◇座談会◇小田部羊一さん、中島順三さんを囲んで
高畑勲さんとアニメーション制作という仕事

コラム 日本アニメのレジェンドたちとの幸せな時間 田中琢三
◆商業アニメ制作用語集 ちばかおり、中丸禎子、大谷泰三

高畑勲と《日本》

火と幽霊―『火垂るの墓』のアニメーション化について 細馬宏通
コラム 「長じゅばん腰ひも」のゆくえ 中丸禎子

個を持った少女の憂愁―『おもひでぼろぼろ』『かぐや姫の物語』の時間の表象 西岡亜紀
走る女と忘れられた帝―『竹取物語』から『かぐや姫の物語』への継承と乖離 中野貴文
「五コマ目」を紡ぐ

―四コマ漫画『ののちゃん』から『ホーホケキョ となりの山田くん』へ
物語・風流・浄瑠璃―芸能から読む『平成狸合戦ぽんぽこ』 兼岡理恵
『平家物語』読者としての高畑勲―アニメーション映画監督としての感性 加藤敦子
鈴木 彰

高畑勲と《世界》

◆桜井利和旧蔵ハイジ関連資料 大谷泰三
マルコはハイジと夢を見る―高畑勲による海外児童文学のテレビアニメ化とその演出 ちばかおり
放送劇音楽としての『母をたずねて三千里』付随音楽 井上征剛
「わたしはおうきくなりたくない」

―アストリッド・リンドグレーン『長靴下のピッピ』における赤毛と靴と長靴下 中丸禎子

◆高畑さんからひとこと
ブックガイドから見た「世界」の「文学」―無着成恭の選定と岩波・福音館の児童書 佐藤宗子
幻燈劇としてのゲーテ『ファウスト』―視覚文化史をみわたしつつ 縄田雄二
高畑勲とフランス文学―『ことばたち』と『木を植えた男を読む』をめぐって 田中琢三
高畑勲 関連年表 田中琢三



ISBN978-4-8382-3366-3

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

送り先・書類の宛先

●条件●注文 返品条件付 FAX **03-3456-0346**

ご注文数
冊

高畑勲をよむ

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください

伊勢物語 現代語訳・索引付

大井田晴彦 校注

A5判・上製・335頁 定価：本体4500円＋税

日本文学史上、最も親しまれてきた古典作品の一つである『伊勢物語』。文学のみならず、美術、芸能など、さまざまな領域に多大な影響を与えてきた。

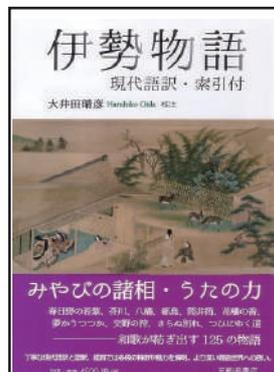
現代語訳：本文に忠実であるだけでなく本文と現代語訳を上下に配し適宜語句を補い、単独でも味読できる形式を工夫。

語釈・補注：語義・文章表現・和歌の他出・典拠・時代背景・人物考証など、本文理解に必要な事項について説明。

鑑賞：各段の特徴や魅力について、いっそう理解を深めるべく、より踏み込んだ読解を試みる。

解説：『伊勢物語』の全体像や文学史的意義、在原業平の人物像など、本質的かつ重要な問題について示す。

2019/10/11刊行



ISBN978-4-8382-3356-4

諏訪信仰の歴史と伝承

二本松康宏 編

A5判・カバー装・260頁 定価：本体2800円＋税

歴史学・伝承学・考古学・民俗学の多岐にわたるジャンルから視線を注ぎ、中世神話の奔流から諏訪信仰を鳥瞰。今、新たな「諏訪学」を問う。カラー掲載による新出写本『神氏系図』、『諏訪信重解状』、『諏訪講之式』、『伊那古大松原大明神縁起』の全文本文翻刻など、資料も豊富に掲載。

内容案内

【目次】

諏訪学への道しるべ(二本松康宏)

遺跡と寺院創建伝承にみる中世前期の諏訪地方(柳川英司)

『広疑瑞決集』と殺生功德論(中澤克昭)

細川氏内衆丹波上原氏と諏訪信仰

—諏方同名氏族の一族分業論(村石正行)

『諏訪大明神絵詞』成立についての試論

—室町幕府奉行人諏訪円忠の絵巻制作(石井裕一郎)

『諏訪信重解状』の新出本と『諏方講之式』

—大祝家文書の中の諏訪縁起—(二本松泰子)

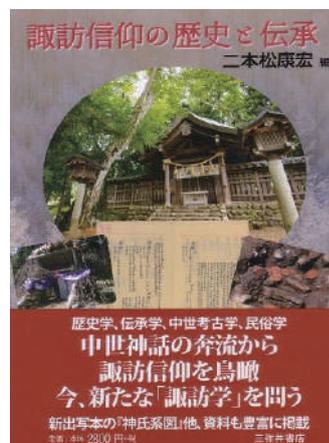
諏訪縁起の再創生—『伊那古大松原大明神縁起』の情景—(二本松康宏)

諏訪信仰における野焼きと集団狩猟(永松敦)

◆資料紹介◆

諏訪市博物館所蔵大祝家文書『神氏系図』影印(二本松康宏)

2019/1/17刊行



ISBN978-4-8382-3344-1

絵解く 戦国の芸能と絵画

描かれた語り物の世界

小林健二編 B5判・カバー装・216頁 定価：3500円＋税

室町後期に語り物芸能として愛された幸若舞曲。16世紀末には絵巻や絵本などの絵入り物語として広く享受された。

語り物芸能が絵画化し、流布する様相と文化史的意義を、国文学と美術史学の視点で解明。カラー版で紹介する。

未紹介資料として、個人蔵『源義経一代記図屏風』、手銭記念館蔵『烏帽子折物語絵巻貼付屏風』を収録。巻末に「幸若舞曲絵入本一覧」を付す

内容案内

2020/3/19刊行

◆序論 描かれた語り物の世界

『源義経一代図屏風』を読む 小林健二

手銭記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻 桑汐里

◆平家物語図扇面画帖を読む

海の見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」について

―場面解釈と本文離れをめぐる検討― 鈴木彰

江戸時代前期の平家物語図扇面について

―海の見える杜美術館所蔵「平家物語扇面画帖」を中心に― 龍澤彩

◆幸若舞曲・古浄瑠璃を描く

語り物系絵巻をめぐって―附『堀江物語絵巻』断簡四枚紹介― 石川透

ベルリン国立アジア美術館蔵《烏帽子折絵巻》―分析と分類― 酒井公子

江戸前期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作

―「大織冠」と「敦盛」を例として― 恋田知子

風俗表現と物語絵―『むらまつ』の場合― 齋藤真麻理

◆絵師と筆者

狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作 谷川ゆき

作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について 下原美保

賀茂別雷神社若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納 海野圭介

◆付篇

幸若舞曲絵入り本一覧



ISBN978-4-8382-3364-9

お問い合わせ

FAX 03-3456-0346

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

ご注文数
冊

貴店印

送り先・書類の宛先

私費 公費 いずれか〇を付してください

室町物語の形象

怪奇ロマンとユーモア

沢井耐三 著

A5判・上製・374頁 定価：本体8800円＋税

妖怪や本地物、異類婚など様々な「怪奇」と、常識はずれや誇張、言葉遊び、風刺などの辛辣でブラックな「笑い」を軸に、豊饒、多岐な室町のお伽草子世界の魅力に迫る。

目次

はじめに

第I章 怪奇と風雅の間

『うたたねの草子』—二人同夢の怪異と浮舟残像—

『鼠草紙』—人獣交姦の悲劇、隠された身上書—

『浅間の本地』—さまよえる物語の中世・近世—

第II章 説話的空間

『狐の草子』—狐媚と賀陽良藤説話—

『幻夢物語』—稚児の敵討と枯骨報恩説話—

大阪市立美術館蔵 『化物草紙』

—絵画化された『今昔物語集』の怪奇説話—

『音なし草紙』再論 —親王とは誰か？ 教訓か、艶笑か—

第III章 異類の小宇宙

『ふくろふ』—艶書における謎々とレトリック—

フクロウ物語の系譜

—『鴉鷺合戦物語』・『ふくろうの草子』・『あだ物語』—

『鼠猫論』—猫と鼠、火花散らす論争—

『医文車輪書』—戦国武将の医術とユーモア—

『鴉鷺合戦物語』—空想と風刺のいくさ物語—

『精進魚類物語』—流布本再評価・山科言継本の周辺—

第IV章 歴史と文学の間

『見聞諸家紋』編者考 —「石井康長」という人物について—

『家忠日記』の戯画 —撃鬻救児図・文字絵の人丸ほか—

物売りの呼び声 —「菜かう」「菜さう」「菜かはう」—

『永正五年狂歌合』注解 —困窮する公家たちの自嘲のうた—

第V章 資料翻刻

大阪市立美術館蔵 『化物草紙』

『鳥物語』（『ふくろふ』）

『浅間由来記』（『浅間の本地』） 架蔵

『武田実記』愛知県新城市・鳳来寺蔵

2020/1/10 刊行



ISBN978-4-8382-3358-8



室町物語研究 絵巻・絵本への文学的アプローチ

沢井耐三 著

A5判・390頁・定価：8400円＋税

成立・読者層の異なる短編の物語作品を丁寧に読み解き、物語世界に表現される中世の思想や民俗・文化、人々の生活の様相を垣間見る。

室町物語と古俳諧 室町の「知」の行方

沢井耐三 著

A5判・390頁・定価：8400円＋税

中世、室町時代に生まれた知的な「笑いの文学」世界を探求する、室町末期の下克上の価値観を反映して生まれた俳諧文学の系譜を、『和漢狂句』から貞徳俳諧初期に探る。巻末には初の『筆結の物語』全文翻刻をはじめ四種の翻刻資料を収載。

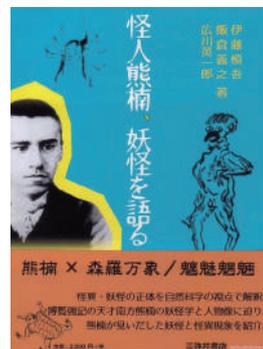
怪人熊楠、妖怪を語る

伊藤慎吾・飯倉義之・広川英一郎 著

B5判・並製・126頁 定価：本体2300円＋税

怪異・妖怪の正体を自然科学の視点で解釈を試みた博覧強記の天才南方熊楠。 実地調査や自然観察、国内外の書物から得た知識に裏打ちされた熊楠の妖怪学と、それにより発見された妖怪と怪異現象を紹介する。 蔵書や抜書帳に記されたメモの類・珍しい資料を用いて、南方熊楠の人物像にも迫る一書。

2019/8/30刊行



内容案内

熊楠が聞いた妖怪出没地めぐり

妖怪を科学し、東西を比較する眼差し (伊藤慎吾)

熊楠と紀南の妖怪 (広川英一郎)

熊楠の妖怪研究 (伊藤慎吾)

南方熊楠の「科学する眼」と怪異・妖怪 —科学の目で見ると民間伝承— (飯倉義之)

熊楠妖怪名彙／熊楠妖怪関連年表／熊楠妖怪関連年表

ISBN978-4-8382-3354-0

イソップ絵本はどこからきたのか 日英仏文化の環流

加藤康子・三宅興子・高岡厚子著

B5判・カバー装・202頁

定価：本体3000円＋税

中世の挿絵に端を発したイギリスとフランスのイソップ絵本。 室町時代にキリスト教宣教師が伝え「伊曾保物語」として刊行、日本風にアレンジされた日本のイソップ絵本。 ストーリーや教訓、登場する動物の違いを比較し、お国柄があらわれる、色彩豊かな絵と文章による表現の個性を堪能してください。

2019/5/30刊行



内容案内

◆第1部 「イソップ寓話」受容の歴史

『エソポのハブラス』(1593)から始まって多様な受容へ (加藤康子)

カクストンから動物画家の活躍の場へ、絵本へ (三宅興子)

「イソップ寓話」からラ・フォンテーヌの『寓話』へ (高岡厚子)

◆第2部 日本の「イソップ絵本」から

講談社と小学館のイソップ絵本 (加藤康子)

「金の斧、銀の斧」の神さまの姿 (三宅興子)

◆第3部 「イソップ寓話」500年のあゆみから

日本の狐の擬人化 (加藤康子)

明治初期に翻訳されたイギリスの「イソップ寓話」二書をめぐって (三宅興子)

「イソップ寓話」の伝播をめぐって (高岡厚子)

◆座談会 イソップ寓話の国際比較と取り組んで

ISBN978-4-8382-3350-2

幸若舞の展開 芸能伝承の諸相

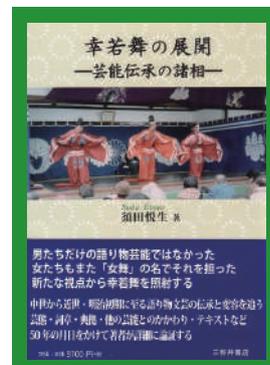
須田悦生著 A5判・カバー装・388頁 定価：9700円＋税

中世から近世・明治初期に至る語り物文芸の伝承と変容を、芸態・詞章・典拠・他の芸能とのかかわり・テキストを詳細に紐解き、新たな視点から照射する。

内容案内

- 第1章 幸若舞の形成／第2章 幸若舞芸能集団の活動／
第3章 幸若舞作品の構成／第4章 『平家物語』と幸若舞作品／
第5章 『曾我物語』と幸若舞作品／第6章 戦国軍記と幸若舞／
第7章 古浄瑠璃等と幸若舞／第8章 「女舞」と幸若舞の変容／
第9章 甲斐で書写された幸若舞テキスト
第10章 キリシタン資料と幸若舞テキスト
索引（曲名・項目名）

2018/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3342-7

在外絵入り本 研究と目録

山下(高橋) 則子編 B5判・上製・388頁 定価：本体13800円＋税

近世絵入り本を多数収録する、在伊古典籍目録を厳密に作成し、近世絵入り本研究進展のためのツールである。さらに在外稀観本を利用した先進的研究論考7本を付載し、海外に所蔵される絵入り本の研究上の有意性を示した。

内容案内

序（ロバートキャンベル）

はじめに（山下則子）

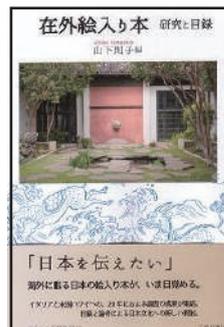
第一部 ホノルル美術館（リチャード・レインコレクション）
等に所蔵される在外絵入り本—善本の紹介と考察—

- ◇絵入折手本（浅野秀剛）
- ◇『たまひろひ』と『山城名勝風月集』、そして『都名所画譜』（伊藤善隆）
- ◇桃隣舎文辰著『池西言水四季独吟評釈』について（伊藤善隆）
- ◇ホノルル美術館蔵黄表紙『積孝雪振袖』（『敵討政五郎話』）影印・翻刻（二又淳）
- ◇レインコレクション『獣絵本つくし』の研究（山下則子）
- ◇ボストン美術館蔵、北斎筆、未刊読本挿絵『大日本将軍記初輯』について（浅野秀剛）
- ◇マリオ・マレガ文庫蔵黒本『眉間尺』（山下則子）

第二部 在伊日本古典籍—目録と解題—

- ◇サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録
- ◇「サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録」補遺 碑文谷教会旧蔵書目録
- ◇ヴェネチア東洋美術館所蔵日本書籍及び関連資料目録
- ◇ナポリ国立図書館ルッケージ・パッリ文庫所蔵日本古典籍目録
- ◇ジェノヴァ市キオッソーネ東洋美術館 善本解題・目録
- ◇在伊日本古典籍目録初出雑誌一覧
- ◇在伊日本古典籍目録 索引

2019/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3355-7

中国神話の深層 天地の循環 曼荼羅の世界

百田弥栄子著 A5判・カバー装・738頁 定価4500円+税

中国少数民族に脈々と伝承される神話世界。洪水神話と射日神話を軸に、様々な神話が有機的に結びつく伝承曼荼羅の構造をひもとき、根底に存在する人間の営みの本質・不変の真理へと導く。

2020/3/19刊行

内容案内

◆一 龍とその周辺◆

龍をめぐる神話／天女と龍女と白い鳥／龍脈をたどる馬／他

◆二 雷神と観音と山神の周辺◆

鶏身の雷神から観音への展開／雷神と観音と山神と／他

◆三 洪水神話と射日神話の周辺◆

射日・招日神話にかかる鍛冶文化の諸相／人類起源神話と洪水神話／

射日神話／中国の女神をめぐる文化—長江以南を目配りして—／

中国少数民族の創世神話／彝族系諸族の経典に見る神話の継承

◆四 神樹とその周辺◆／◆五 銅鼓とその周辺◆

◆六 蓑笠とその周辺◆／◆七 難題とその周辺◆／◆八 盤古と槃瓠の周辺◆他



ISBN978-4-8382-3363-2

現代に共鳴する昔話 異類婚・教科書・アジア

石井正己著 46判・カバー装・230頁 定価2800円+税

小説のテーマ、いじめへの対抗、戦争の記憶、教育の現場など、急速な情報化と国際化がすすむ現代社会で、ますます浸透する無形文化遺産としての昔話の存在から、日本人の想像力について考える。

2020/3/19刊行

内容案内

異類婚・教科書・アジアの昔話

異類婚姻譚の系譜

いじめと昔話の対抗力

戦争と昔話—井上ひさし『父と暮せば』—

現行教科書と昔話

柳田国男とグローバル研究—『遠野物語』と『昔話覚書』—

昔話研究の未来をどう考えるか—柳田国男『昔話覚書』から—

昔話研究の現状と展望

無形文化遺産と日本



ISBN978-4-8382-3360-1

現人神となる神事 天皇・出雲国造・諏訪上社大祝

丸山顕誠著 46判・カバー装・240頁 定価2500円+税

現人神と神話の関係、現人神たちの宗教的な位置づけを論じる。人が現人神になるときの宗教的な作法や根拠を探求する。大嘗祭、火継神事、職位式を比較し、現人神の神話・歴史・宗教・祭祀的実像に迫る。

2020/2/28刊行 ISBN978-4-8382-3359-5

妖精の棲む島 アイルランド

自然・歴史・物語と旅する

渡辺洋子 著 46判・カバー装・312頁 定価：2700円＋税

アイルランドの南西、南東部の豊かな自然や建造物、歴史的遺産や人々に脈々と受け継がれる文化風習を訪ねながら、歴史のドラマや物語に耳を傾け、長い歴史の流れを探る。第2部では、農民たちが綿々と語り継いだ妖精伝説の不思議な世界を読み進める。

内容案内

4月23日朝日新聞一面サンヤツ掲載

第一部 アイルランドを旅する

2020/4/13刊行

第一章 コーク市近郊

1 国際都市コーク / 2 コーク市のお膝元の古い観光地 / 3 移民を送り出した港

第二章 中世の面影を残すコーク県東部の町

1 美しい城と庭園の町 / 2 中世の港町の面影を今に伝える町

第三章 コーク県南西海岸に行く

1 歴史のイメージから変身したおしゃれな観光地

2 出入りの多い海岸線に点在する町や村を訪ねる / 3 美しい館のある保養地

第四章 ケリー県 海に突き出た三つの半島

1 観光ルートから離れ手つかずの自然が残る秘境 / 2 古くからの観光地

3 ケリー県で最も人気の半島

第五章 内陸の重要な町

1 グル湖周辺と中世の町アデア / 2 岩山に えるキリスト教の歴史の殿堂

3 中世には事実上の首都だった古い町 / 4 聖フリジッドの大聖堂と国立のサラフレッド飼育場

第六章 南東海岸に行く

1 イギリスの植民地の歴史はここから始まった / 2 反乱者が結集した町

第七章 「アイルランドの庭」ウィックロウ

ウィックロウ山塊

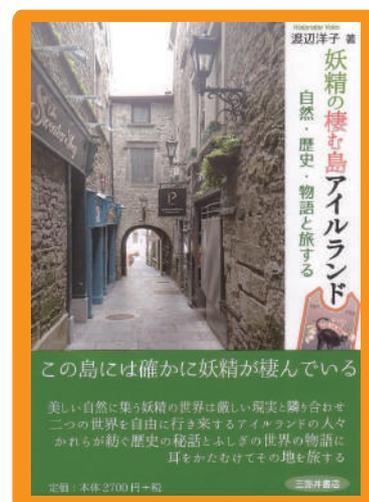
第八章 首都ダブリンへ

スロローグ ダートに乗ってダブリン都心へ / 1 ダブリンの歴史 / 2 ダブリン市散策

第二部 アイルランドの妖精伝説を読む——不思議なものたちの世界

第一章 ザ・ナショナル・フォークロア・コレクション

第二章 アイルランドの妖精伝説を読む



ISBN978-4-8382-3365-6

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

送り先・書類の宛先

●条件●注文

返品条件付

FAX 03-3456-0346

ご注文数

冊

妖精の棲む島 アイルランド

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください

学会注文書

三弥井書店

publish@miyaishoten.co.jp

電話 03-3452-8069

FAX 03-3456-0346

♪本紙で御注文いただければ学会割引でお届けいたします。

メール、ホームページからのご注文の際は**学会員限定販売**と記してください。

書名	著者	本体価格	特別価格	注文部数	公費・私費
高畑勲をよむ	中丸禎子他	2800	2464		
伊勢物語	大井田晴彦	4500	3960		
絵解く 戦国の芸能と絵画	小林健二	3500	3080		
室町物語の形象	沢井耐三	8800	7744		
怪人熊楠、妖怪を語る	伊藤慎吾他	2300	2024		
イソップ絵本はどこからきたのか	加藤康子他	3000	2640		
在外絵入り本	山下則子	13800	12144		
妖精の棲む島アイルランド	渡辺洋子	2700	2376		
現代に共鳴する昔話	石井正己	2800	2464		
中国神話の深層	百田弥栄子	4500	3960		
諏訪信仰の歴史と伝承	二本松康宏	2800	2464		
幸若舞の展開	須田悦生	9700	8536		
世界の教科書に見る昔話	石井正己	1700	1496		

書名

※その他、ご希望書籍がございましたらお知らせ下さい。

お名前

〒

TEL

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入ください。）

日付：要・不要

書類の宛名：

見積書 通・納品書 通・請求書 通

武蔵野書院

中古文学会会員様向け特設サイト

2020年5月24日～7月31日

このサイトからのご注文に限り書籍を、
学会割引(税込定価の2割引) + 送料無料
にてご注文いただけます。

ご注文方法

1. **A** 書籍名をクリックする、**B** 書籍QRコードを読み取る、
C 最後のページの注文書で、FAXやメール等で注文する。
A～C のいずれかの方法でご注文ください。
2. **A・B** でご注文の際は中古文学会会員である旨を明記ください。

お支払方法

1. ご注文いただいた書籍をお送りする際に同梱する、郵便振込用紙にてお支払ください(振込手数料小社負担)。銀行振込でも承りますが、その際は振込手数料をご負担いただきます。
2. 公費注文の場合、宛名・日付の有無・納品 / 見積 / 請求書の枚数をお知らせください。

***** ご注文・お問い合わせ先 *****

武蔵野書院

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11

TEL 03-3291-4859 FAX 03-3291-4839

e-mail: info@musashinosho.in.co.jp

源氏物語生々流転 論考と資料

著者架蔵の『源氏物語』関係
の新出古筆切資料を多数掲載

池田和臣〔著〕

最新刊

ISBN：978-4-8386-0729-7・本体 16000 円

A5 判上製カバー装・540 頁



仮名で物語を書くことには、どのような問題がはさまれていたのか。革新的で多様な方法、深い認識と思想、個性的な人間造型など、『源氏物語』の独自の世界形成はどのようにして獲得されたのか。『源氏物語』作者紫式部が、自らに先立つ文学的伝統—仮名表記史あるいは文学史の状況—とどう向かい合い格闘したのかを、様々な側面から考える。



平安文学の人物と史的世界

最新刊

—随筆・私家集・物語—

高橋由記〔著〕

ISBN：978-4-8386-0726-6・本体 12000 円

A5 判上製カバー装・438 頁



平安文学に描かれた貴紳・後宮・女房の実像を、漢文記録類・諸家集の読み解きから探る粘り強い試み。『枕草子』や『栄花物語』が何を描き、何を描かなかったか、文学作品の特異な手法が見えて来る。漢文日記や名家秘蔵の家集類が一齐に公開、刊行、施注されてきた近年の学界状況に柔軟、貪欲に挑み、これまで空白だった後宮空間の歴史が豊かに再現される。



次世代に伝えたい新しい古典

最新刊

—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて

井上次夫 / 高木史人 / 東原伸明 / 山下太郎〔編〕

ISBN：978-4-8386-0655-9・本体 2000 円

A5 判並製カバー装・272 頁



上代文学「古事記」から近代文学「土」までの日本文学、そして国語教育、日本文化に「令和」の視点からいま、新しい光を当てる。



平安中期和歌文学攷

最新刊

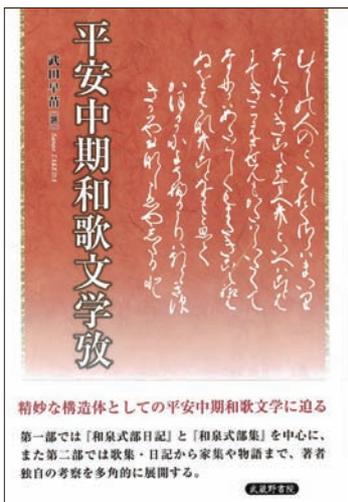
武田早苗〔著〕

ISBN：978-4-8386-0725-9・本体 11000 円

A5 判上製カバー装・408 頁



第一部では『和泉式部日記』と『和泉式部集』を中心に、また第二部では歌集・日記から家集や物語まで、著者独自の考察を多角的に展開し、精妙な構造体としての平安中期和歌文学に迫る。





源氏物語三条西家本の世界

最新刊

—室町時代享受史の一様相

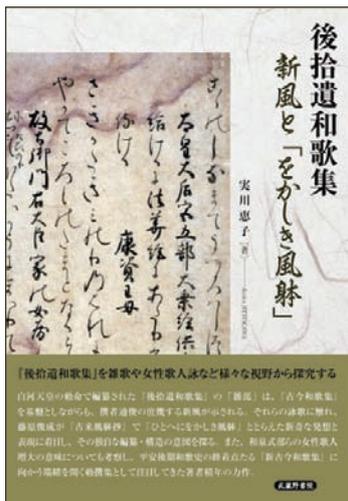
上野英子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0724-2・本体 12500 円

A5 判上製カバー装・450 頁



室町時代に、三条西家の源氏物語本文がどのようにして形成されていったのか。三条西家における源氏物語研究の位相を、現存諸本の書誌や本文状況、各種日記、注釈書といった諸方面から多角的に分析し、体系的に跡付けようとする試み。



後拾遺和歌集 新風と「をかしき風躰」

実川恵子〔著〕

最新刊

ISBN：978-4-8386-0728-0・本体 8800 円

A5 判上製カバー装・220 頁



『後拾遺和歌集』の「雑部」は、『古今和歌集』を基盤としながらも、撰者通俊の庶幾する新風が示される。それらの詠歌に触れ、藤原俊成が『古来風躰抄』で「ひとへにをかしき風躰」ととらえた新奇な発想と表現に着目し、その独自の編纂・構造の意図を探る。また、和泉式部らの女性歌人増大の意味についても考察し、『新古今和歌集』に向かう端緒を開く勅撰集として注目してきた著者積年の力作。



文学としてのマンガ

最新刊

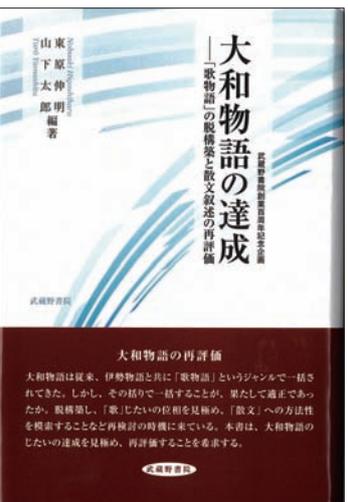
山田利博〔著〕

ISBN：978-4-8386-0488-3・本体 2000 円

四六判並製カバー装・248 頁



文学とはなにか。それは「作者」が「想像力」によって「虚構の世界を作り」「思想」や「感情」を表現したものではないのか。絵であらわされているか、文字であらわされているかはさほど問題ではない。その証拠に、マンガは特に古典文学に通ずるところがある。マンガを読もう。あわせて古典などの文学も読もう。それがどちらもさらに面白く読むコツだといえよう。



大和物語の達成

最新刊

—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価

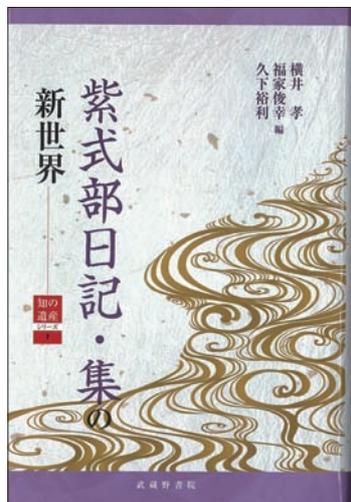
東原伸明
山下太郎〔編著〕

ISBN：978-4-8386-0490-6・本体 3000 円

四六判上製カバー装・400 頁



大和物語は従来、伊勢物語と共に「歌物語」というジャンルで一括されてきた。しかし、その括りで一括することが、果たして適正であったか。脱構築し、「歌」じたいの位相を見極め、「散文」への方法性を模索することなど再検討の時機に来ている。本書は、大和物語のじたいの達成を見極め、再評価することを希求する。



紫式部日記・集の新世界 既刊分も好評発売中!

知の遺産シリーズ⑦

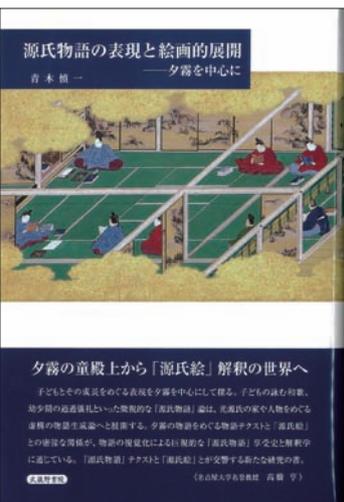
横井 孝 / 福家俊幸
久下裕利〔編〕

最新刊

ISBN : 978-4-8386-0489-0 ・ 本体 3000 円

四六判並製カバー装 ・ 280 頁

⑥狭衣物語の新世界 ⑤宇治十帖の新世界 ④堤中納言物語の新世界



源氏物語の表現と絵画的展開

—夕霧を中心に—

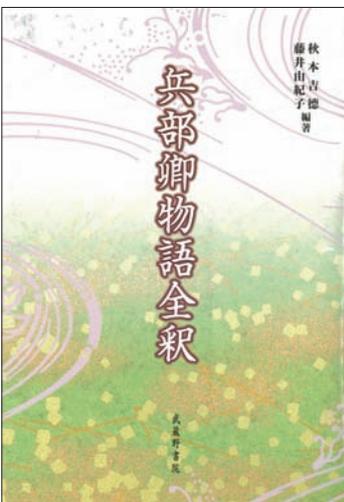
青木慎一〔著〕

ISBN : 978-4-8386-0720-4 ・ 本体 12000 円

A5 判上製カバー装 ・ 378 頁



子どもとその成長をめぐる表現を夕霧を中心に探る。子どもの詠む和歌、幼少期の通過儀礼といった微視的な『源氏物語』論は、光源氏の家や人物をめぐる虚構の物語生成論へと展開する。夕霧の物語をめぐる物語テキストと「源氏絵」との密接な関係が、物語の視覚化による巨視的な『源氏物語』享受史と解釈学に通じている。『源氏物語』テキストと「源氏絵」とが交響する新たな研究の書。



兵部卿物語全釈

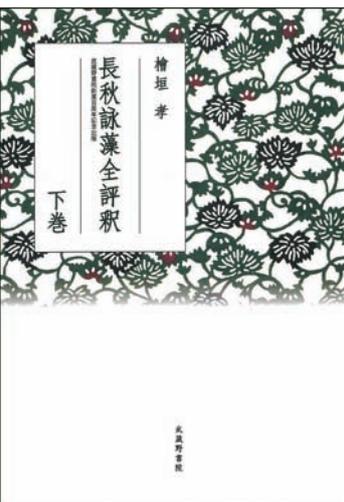
秋本吉徳
藤井由紀子〔編著〕

ISBN : 978-4-8386-0482-1 ・ 本体 3500 円

A5 判上製カバー装 ・ 148 頁



本書は慶應義塾図書館蔵本を底本とし、校合には、実践女子大学蔵本を用いて周到な校訂本文を提供。そこに平易なことば遣いを用いた読みやすい現代語訳と、物語をより深く読み解くための手引きとなる詳細で明快な注釈を付す。さらに「評」として物語の背景や章段ごとの設定が過不足無く解説されている。



長秋詠藻全評釈 下巻

檜垣 孝〔著〕

ISBN : 978-4-8386-0710-5 ・ 本体 12500 円

A5 判上製貼函入 ・ 464 頁



本書は、いわゆる第二類本『長秋詠藻』のうち、俊成自撰部分四八〇首の全評釈を試みたものである。自撰部分の後に加えられている「右大臣家百首」100首は、仮名に適宜漢字を当てるなど読みやすいよう整えた本文のみを掲出するにとどめた。また、本書底本の最後にある奥書も本文のみを掲出するにとどめた。



古韻琴声 余明 王昭君を奏でる (DVD)

七絃琴・琵琶 余明
企画・編集 上原作和
正道寺康子

JAN：4580549420010・本体 4000 円

日本国内専用

曲間を含む総収録時間 55 分 解説本 B 6 変型判 42 頁



琴は二五〇〇年の歴史を有し、「右書左琴」「知音」の故事や、孔子・諸葛孔明にまつわる音楽伝承で知られている。我が国の物語文学の主人公達もまた琴の名手であった。『うつほ』『源氏』に見える悲劇の漢女・王昭君にまつわる「胡笳の調べ」やその奏法、『狭衣』の「秋の調べ」。これらの琴曲を本邦初の映像化。余明の演奏でお届けする。



仮名文テキストとしての伊勢物語

近藤 さやか〔著〕

ISBN：978-4-8386-0715-0・本体 8500 円

A5 判上製カバー装・250 頁



『伊勢物語』の仮名に注目した意識と表現を考察し、有名章段一二条の後章段・東下り章段・斎宮章段・惟喬親王章段一だけではなく、これらの章段を中心に作品全体を通して読解できることを論じた。『伊勢物語』は和歌と仮名の可能性を広げた作品だという、文学史上の位置付けを示すことができれば幸いである。



日本文学概論ノート 古典編

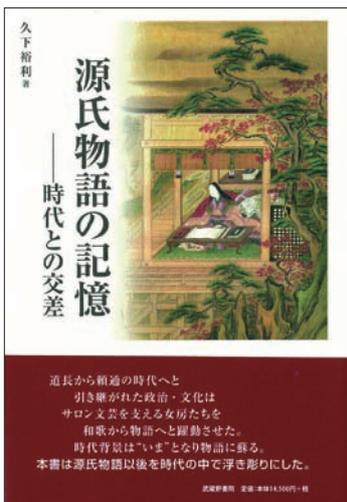
原 豊二〔著〕

ISBN：978-4-8386-0653-5・本体 1400 円

A5 判並製本・88 頁



この本は、著者が大学で講義をした内容を基とし、文学作品とどのように向き合うかということに重点を置き、「日本文学概論」「日本文学」「文学」などの大学の授業用の教材として執筆。半期の授業向けに構成は 15 回となっている。第 1 回目を除き、日本文学の形態、日本文学の理念、日本文学の研究、日本文学の課題といったグループに分けられ、効率的に学べるように工夫されたテキスト。



源氏物語の記憶

—時代との交差

久下裕利〔著〕

ISBN：978-4-8386-0701-3・本体 14500 円

A5 判上製カバー装・624 頁



道長から頼通の時代へと引き継がれた政治・文化はサロン文芸を支える女房たちを和歌から物語へと躍動させた。時代背景は「いま」となり物語に蘇る。本書は源氏物語以後を時代の中で浮き彫りにした。編著から単著まで、精力的に出版活動を行い、真摯に研究と向き合ってきた著者の、過去 12 年の論文をまとめた研究論文集。

〈今・ここ〉に効く源氏物語のつぶやき

諏訪園 純〔著〕

ISBN：978-4-8386-0481-4・本体 1200 円
四六判並製カバー装・232 頁



物語や小説を読む中で、登場人物が何となく口にした言葉がいつまでも心に残ることがある。文脈と言う衣を取り去った後に残るむき出しの言葉の断片は、読者の生きる〈今・ここ〉に解き放たれて、ときに人を導き、ときに人を励ます。そんな源氏物語の「つぶやき」を一つひとつ抜き書きし、テーマごとに整理した本書は、もう一つの源氏物語像を提示する。



源氏物語の「つぶやき」に耳を傾けてみませんか？
物語や小説を読む中で、登場人物が何となく口にした言葉がいつまでも心に残ることがある。文脈という衣を取り去った後に残るむき出しの言葉の断片は、読者の生きる〈今・ここ〉に解き放たれて、ときに人を導き、ときに人を励ます。そんな源氏物語の「つぶやき」を一つひとつ抜き書きし、テーマごとに整理した本書は、もう一つの源氏物語像を提示するものである。源氏物語の言葉について、その過去や未来を振り返るのではなく、我々の〈今・ここ〉と掛け合わせることで、それをありのままに享受しようとするとき、物語の言葉はスーリー一のくびきから解き放たれ、場面や巻を隔てて交響し、多声的な意味を生産することであろう。(P.162-163/238P)
武蔵野書院

更級日記と東国の風景

元吉 進〔著〕

ISBN：978-4-8386-0480-7・本体 3000 円
四六判上製カバー装・272 頁



『更級日記』に書かれたすべての記事は、少女期から晩年までの四十余年に亘る、作者菅原孝標女にとってかけがえのない思い出の数々である。とりわけ多感な少女時代の三年あまりを過ごした上総国は、作品にどのような影響を与えているのだろうか。作者と東国とを結びつける歴史的かつ現実的な背景を、「東国の風景」をキーワードとしてさまざまな角度から考察する。



作者孝標女が見た東国の風景とは
『更級日記』に書かれたすべての記事は、少女期から晩年までの四十余年に亘る、作者菅原孝標女にとってかけがえのない思い出の数々である。とりわけ多感な少女時代の三年あまりを過ごした上総国は、作品にどのような影響を与えているのだろうか。
作者と東国とを結びつける歴史的かつ現実的な背景を、作者が見たであろう「東国の風景」をキーワードとして、さまざまな角度から考察する。
武蔵野書院

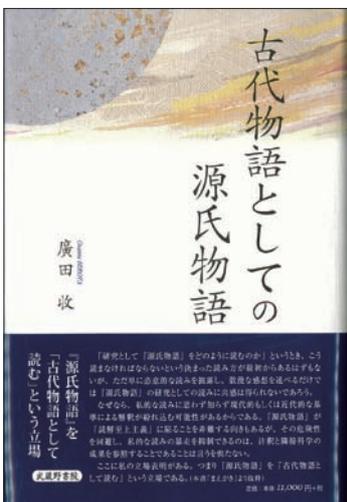
古代物語としての源氏物語

廣田 收〔著〕

ISBN：978-4-8386-0712-9・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・368 頁



研究として『源氏物語』をどう読むかというとき、ただ単に恣意的な読みを披露し、散漫な感想を述べるだけでは共感は得られないであろう。なぜなら、私的な読みに思わず知らず現代的もしくは近代的な基準による解釈が紛れ込む可能性があるからだ。ここに私の立場表明がある。つまり『源氏物語』を「古代物語として読む」という立場である。



「源氏物語」をどう読むかというとき、ただ単に恣意的な読みを披露し、散漫な感想を述べるだけでは共感は得られないであろう。なぜなら、私的な読みに思わず知らず現代的もしくは近代的な基準による解釈が紛れ込む可能性があるからだ。ここに私の立場表明がある。つまり『源氏物語』を「古代物語として読む」という立場である。16頁 2130円(税別)
武蔵野書院

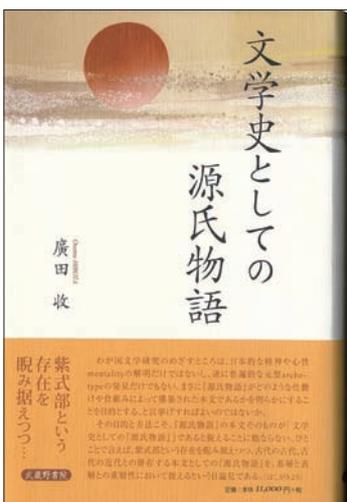
文学史としての源氏物語

廣田 收〔著〕

ISBN：978-4-8386-0276-6・本体 11000 円
A5 判上製カバー装・352 頁



わが国文学研究のめざすところは、まさに『源氏物語』がどのような仕掛けや仕組みによって構築された本文であることを明らかにすることを目的とする。つまり『源氏物語』の本文そのものが「文学史としての『源氏物語』」であると捉えることに他ならない。ひとことで言えば、紫式部という存在を睨み据えつつ、『源氏物語』を基層と表層との重層性において捉えるという目論見である。



わが国文学研究のめざすところは、まさに『源氏物語』がどのような仕掛けや仕組みによって構築された本文であることを明らかにすることを目的とする。つまり『源氏物語』の本文そのものが「文学史としての『源氏物語』」であると捉えることに他ならない。ひとことで言えば、紫式部という存在を睨み据えつつ、『源氏物語』を基層と表層との重層性において捉えるという目論見である。16頁 2130円(税別)
武蔵野書院

よく和歌る源氏物語

山田利博〔著〕

ISBN：978-4-8386-0475-3・本体 1500 円

四六判並製カバー装・224 頁



歌詠みにとって必読の書と言われる『源氏物語』。しかし、物語に含まれる 795 首という和歌の数だけを見ても、どこから手をつけたら良いものか頭を悩ませます。そこで、本書では肩肘張らずに『源氏物語』の和歌の世界に触れられるように、和歌作りに役立つであろうエピソード 20 話を紹介し、読者を「源氏物語と和歌の世界」へと誘います。



風に紅葉考

—百花繚乱する〈性〉への目差し—

大倉 比呂志〔著〕

ISBN：978-4-8386-0476-0・本体 3000 円

四六判上製カバー装・190 頁



風に紅葉の散る時は……中世王朝物語に属する『いはでしのぶ』や『我身にたどる姫君』には、密通という〈性〉に関わる描写が溢れている。はたして、『風に紅葉』ではそれがどのように語られているのだろうか。本書七編の論文をもとに、その実体を照射する。



源氏物語における神祇信仰

韓 正美〔著〕

ISBN：978-4-8386-0289-6・本体 12500 円

A5 判上製カバー装・424 頁



本書の目指すところは、具体的な物語表現が生産される過程において、神祇信仰がどのような働きを担っているのかを問い、それによって物語表現がどのような独自性を獲得し、また、どのような主題性を物語に胚胎させることになったのかを究明することである。



堤中納言物語の真相

後藤康文〔著〕

ISBN：978-4-8386-0471-5・本体 3000 円

四六判上製カバー装・248 頁



今ある本文、今ある注釈を鵜呑みにしてはならない。本文批判の徹底と厳密な本文解釈にこだわり、従来の漫然たる読みを洗い直す。書名そのものをめぐる独自の仮説も収録。





土左日記虚構論

初期散文文学の生成と国風文化

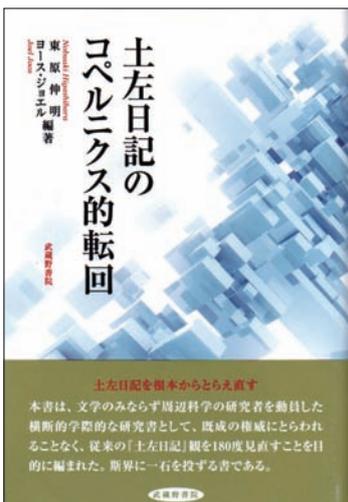
東原伸明〔著〕

ISBN：978-4-8386-0458-6・本体 2800 円

四六判上製カバー装・304 頁



男もすなる「日記」といふものを、“女もしてみむ”とてするなり。という一文によって始発している『土左日記』。虚構の枠組みの中で、語り手自身は自己を女性の立場で語ることを宣言している。『土左日記』の書き手が、あえて自己を“女”に性の転換をしてみせることで何を指していたのか、その虚構の方法についてさまざまな角度から照射する。



土左日記のコペルニクスの転回

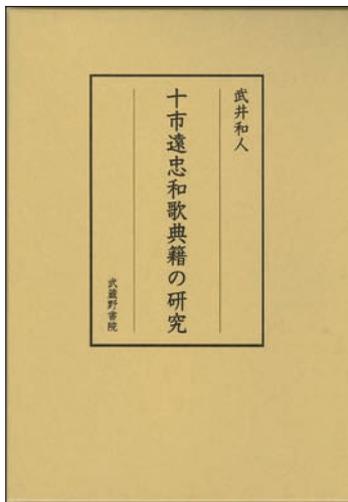
東原伸明〔編著〕
ヨース・ジョエル

ISBN：978-4-8386-0468-5・本体 2800 円

四六判上製カバー装・336 頁



本書は、文学のみならず周辺科学の研究者を動員した横断的学際的な研究書として、既成の権威にとらわれることなく、従来の『土左日記』観を 180 度見直すことを目的に編まれた。『土左日記』を根本からとらえなおす、斯界に一石を投ずる書である。



十市遠忠和歌典籍の研究

最新刊

武井和人〔著〕

ISBN：978-4-8386-0727-3・本体 34545 円

A5 判上製函入三分冊（分売不可）



室町時代の武将・歌人、十市遠忠の和歌典籍の研究書。南都における典籍流通、詠草、歌合・自歌合、古典籍書写者および歌詠みとしての遠忠、遠忠文献などについて論じる。研究篇 592 頁、資料篇上・754 頁、資料篇下・714 頁の大ボリューム三分冊で構成される、約 40 年の永きに亘る著者畢生の研究成果をここに刊行する。



堺本枕草子の研究

山中悠希〔著〕

ISBN：978-4-8386-0293-3・本体 12000 円

A5 判上製カバー装・480 頁



本書では堺本の編纂のありようを、堺本による再構成行為の成果と見なして、『枕草子』の生成・享受の面から積極的に捉え直していきたいと考える。すなわち、堺本を「再構成本」という独自の視点からあらためて検討しようという試みである。

新考 源氏物語の成立

西村 亨〔著〕

ISBN：978-4-8386-0292-6・本体 2800 円

A5 判上製カバー装・400 頁



『知られざる源氏物語』で幅広い視野からその魅力を説き、源氏物語作者複数説の嚆矢たる『源氏物語とその作者たち』へと進化させた成立論に加え、「朝顔の宮追従に発して」「玉鬘十帖の論」「六条院の女性たち」「折口信夫の山田孝雄観」を合流させ、著者畢生の仕事を一冊に凝縮。折口源氏学で培われた「論理」をもって発展昇華させた源氏物語成立論。



学統の継承と源氏物語成立論

『知られざる源氏物語』で幅広い視野からその魅力を説き、源氏物語作者複数説の嚆矢たる『源氏物語とその作者たち』へと進化させた成立論に加え、「朝顔の宮追従に発して」「玉鬘十帖の論」「六条院の女性たち」「折口信夫の山田孝雄観」を合流させ、著者畢生の仕事を一冊に凝縮。折口源氏学で培われた「論理」をもって発展昇華させた源氏物語成立論。特に本邦にある研究者や、幅広い読者に読んでほしいという思いで本書は成った。

ものがたりたちの京都 京都文学入門

最新刊

京都と文学研究会〔編〕

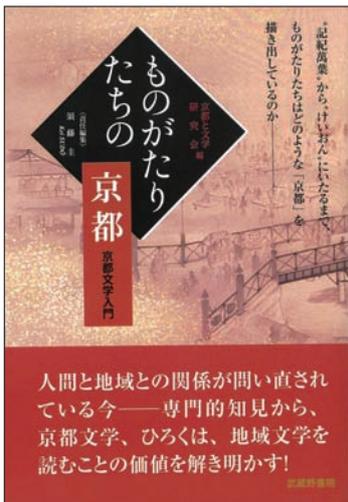
ISBN：978-4-8386-0484-5・本体 1500 円

責任編集：須藤 圭

四六判並製カバー装・228 頁



『記紀萬葉』から『けいおん』にいたるまで、ものがたりたちはどのような「京都」を描き出しているのか。人間と地域の関係が問い直されている今——専門的知見から、京都文学、ひろくは、地域文学を読むことの価値を解き明かす！



人間と地域との関係が問い直されている今——専門的知見から、京都文学、ひろくは、地域文学を読むことの価値を解き明かす！

国冬本源氏物語論

越野優子〔著〕

ISBN：978-4-8386-0296-4・本体 9500 円

A5 判上製カバー装・272 頁



第1章では、諸本研究における国冬本の意義を説き、自らの研究の立場を明確にする。その視点のもとに、第2章以下鈴虫巻や柏木巻・藤裏葉巻などに取り組み、独自異文の意義を解釈し、読みの世界を深めていく。本文の異同に拘泥せず、呼称の問題からさらに作品論へと向かうなど、自ら新しい課題を押し広げようとする姿勢は、今後の研究の指針ともなろう。



国冬本源氏物語論

今後の研究の指針となる書

本文研究というのは、作品研究などとは異なり、きわめて難解な作業と読解力が求められる分野でもある。国冬本はいつでもそうなのだが、全巻が揃っているわけでもなく、写本の扱いも厄介で、章ごとの校訂・対校も相当な労力が必要となる。第1章では、そのような背景も考慮し、諸本研究における国冬本の意義を説き、自らの研究の立場を明確にする。その視点のもとに、第2章以下鈴虫巻や柏木巻・藤裏葉巻などに取り組み、独自異文の意義を解釈し、読みの世界を深めていく。本文の異同に拘泥せず、呼称の問題からさらに作品論へと向かうなど、自ら新しい課題を押し広げようとする姿勢は、今後の研究の指針ともなろう。

宮内庁書陵部蔵柳原本 朔旦冬至部類 影印と翻刻

木本好信 樋口健太郎〔編〕

ISBN：978-4-8386-0711-2・本体 8300 円

A5 判上製カバー装・256 頁



本書は、宮内庁書陵部が所蔵する柳原家旧蔵の『朔旦冬至部類』（架蔵番号・柳三六四）を、書陵部の許可を得て、影印、全文翻刻し、末尾に人名索引と解説にかわる「朔旦賀表と朔旦冬至—宮内庁書陵部蔵柳原本『朔旦冬至部類』にふれて—」と題する小論を付したものである。



朔旦冬至部類 影印と翻刻

木本好信 樋口健太郎 編

武蔵野書院 中古文学会会員様向け特設サイト注文書

Fax 03-3291-4839 Mail : info@musashinoshoin.co.jp

この注文書でご注文いただければ、学会割引(税込定価の2割引+送料無料)を適用させていただきます(2020年7月31日まで)。

書籍名	価格	部数	公費・私費
源氏物語生々流転 論考と資料	本体：16000円+税	部	公費・私費
平安文学の人物と史的世界—随筆・私家集・物語—	本体：12000円+税	部	公費・私費
次世代に伝えたい新しい古典—「令和」の言語文化の享受と継承に向けて	本体：2000円+税	部	公費・私費
平安中期和歌文学攷	本体：11000円+税	部	公費・私費
源氏物語三条西家本の世界—室町時代享受史の一様相	本体：12500円+税	部	公費・私費
後拾遺和歌集 新風と「をかしき風躰」	本体：8800円+税	部	公費・私費
文学としてのマンガ	本体：2000円+税	部	公費・私費
大和物語の達成—「歌物語」の脱構築と散文叙述の再評価	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑦ 紫式部日記・集の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑥ 狭衣物語の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ⑤ 宇治十帖の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
知の遺産シリーズ④ 堤中納言物語の新世界	本体：3000円+税	部	公費・私費
源氏物語の表現と絵画的展開—夕霧を中心に	本体：12000円+税	部	公費・私費
兵部卿物語全釈	本体：3500円+税	部	公費・私費
長秋詠藻全評釈 下巻	本体：12500円+税	部	公費・私費
古韻琴声 余明 王昭君を奏でる (DVD)	本体：4000円+税	部	公費・私費
仮名文テキストとしての伊勢物語	本体：8500円+税	部	公費・私費
日本文学概論ノート 古典編	本体：1400円+税	部	公費・私費
源氏物語の記憶—時代との交差	本体：14500円+税	部	公費・私費
〈今・ここ〉に効く源氏物語のつづやき	本体：1200円+税	部	公費・私費
更級日記と東国の風景	本体：3000円+税	部	公費・私費
古代物語としての源氏物語	本体：11000円+税	部	公費・私費
文学史としての源氏物語	本体：11000円+税	部	公費・私費
よく和歌る源氏物語	本体：1500円+税	部	公費・私費
風に紅葉考—百花繚乱する〈性〉への目差し—	本体：3000円+税	部	公費・私費
源氏物語における神祇信仰	本体：12500円+税	部	公費・私費
堤中納言物語の真相	本体：3000円+税	部	公費・私費
土左日記虚構論 初期散文文学の生成と国風文化	本体：2800円+税	部	公費・私費
土左日記のコペルニクスの転回	本体：2800円+税	部	公費・私費
十市遠忠和歌典籍の研究	本体：34545円+税	部	公費・私費
堺本枕草子の研究	本体：12000円+税	部	公費・私費
新考 源氏物語の成立	本体：2800円+税	部	公費・私費
ものがたりたちの京都 京都文学入門	本体：1500円+税	部	公費・私費
国冬本源氏物語論	本体：9500円+税	部	公費・私費
宮内庁書陵部蔵柳原本 朔旦冬至部類 影印と翻刻	本体：8300円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍 []	本体 円+税	部	公費・私費

ご注文者

公費の場合

お名前 (フリガナ)	お電話番号	お宛名	
ご送付先 〒 _____		公費伝票類	
		日付有無	あり・なし
		納品書	通
		見積書	通
		請求書	通



八木書店



中古文学会



2020 年春季 学会員限定 割引販売カタログ

【申込期限】 2020 年 7 月 1 日

【販売価格】 全品 1 割引・送料サービス

【お支払い方法】 郵便振替用紙、銀行振込

【ご注文方法】

FAX 03-3291-6300 (最終頁の注文書をご利用ください)

TEL 03-3291-2961

E-MAIL pub@books-yagi.co.jp

※ 1 割引の特別価格は上記の連絡先へ

ご注文いただいた場合のみ適用

(八木書店古書部店頭、ネット販売、その他書店様等へのご注文の場合は 1 割引となりません)

驚愕の新出資料！

高精細原寸カラー版で初公開

多くのメディアで大々的に報道された新出定家本の全貌が明らかに！

定家本 源氏物語 若紫^{わかむらさき}

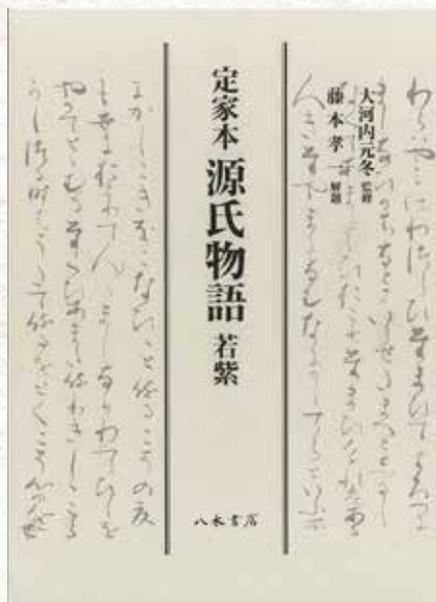
●好評発売中！ 2020年3月刊行 ISBN978-4-8406-9770-5

【監修】大河内元冬 【解題】藤本孝一

● B5判上製／貼函入／192頁／定価（本体25,000円＋税）



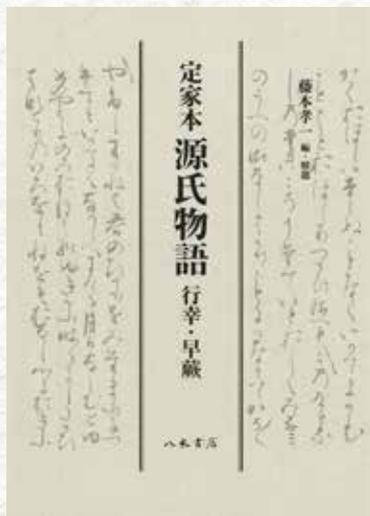
- 藤原定家（1162～1241）が直接監督して書写された定家本『源氏物語』は、これまで現存するのが『花散里』『行幸』『柏木』『早蕨』の僅か4巻（全て重要文化財）のみとされていた。
- 2019年、大河内家に伝わった『若紫』が新たに定家本として確認され、今後の源氏物語研究へ資する新出貴重資料として紹介された。
- このたび刊行の高精細原寸カラー版によって、その詳細が調査可能となる。



※定家本源氏物語『若紫』原本の姿



既刊



【重要文化財】

定家本 源氏物語 行幸・早蕨^{みゆき さわらび}

●好評発売中！ 2018年1月刊行 ISBN978-4-8406-9765-1

【編集・解題】藤本孝一

● B5判上製／貼函入／186頁／定価（本体28,000円＋税）



これまで詳細不明だった定家本二帖の全貌を、高精細原寸カラー版で初公開。収録原本は、『行幸』（国所蔵・文化庁保管）、『早蕨』（個人蔵）。影印本文に加え、詳細な解題を収載する。また解題には、これまで未紹介の参考史料として、藤原定家による大原野行幸の儀式次第書『大原野行幸次第』（個人蔵）の全文翻刻を付載。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※価格は税別です

【重要文化財】新天理図書館善本叢書 第3期

源氏物語 池田本 全10巻



●好評発売中！



【原本所蔵・編集】天理図書館 【解題】岡嵜偉久子

定家本（青表紙本）系統の諸本中、最重要古写本の全貌を初公開。52巻のうち48巻が鎌倉末写の基幹巻。基幹巻の本文は全て「青表紙本」で揃っており、鎌倉写本として他に類例がない。基幹巻のうち11巻に「奥入」あり、そのうち8巻は本文と同筆。

● A5判上製／貼函入／平均606頁／揃定価（本体344,000円＋税）

※各巻分売可 ISBN978-4-8406-9593-0（セット）

【重要文化財】

尾州家河内本源氏物語 全10巻



●好評発売中！



【原本所蔵・監修】名古屋市蓬左文庫

【解題】岡嵜偉久子

鎌倉時代に源光行・親行父子による源氏物語本文の研究・校訂によって作成された河内本の最古写本として伝わり、54帖が揃った源氏物語の写本としても現存最古の一つ。最新の原本調査により源親行稿本の可能性が指摘される重要写本。

● B5判上製／貼函入／平均450頁

揃定価（本体280,000円＋税）

※各巻分売可 ISBN 978-4-8406-9340-0（セット）



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※価格は税別です

尊經閣善本影印集成

【高精細カラー版】

第九輯 鎌倉室町古記録 全十冊

刊行中（既刊4冊） 定期予約募集！（分売可）

●A4判・上製クロス装・貼函入・平均二六〇頁予定

●平均本体予価三六、一〇〇円＋税、揃本体予価三六、一〇〇円＋税

●ISBN978-4-8406-2299-8（パンム）

*第九輯全十冊セットで予約いただきますと、配本ごとにお届けいたします。



【配本予定】 *3ヶ月毎配本／冊順と配本順は異なります

第1回配本（二〇一九年五月） ISBN978-4-8406-2367-4 本体三、〇〇〇円

第67冊 実躬卿記 一【所収】弘安十年～正徳四年（1287～91）

第3回配本（二〇一九年十一月） ISBN978-4-8406-2368-1 本体三、〇〇〇円

第68冊 実躬卿記 二【所収】永仁元年～嘉元元年（1293～1303）

第5回配本（二〇二〇年五月） ISBN978-4-8406-2369-8 本体三、〇〇〇円

第69冊 実躬卿記 三【所収】嘉元二年（1303・04）

第10回配本（二〇二〇年八月） ISBN978-4-8406-2370-4 本体予価三、〇〇〇円

第70冊 実躬卿記 四【所収】嘉元三年～徳治二年（1305～07）

宣陽門院御落飾記【所収】元久二年（1205）

後愚昧記 山門噉訴記・実豊卿記

【所収】応安元年・六年（1368・1373）

第7回配本（二〇二〇年十一月） ISBN978-4-8406-2371-1 本体予価三、〇〇〇円

第71冊 公秀公記【所収】徳治三年（1308）

実隆公記【所収】文明十三年（1481）

建治二年記【所収】建治三年（1277）

第2回配本（二〇一九年八月） ISBN978-4-8406-2372-8 本体三、〇〇〇円

第72冊 外記日記 新抄 一【所収】文永元年～三年（1264～66）

第6回配本（二〇二〇年八月） ISBN978-4-8406-2373-5 本体予価三、〇〇〇円

第73冊 外記日記 新抄 二【所収】文永四年～弘安十年（12867・87）

享禄二年外記日記【所収】享禄二年（1529）

第4回配本（二〇二〇年二月） ISBN978-4-8406-2374-2 本体三、〇〇〇円

第74冊 碧山日録 一【所収】長禄三年～寛正二年（1459～61）

第8回配本（二〇二〇年二月） ISBN978-4-8406-2375-9 本体予価三、〇〇〇円

第75冊 碧山日録 二【所収】寛正三年～応仁二年（1462～68）

第9回配本（二〇二〇年五月） ISBN978-4-8406-2376-6 本体予価三、〇〇〇円

第76冊 蔗軒日録【所収】文明十六年～十八年（1484～86）

盲聾記【所収】永正十七年（1520）

前田育徳会尊經閣文庫編／〔編集委員〕尾上陽介・加藤友康

〔解説〕遠藤珠紀・尾上陽介・川本慎自・菊地大樹・末柄 豊・高橋典幸・山家浩樹

好評シリーズ既刊

第1輯 儀式書 全12冊 【セット品切れ】 ISBN4-8406-2291-4

①～⑥西宮記（④のみ品切）／⑦～⑨北山抄／⑩～⑫江次第

すべて分売承ります！

（白抜は品切）

第2輯 類書 全5冊 【定価（本体125,000円＋税）】 ISBN4-8406-2292-2

⑬秘府略／⑭～⑯二中歴・掌中歴／⑰拾芥抄

第3輯 古辞書 全8冊 【定価（本体228,000円＋税）*在庫極少】 ISBN4-8406-2293-0

⑱⑲色葉字類抄／⑳節用集／㉑～㉒字鏡集／㉓温故知新書・童蒙頌語

第4輯 古代史籍 全9冊 【定価（本体260,000円＋税）】 ISBN4-8406-2294-9

㉔日本書紀／㉕～㉖新日本紀／㉗古事記／㉘古語拾遺／㉙～㉚類聚国史

第5輯 古代法制史料 全5冊 【定価（本体149,000円＋税）】 ISBN4-8406-2295-7

㉛交替式・法曹類林／㉜政事要略／㉝～㉞類聚三代格

第6輯 古代説話 全6冊 【定価（本体138,000円＋税）】 ISBN978-4-8406-2296-7

㉟日本霊異記／㊱三宝絵・日本往生極楽記／㊲新猿楽記／㊳三宝感應要略録／㊴江談抄／㊵中外抄

第7輯 平安鎌倉儀式書 全10冊 【定価（本体234,000円＋税）】 ISBN978-4-8406-2297-4

㊶内裏式／㊷本朝月令要文・小野宮故実旧例・年中行事秘抄／㊸雲図鈔／㊹無題号記録（『院御書』）・春玉秘抄

㊺春除目抄・京官除目次第・県召除目記／㊻禁秘御抄／㊼局中宝／㊽夕拝備急至要抄・参議要抄

㊾羽林要秘抄・上卿簡要抄／㊿消息礼事及書礼事・大臣二人為尊者儀・大要抄・大内抄・暇服事

第8輯 平安古記録 全11冊 【定価（本体358,000円＋税）】 ISBN978-4-8406-2298-1

㊽～㊿小右記／㊽水左記／㊽台記〔宇槐記抄・宇槐雜抄・台記抄〕



最新の在庫状況は上記QRコードより小社サイトにてご確認ください。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300

pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/

*価格は税別です



【全8巻 解題】
Web公開中!

↑
クリック



奈良絵本集

全八巻
完結!

高精細カラー版

伝本の稀な室町末期から江戸極初期までの逸品に加え、多彩な作品群の中から優品24点を精選！
高精細カラー版により、微細な色遣いが一目瞭然に！

新天理図書館善本叢書

【第四期】第23～30巻 ●分売可

●揃定価(本体二六八、〇〇〇円+税)

【解題】

石川 透 (慶應義塾大学教授)

金光 桂子 (京大大学教授)

恋田 知子 (国文学研究資料館准教授)

齋藤真麻理 (国文学研究資料館教授)



中世に残された古代律令制の実像とは？

中世天皇家の作法と律令制の残像

久水俊和 著

本体 7,000 円・A5 判上製・カバー装・400 頁



ISBN978-4-8406-2239-4

朝廷と室町幕府のあらたな関係を提示。天皇家の公事作法や神事・学芸に注目し、皇統確立の過程を明らかに。律令国家以来の太政官制が中世に機能していたことを論証。平安京大内裏跡の具体的な復元も試みる。

【2020年6月刊予定】

Now Printing

武家の都・鎌倉で活動した鎌倉時代の僧侶 949 名の経歴を知る

鎌倉僧歴事典

永井 晋 編

本体 12,000 円・A5 判上製・カバー装・344 頁



ISBN978-4-8406-2038-3

中世鎌倉を知るための必備の書。本書を縦横無尽に使いこなすために、総説、将軍家御願寺補任、血脈・俗縁、各種索引（寺社名、館名・坊名、所領、人名、僧侶、師弟、法会・修法）を完備。鎌倉顕密僧の基本的な知識が得られる入門ガイド「鎌倉顕密僧の基礎知識」も掲載。

【2020年5月刊】



古代人の「記憶」はどのように形成されたのか

日本古代の記憶と典籍

長谷部将司 著

本体 9,000 円・A5 判上製・カバー装・378 頁



ISBN978-4-8406-2236-3

史書・系譜・説話・詩歌集など多様な典籍を検討し、その編纂者と受容者との間で共有・更新される「情報」と「記憶」に注目し、氏族秩序の形成過程に迫る意欲作。

【2020年4月刊】



親の世話をするのはだれか。なぜ、親の供養を行うのか

日本古代の親子関係

—孝養・相続・追善—

岩田真由子 著

本体 10,000 円・A5 判上製・カバー装・488 頁



ISBN978-4-8406-2235-6

古代・中世前期の親子の精神面を読み解き、王権の変質過程、「家」観念の成立、土地の権利意識の変遷など重要な論点を提示した、新たな王権・家族史研究。

【2020年4月刊】



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※価格は税別です

日本と高麗の関係を解明した初めての総合研究

【2019年10月刊】

日本高麗関係史

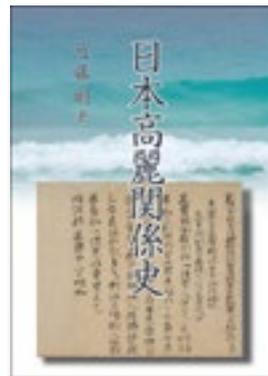
近藤 剛 著

本体 9,800 円・A5 判上製・カバー装・464 頁



ISBN978-4-8406-2233-2

朝日新聞（2019年11月20日夕刊）で紹介。正式な通交関係になかった日本と高麗を中心に、契丹（遼）・金との国際関係をも含んだ東アジア全体から俯瞰。韓国の最新研究や韓国の金石文等の成果もふまえ検証。



4世紀の東アジアを知る最重要資料の決定版

【2019年3月刊】

明治大学高句麗広開土王碑拓本

明治大学広開土王碑拓本刊行委員会 編

本体 15,000 円・B5 判上製・カバー装・360 頁



ISBN978-4-8406-2223-3

新たに見つかった明大本2種を含む重要な拓本7種を厳選し、全拓本画像と釈文を一覧にして拓本画像を並べ、釈文を再検証できるように編集。論考編には、日本と中国の専門家が、最新の知見を書き下ろした論考7本を収録。



中国を中心とした東アジア諸国の新たな世界像を提示

【2019年2月刊】

古代東アジア世界史論考

—改訂増補 隋唐の国際秩序と東アジア—

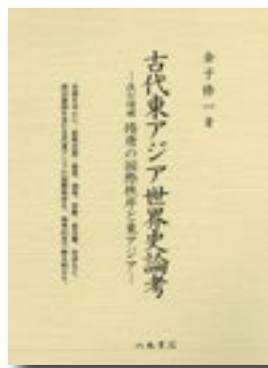
金子修一 著

本体 11,000 円・A5 判上製・函入・600 頁



ISBN978-4-8406-2229-5

中国を中心に倭国、渤海、突厥、高句麗、百濟等、古代東アジアの国際秩序を解き明かす。



時の命名こそ支配——年号から読み解く東アジアの文化と思想

【2019年4月刊】

年号と東アジア

—改元の思想と文化—

水上雅晴 編・高田宗平 編集協力

本体 12,000 円・A5 判上製・カバー装・792 頁



ISBN978-4-8406-2227-1

多彩な分野の専門家が集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多様な視点で読解！



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※価格は税別です

キリシタン版のことば、ポルトガル語からのアプローチ

キリシタン世紀の言語学

丸山 徹 著

本体 12,000 円・A5 判上製・カバー装・376 頁  ISBN978-4-8406-2244-8

400 年前にカトリック宣教師が日本での布教のために出版した日本語の語学書について、ポルトガル語で書かれた自筆本とキリシタン版（版本）を克明に対比。キリシタン語学書にポルトガル語の側から光を当て言語学的に解明。

【2020 年 7 月刊予定】

Now Printing

400 年前の日本・ポルトガルの言語を知る最重要資料

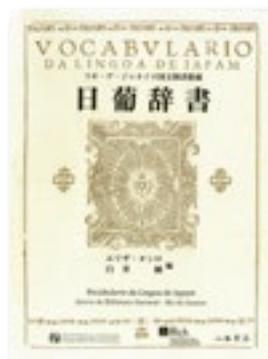
リオ・デ・ジャネイロ 日葡辞書

エリザ・タシロ／白井純 編

本体 60,000 円・B5 変型判上製・カバー装・866 頁  ISBN978-4-8406-2234-9

2018 年、中南米大陸ブラジルで初めて発見された日本のキリシタン版辞書を、高精細・原寸カラー版で初公開！ リオ本と現存諸本の詳細な原本調査に基づき、これまでの日葡辞書の常識を大幅に書き換える、多角的、且つ徹底的な解説を付す。参考図版多数。

【2020 年 3 月刊】



イエズス会の教育機関で何が行われていたのか

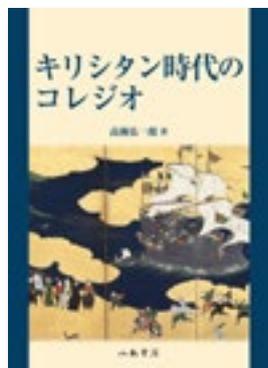
キリシタン時代のコレジオ

高瀬弘一郎 著

本体 15,000 円・A5 判上製・函入・832 頁  ISBN978-4-8406-2211-0

府内・天草・長崎等の各地に作られたキリスト教イエズス会の聖職者養成機関「コレジオ」の知られざる実態を、海外の原史料を博搜・読解。虚と実の交錯したキリスト教布教の真実を解き明かす。

【2017 年 7 月刊】



日欧交渉史第一人者の名著を増補し、新稿 3 本を加えて復刊

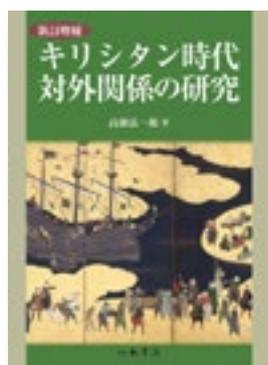
新訂増補 キリシタン時代対外関係の研究

高瀬弘一郎 著

本体 16,000 円・A5 判上製・函入・768 頁  ISBN978-4-8406-2212-7

海外に所在するカトリック教会の同時代史料を博搜し、教会が一翼を担った海上貿易、商人、通貨、送金、為替、利子、教会と権力者に焦点をあて、キリスト教教会の本音と建て前を徹底解明。

【2017 年 7 月刊】



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※価格は税別です

珠玉の労作「経覚年譜」と「正誤表」を収録！

【2019年12月刊】

経覚私要鈔 第11

小泉宜右 校訂

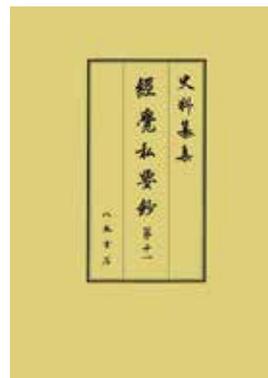
本体 16,000 円・A5 判・上製・函入・358 頁



(全 11 冊完結)

ISBN978-4-8406-5206-3

第 206 回配本【収録内容】「経覚年譜：応永 2 年（1395）～文明 5 年（1473）」「正誤表」室町時代の政治・経済・社会・宗教に関する一級史料である奈良興福寺別当経覚の日記。本冊には、詳細な事歴と関連事項を網羅した「経覚年譜」と「正誤表」を収録。



鎌倉期の実務官人による克明な記録を自筆本により翻刻！

【2019年5月刊】

勘仲記 第6

高橋秀樹・櫻井彦・遠藤珠紀 校訂

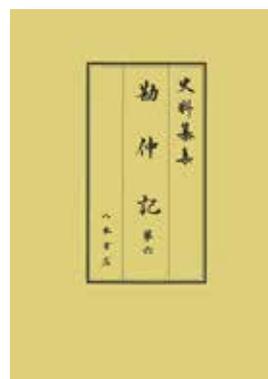
本体 13,000 円・A5 判・上製・函入・304 頁



(全 8 冊予定)

ISBN978-4-8406-5200-1

第 200 回配本【収録期間】弘安 11 年（1288）正月～同年 9 月 藤原（広橋）兼仲（1244～1308）の日記。蒙古襲来前後の京都の状況を知る重要な記事を多く含み、持明院・大覚寺両統迭立など、多方面にわたる 13 世紀後半の一級史料。



戦国時代武家伝奏を勤めた広橋守光の日記、初の全文翻刻！

【2018年8月刊】

守光公記 第1

中世公家日記研究会 校訂

本体 14,000 円・A5 判・上製・函入・346 頁



(全 2 冊予定)

ISBN978-4-8406-5198-1

第 198 回配本【収録期間】永正 4 年（1507）12 月～同 10 年（1513）12 月 武家伝奏として公武間の折衝に心を砕く広橋守光（1471～1526）の日記。また、幕府との交渉記録や関連文書が写として掲載されており、女房奉書が数多く筆写されている。



伊勢内宮の正員禰宜であった荒木田氏経の日記！

【2016年9月刊】

氏経卿神事記 第1

野村朋弘・比企貴之 校訂

本体 14,000 円・A5 判・上製・函入・304 頁



(全 2 冊予定)

ISBN978-4-8406-5187-5

第 187 回配本【収録期間】永享 4 年（1432）総記、同 6 年（1434）正月～寛正 3 年（1462）12 月 皇太神宮（内宮）の正員禰宜の日記。永享 4 年（1432）から文明 18 年（1486）にいたる 38 年分を、近世以来の書写の系統を考証し復元。内宮の諸神事と伊勢国内の情勢を記す。

※第 2：2020 年 8 月刊行予定！



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

※価格は税別です

【中古文学会ご注文承り書】 **学会員限定1割引(送料弊社負担)** 八木書店

※ 1割引の特別価格は以下の連絡先（八木書店総合営業部）へ注文いただいた場合のみ適用
（八木書店古書部店頭、ネット販売、その他書店様等へのご注文の場合は1割引となりません）

【申込期限：2020/7/1】

TEL:03-3291-2961 FAX:03-3291-6300 MAIL:pub@books-yagi.co.jp

書名	定価(本体+税10%)	学会特別価格(税込)	冊数
◆尊経閣善本影印集成			
【分売タイトル】			
◆新天理図書館善本叢書			
【分売タイトル】			
◆史料纂集 古記録編/古文書編			
【分売タイトル】			
◆明月記研究（第3号～第14号在庫有）			
【分売号数】			
定家本 源氏物語 若紫（2020/3/25刊行）	¥27,500	¥24,750	
定家本 源氏物語 行幸・早蕨	¥30,800	¥27,720	
尾州家河内本源氏物語 全10巻	¥308,000	¥277,200	
源氏物語聞書	¥16,500	¥14,850	
尊経閣文庫本 日本書紀 本文・訓点総索引	¥24,200	¥21,780	
熱田本 日本書紀（全3冊）	¥132,000	¥118,800	
宮内庁書陵部本影印集成 第1期 日本書紀（全4冊）	¥94,600	¥85,140	
日本書紀の誕生—編纂と受容の歴史—	¥5,280	¥4,752	
日本高麗関係史（2019/10/25刊行）	¥10,780	¥9,702	
年号と東アジア—改元の思想と文化—（2019/4/30刊行）	¥13,200	¥11,880	
高句麗広開土王碑拓本	¥16,500	¥14,850	
古代東アジア世界史論考	¥12,100	¥10,890	
遣隋使がみた風景—東アジアからの新視点—	¥4,180	¥3,762	
キリシタン世紀の言語学（※2020/7月刊行予定）	¥13,200	¥11,880	
リオ・デ・ジャネイロ国立図書館蔵 日葡辞書（2020/3/30刊行）	¥66,000	¥59,400	
キリシタン時代のコレジオ	¥16,500	¥14,850	
新訂増補 キリシタン時代対外関係の研究	¥17,600	¥15,840	
中世天皇家の作法と律令制の残像（2020/6/20刊行予定）	¥7,700	¥6,930	
鎌倉僧歴史典（2020/5/25刊行予定）	¥13,200	¥11,880	
松浦党関係史料集5（2020/4/25刊行）	¥19,800	¥17,820	
日本古代の記憶と典籍（2020/4/25刊行）	¥9,900	¥8,910	
日本古代の親子関係（2020/4/15刊行）	¥11,000	¥9,900	
新訂増補 弁官補任1（2020/4/3刊行）	¥16,500	¥14,850	
日本古代の輸送と道路（2019/5/20刊行）	¥9,900	¥8,910	
必携 古典籍・古文書料紙事典	¥11,000	¥9,900	
〔その他〕 リストに記載がないタイトルはこちらにご記入ください			

お名前	〒	ご所属
ご住所（自宅・勤務先）		
電話番号	e-mail	
生年月日 19 年 月 日		
◆ 公費・私費（いずれか○をお付けください）		
公費の場合→ ●必要書類 見積・納品・請求書 各()通 / ●日付 有・無		
●書類上のお宛名()		
●送料 商品代金に 含めて表示 ・ 含めないで別表示		



臨川書店

2020 年度 中古文学会

学会員限定 特別割引のご案内

期限：2020 年 7 月末日

価格：全品 20%OFF

送料：全国一律 550 円【ご注文価格 合計¥3,000(税込)以上で送料無料】

ご注文方法：FAX 注文書、またはメールにてご注文ください

(メールでのご注文の際は「中古文学会 特別割引」と明記ください)

お支払方法：

〈私費でのご注文〉郵便振替用紙を同封いたします(払込手数料はご負担下さい)

〈公費でのご注文〉書類のお宛名・必要枚数・日付の有無、送料の記載方法

をお知らせください

【お問い合わせ】

株式会社 臨川書店 営業部

TEL:075-721-7111 FAX:075-781-6168

E-mail: kyoto@rinsen.com

こちらから 2020 年度出版目録 をご覧
いただけます↓



日記で読む日本史 全20巻

倉本一宏 監修

■四六判・上製・平均250頁 予価各巻本体 2,800円

ひとはなぜ日記を書き、他人の日記を読むのか？

平安官人の古記録や「紫式部日記」などから、「昭和天皇実録」に至るまで——
従来の学問的な枠組や時代に捉われることなく日記のもつ多面的な魅力を解
き明かし、数多の日記が綴ってきた日本文化の深層に迫る。

〈詳細は内容見本をご請求ください〉

《各巻詳細》

3ヵ月毎各回2冊配本予定

- | | | | |
|-----|-----------------------------------|---------|-----------|
| *1 | 日本人にとって日記とは何か | 倉本一宏 編 | 本体 2,800円 |
| *2 | 平安貴族社会と具注暦 | 山下克明 著 | 本体 3,000円 |
| *3 | 宇多天皇の日記を読む 天皇自身が記した皇位継承と政争 | 古藤真平 著 | 本体 3,000円 |
| *4 | 「ためし」から読む更級日記 漢文日記・土佐日記・蜻蛉日記からの展開 | 石川久美子 著 | 本体 3,000円 |
| *5 | 日記から読む摂関政治 古瀬奈津子・東海林亜矢子 著 | | |
| *6 | 紫式部日記を読み解く 源氏物語の作者が見た宮廷社会 | 池田節子 著 | 本体 3,000円 |
| *7 | 平安宮廷の日記の用法 『醍醐天皇御記』をめぐる | 堀井佳代子 著 | 本体 3,000円 |
| *8 | 皇位継承の記録と文学 『栄花物語』の謎を考える | 中村康夫 著 | 本体 2,800円 |
| *9 | 平安期日記文学総説 一人称の成立と展開 | 古橋信孝 著 | 本体 3,000円 |
| *10 | 王朝貴族の葬送儀礼と伝事 | 上野勝之 著 | 本体 3,000円 |
| *11 | 平安時代の国司の赴任 『時範記』をよむ | 森公章 著 | 本体 2,800円 |
| *12 | 物語がつくった驕れる平家 貴族日記にみる平家の実像 | 曾我良成 著 | 本体 2,800円 |
| *13 | 日記に魅入られた人々 王朝貴族と中世公家 | 松蘭 著 | 本体 2,800円 |
| *14 | 国宝『明月記』と藤原定家の世界 | 藤本孝一 著 | 本体 2,900円 |
| *15 | 日記の史料学 史料として読む面白さ | 尾上陽介 著 | |
| *16 | 徳川日本のナショナル・ライブラリー | 松田泰代 著 | 本体 3,500円 |
| *17 | 琉球王国那覇役人の日記 福地家日記史料群 | 下郡剛 著 | 本体 3,000円 |
| *18 | クララ・ホイットニーが綴った明治の日々 | 佐野真由子 著 | 本体 3,300円 |
| *19 | 「日記」と「随筆」 ジャンル概念の日本史 | 鈴木貞美 著 | 本体 3,000円 |
| *20 | 『昭和天皇実録』と日本の「終戦」 | 鈴木多聞 著 | |

(タイトルは一部変更になる場合があります)

〈*印は既刊〉

ISBN978-4-635-04340-9 [16.4~]





大谷雅夫著

和漢聯句の楽しみ

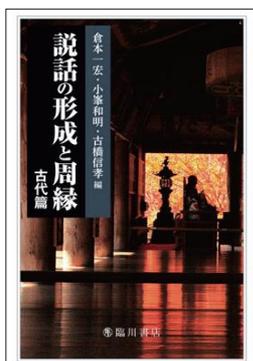
芭蕉・素堂両吟歌仙まで

難解にも見える和漢聯句の豊穡な世界を分かりやすく解きほぐす。日本文学と文化を理解し、味わうために必読必携の書。

■ A5判・並製・338頁

ISBN978-4-653-04415-4 [19/11]

本体3,000円



倉本一宏・小峯和明・古橋信孝編

説話の形成と周縁 古代篇

風土記・万葉集から、日本霊異記・今昔物語集まで——物語・和歌・美術・宗教との関わりのなかで、説話はいかに生み出され定着したのか。

■ 四六判・上製・296頁

ISBN978-4-653-04511-3 [19/5]

本体3,200円



倉本一宏・小峯和明・古橋信孝編

説話の形成と周縁 中近世篇

巡礼記・軍記・古註釈から、説話の言説・メディア論まで——時空間やジャンル、虚実の壁を越えて、説話はいかに発展してきたのか。

■ 四六判・上製・304頁

ISBN978-4-653-04512-0 [19/6]

本体3,200円



角谷常子編

古代東アジアの文字文化と社会

日本の古代にはなぜ刻石文化が根付かなかったのか——古代社会に展開された文字文化を通して、当時の社会、人的結合関係を明らかにする。

■ A5判・クロス装・292頁

ISBN978-4-653-04381-2 [19/4]

本体4,500円



堀井佳代子著

平安前期対外姿勢の研究

朝廷の「対外姿勢」を軸に、当時の唐風化政策の動きとも関連付けながら、日本と朝鮮・中国との使節外交の盛衰の実態と要因を解明する。

■ A5判・上製・280頁

ISBN978-4-653-04412-3 [19/2]

本体6,500円

中古文学会 特別割引ご注文書 (臨川書店 営業部 行)

○特別割引 20%OFF (表示価格は税込) ※ご注文金額 合計3,000円以上より送料サービス

書名	特別割引価格	ご注文冊数	書名	特別割引価格	ご注文冊数
【日記で読む日本史】			中宮物語絵巻の研究		
①日本人にとって日記とは何か	¥2,470			¥4,050	
②平安貴族社会と具中暦	¥2,640		中世の王朝物語	¥8,800	
③宇多天皇の日記を読む	¥2,640		『酒飯論絵巻』影印と研究	¥12,320	
④「ためし」から読む更級日記	¥2,640		古代東アジアの文字文化と社会	¥3,960	
⑥紫式部日記を読み解く	¥2,640		平安前期対外姿勢の研究	¥5,720	
⑦平安宮廷の日記の利用法	¥2,640		【古典・古辞書】		
⑧皇位継承の記録と文学	¥2,470		新撰字鏡	¥15,840	
⑨平安期日記文学総説	¥2,640		新撰字鏡国語索引	¥7,040	
⑩王朝貴族の葬送儀礼と伝事	¥2,640		倭名類聚抄 索引篇	¥9,680	
⑪平安時代の国司の赴任	¥2,470		倭名類聚抄 外篇	¥14,960	
⑫物語がつくった驕れる平家	¥2,470		[両足院叢書]毛詩抄	¥24,640	
⑬日記に魅入られた人々	¥2,470		[両足院叢書]柳文抄	¥13,200	
⑭国宝『明月記』と藤原定家の世界	¥2,560		両足院蔵 日本書紀抄	¥12,320	
⑯徳川日本のナショナル・ライブラリー	¥3,080		【和漢聯句】		
⑰琉球王国那覇役人の日記	¥2,640		和漢聯句の楽しみ	¥2,640	
⑱クララ・ホイットニーが綴った明治の日々	¥2,910		室町前期和漢聯句作品集	¥3,170	
⑲「日記」と「随筆」	¥2,640		室町後期和漢聯句作品集	¥3,520	
【国語・国文学】			慶長・元和和漢聯句作品集	¥3,700	
一乗拾玉抄影印・一乗拾玉抄の研究	¥22,880		良基・絶海・義満等一座和漢聯句譯注	¥2,820	
金蔵論 本文と研究	¥13,200		看聞日記紙背和漢聯句譯注	¥2,820	
古辞書と国語	¥7,040		【原典講読セミナー】		
日本語の起源と古代日本語	¥2,910		近世宮廷の和歌訓練	¥2,120	
中世禅籍叢刊 1巻 栄西集	¥13,200		百首歌	¥2,120	
中世禅籍叢刊 2巻 道元集	¥15,840		阿仏尼とその時代	¥2,200	
中世禅籍叢刊 3巻 達磨集	¥17,600		源氏物語の異本を読む	¥2,120	
中世禅籍叢刊 4巻 聖一派	¥19,360		【古典講演シリーズ】		
中世禅籍叢刊 5巻 無住集	¥14,960		歌謡	¥2,120	
中世禅籍叢刊 6巻 禅宗清規集	¥16,720		田安德川家蔵書と高乗勲文庫	¥2,030	
中世禅籍叢刊 7巻 禅教交渉論	¥22,000		【臨川選書】		
中世禅籍叢刊 8巻 中国禅籍集 一	¥15,840		伊勢集の風景	¥2,200	
中世禅籍叢刊 9巻 中国禅籍集 二	¥18,480		【貴重典籍叢書】		
中世禅籍叢刊 10巻 稀観禅籍集	¥24,640		貴重典籍叢書第16巻 物語1	¥10,560	
中世禅籍叢刊 11巻 聖一派 続	¥22,000		貴重典籍叢書第17巻 物語2	¥10,560	
中世禅籍叢刊 12巻 稀観禅籍集続	¥31,680		貴重典籍叢書第18巻 物語3	¥11,440	
中世禅籍叢刊 別巻 中世禅への新視角	¥15,840		貴重典籍叢書第19巻 物語4	¥9,680	
説話の形成と周縁 古代篇	¥2,820		貴重典籍叢書第20巻 古筆	¥10,120	
説話の形成と周縁 中近世篇	¥2,820		貴重典籍叢書第21巻 漢詩文	¥10,120	
朝廷儀礼の文化史	¥3,350		貴重典籍叢書第22巻 辞書	¥9,680	
ささめごとの研究	¥7,440		【金沢文庫資料全書】		
百人一首一夕話	¥16,240		第7巻 歌謡・声明篇	¥24,640	
東都武家雅文壇考	¥3,960		第8巻 歌謡・声明篇 続	¥24,640	
世界の中の『源氏物語』	¥3,170		【その他】		
時雨物語絵巻の研究	¥8,800				

※上記掲載書目以外のご注文も特別割引価格にて承ります。【その他】に書籍名を記入の上、ご注文ください。

FAX 075-781-6168 E-mail:kyoto@rinsen.com
(TEL 075-721-7111)

メールまたは本FAXをご利用の上、直接小社までご注文ください

* 特別割引 (20%OFF) でのご提供は、2020年7月末日締切

ご氏名			
お届け先ご住所	〒()		
ご勤務先名	TEL:	FAX:	
●お支払区別: <input type="checkbox"/> 私費購入 <input type="checkbox"/> 公費購入			
●必要書類:見積書(通)・納品書(通)・請求書(通) 日付:(有・無)※送料の記載:書籍代に(含む・ 含まない)			
書類の御宛名			

